



2022年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】		4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		75
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		81
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		82
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		92
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】※		95
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】※		96
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		116

※「■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）（右下の表）」の縦軸の数値は正しい表記になっていません。ご了承ください。

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

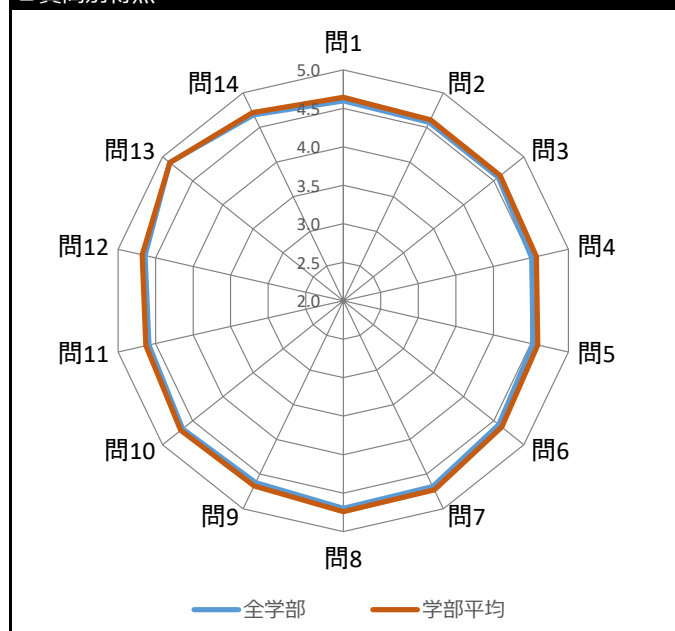
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	看護学部		履修者数	3749	回答率	
	回答数	紙	WEB	2741	73%	73%
				0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1919	706	83				4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1887	695	110				4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	1884	692	123				4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	1836	716	130				4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1870	693	120				4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	1932	660	106				4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2114	546					4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	2107	572					4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。	2024	579	89				4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	2038	609					4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1933	647	122				4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2005	614	97				4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	2432	286					4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2068	573					4.71	4.68
問1～14全問平均								4.67	4.63

■質問別得点

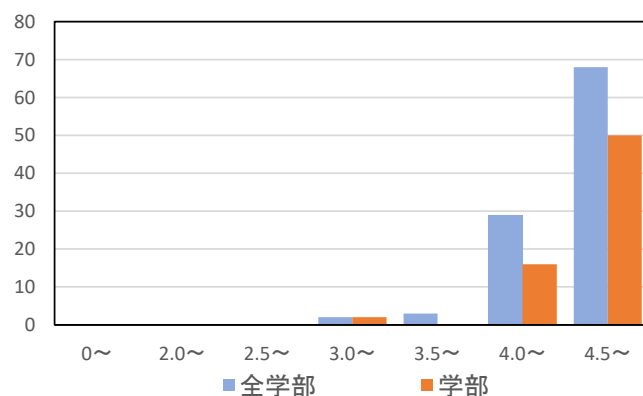


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	無回答／不明	

＜質問別回答内訳＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問4（授業の内容）の全科目得点分布



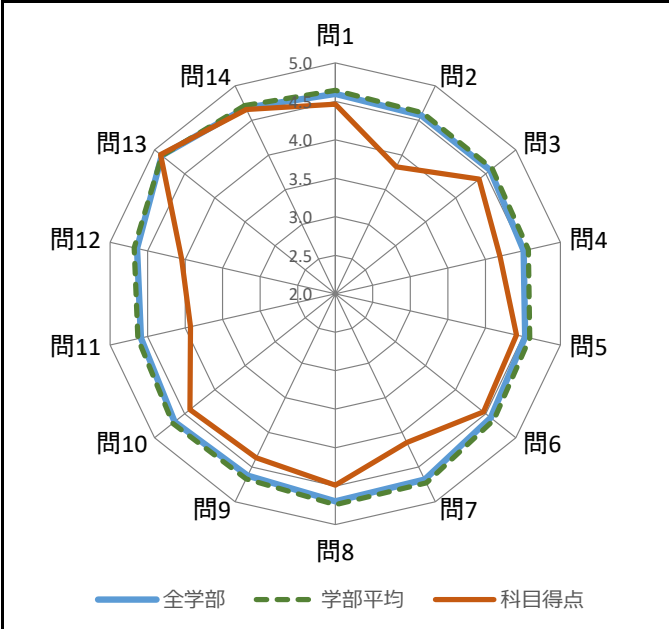
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	生命倫理	[1B0201]	履修者数	80	回答率	
教員名	榊原 哲也		紙	41	51.3%	51.3%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	26	11	2				4.46	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	9	6	5	3		3.83	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	22	14	4				4.39	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	21	13	3	2	2		4.20	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	24	13	2				4.41	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	25	13					4.46	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	10	5	5			4.15	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	24	13	4				4.49	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	22	14	3	2			4.37	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	25	12	2				4.41	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	18	11	6	3	3		3.93	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18	14	4	3	2		4.05	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	37	4					4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29	10	2				4.66	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.34	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

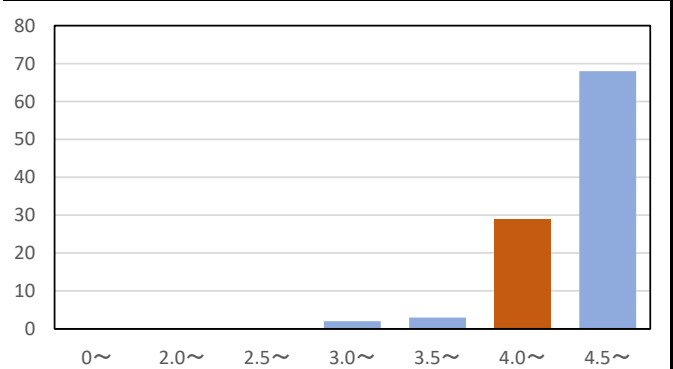


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



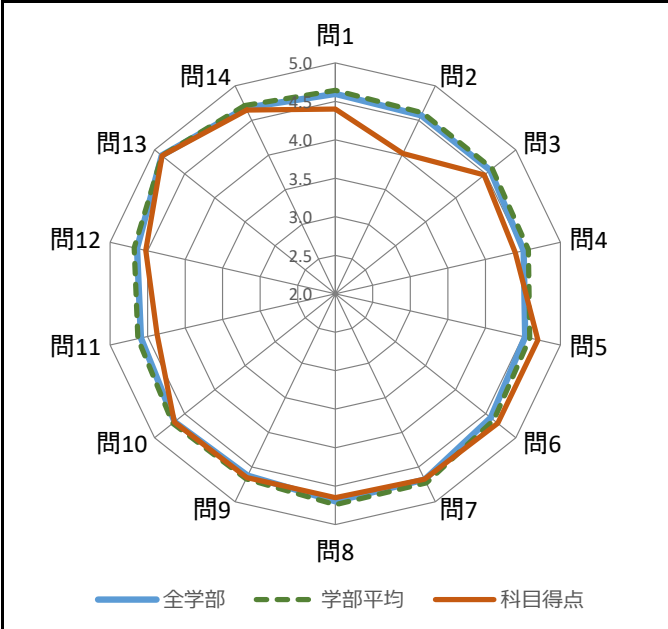
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	生命倫理	[1B0202]	履修者数	71	回答率	
教員名	榊原 哲也		紙	40	56.3%	56.3%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	23	11	5				4.40	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	8	11	3			4.03	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	23	13	4				4.48	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	22	14	2	2			4.40	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	29	10					4.70	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	29	10					4.70	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	28	11					4.68	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	29	8	3				4.65	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	28	10	2				4.65	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	29	9	2				4.68	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	22	11	7				4.38	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	25	11	4				4.53	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	36	3					4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	10	2				4.65	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.56	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

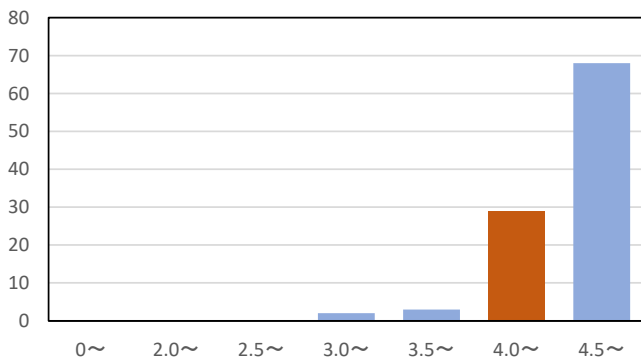


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



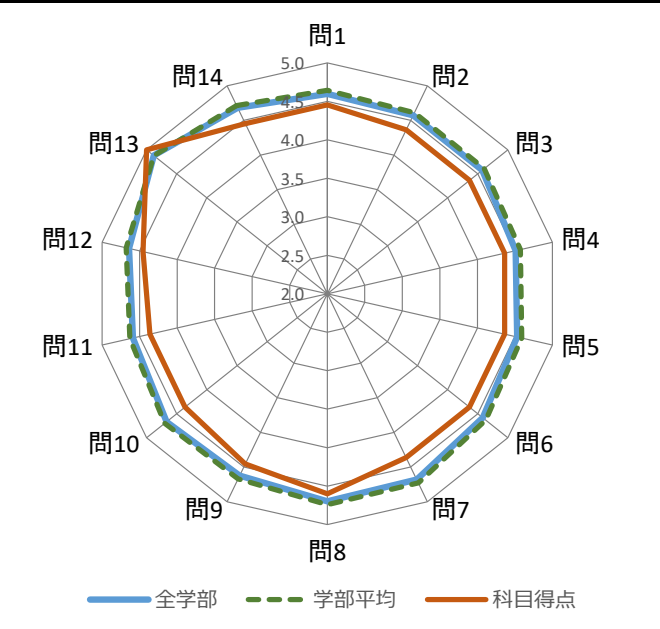
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	心理学Ⅱ	[1B0400]	履修者数	12	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	11	91.7%	91.7%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5	6					4.45	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4	7					4.36	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5	5	1				4.36	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	5	1				4.36	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	4	1				4.36	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	4	1				4.36	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	7					4.36	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6	4	1				4.60	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5	6					4.45	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	4	7					4.36	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	5	1				4.36	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6	4	1				4.45	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	11						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	3	1				4.45	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.45	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

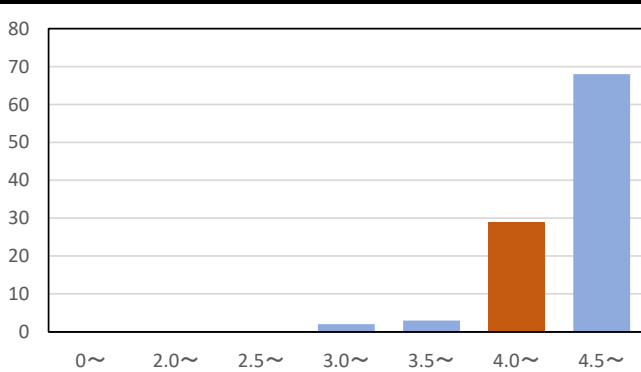


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



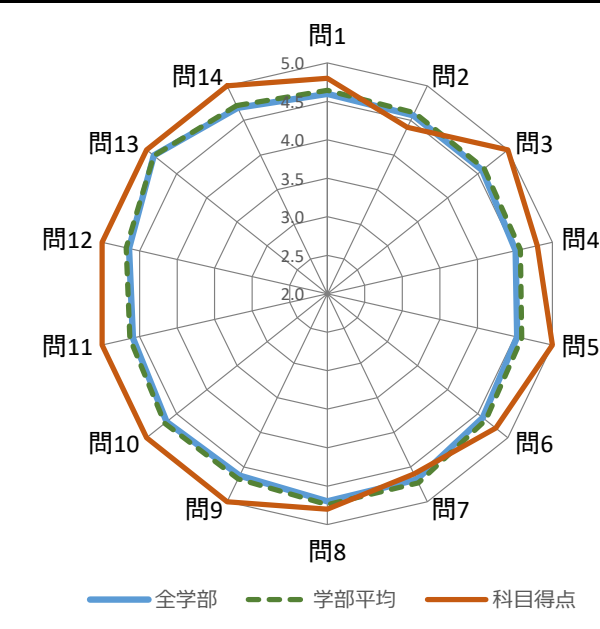
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	心理学Ⅱ	[1B0403]	履修者数	5	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	5	100.0%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			4			1	4.80	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。		2		3			4.40	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			5				5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。			4			1	4.80	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。			5				5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。			4			1	4.80	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4			1	4.60	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			4			1	4.80	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			5				5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。			4			1	5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			5				5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			5				5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			5				5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			5				5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.87	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

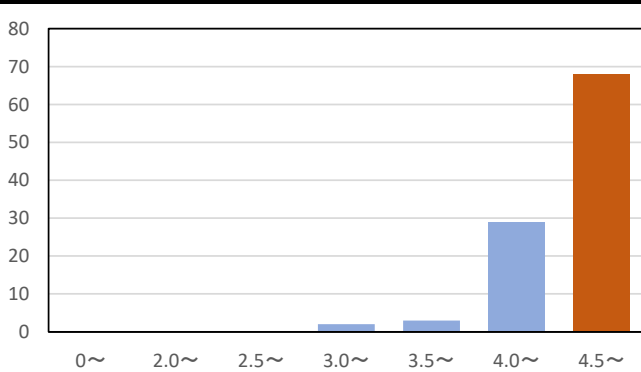


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



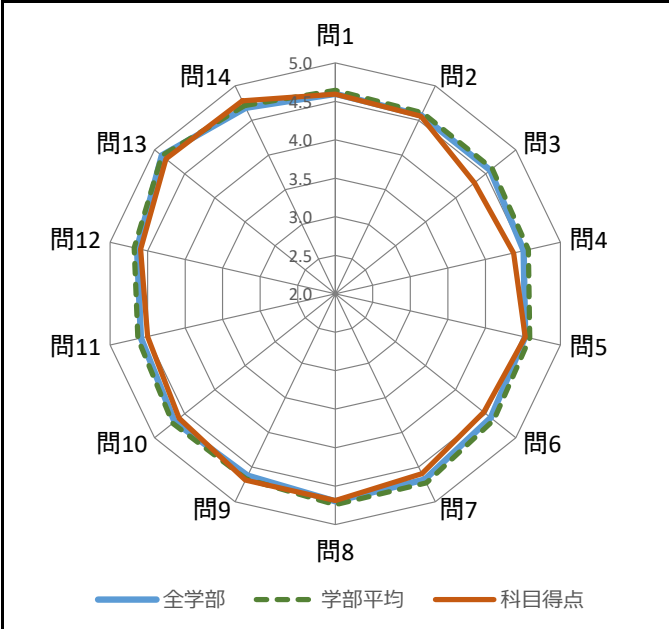
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	現代教育論	[1B0600]	履修者数	44	回答率	
教員名	渋谷 真樹		紙	32	72.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%
					72.7%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	22	7	3				4.59	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21	8	3				4.56	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	18	8	4	2			4.31	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	20	6	4	2			4.38	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	19	11	2				4.53	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	20	7	5				4.47	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	9	2				4.59	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	22	10					4.69	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	23	8	1				4.69	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	21	9	2				4.59	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	18	12	2				4.50	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	21	9	2				4.59	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	26	6					4.81	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	7					4.78	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.58	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

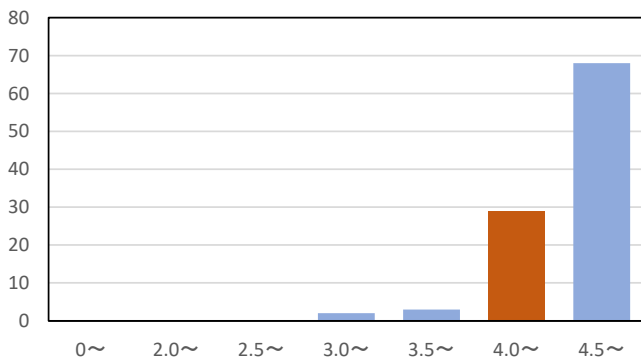


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



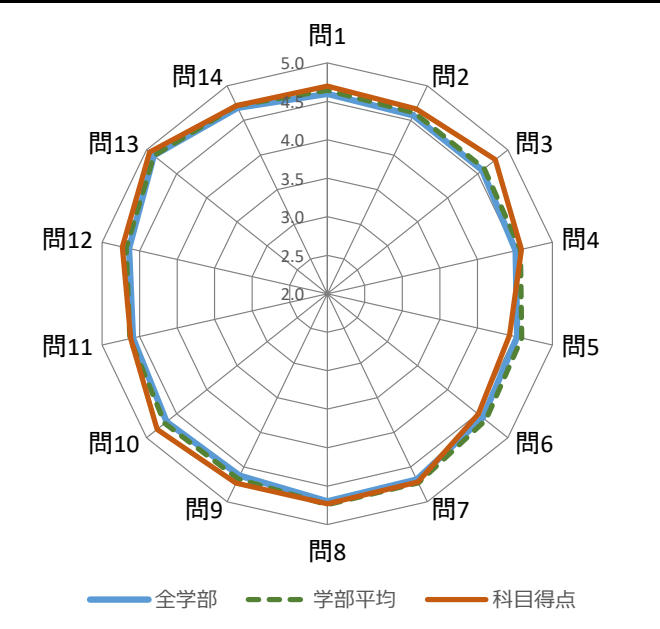
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	身体運動論 I (理論)		[1B0700]	履修者数	88	回答率	
教員名	伊藤 麻希			紙	63	71.6%	71.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.70	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.67	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.79	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.59	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.43	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.51	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.71	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.73	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.73	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.83	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.62	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.73	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.95	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.71	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.69	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

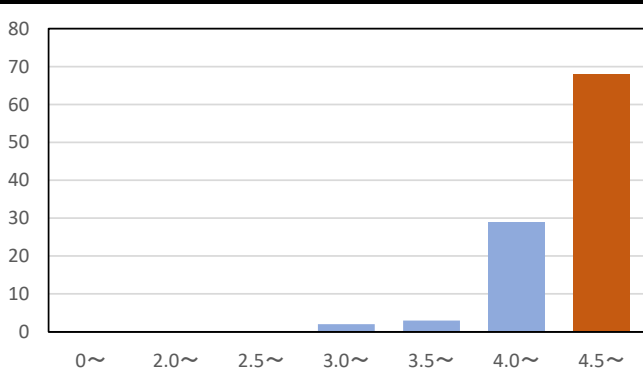


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



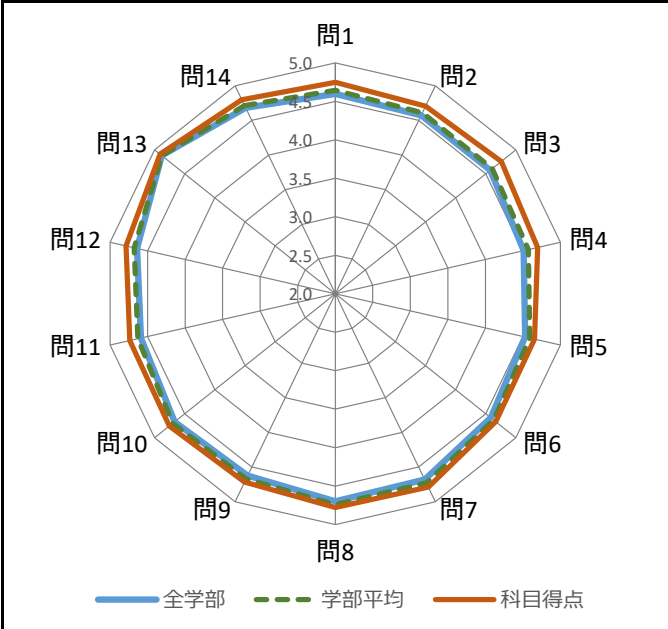
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	生活環境論		[1B0900]	履修者数	145	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	99	68.3%	68.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.75	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.71	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.76	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.70	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.66	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.67	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.79	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.78	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.72	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.76	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.74	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.79	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.91	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.80	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.75	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

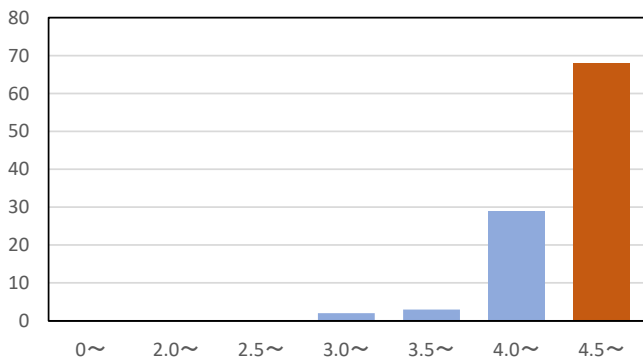


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



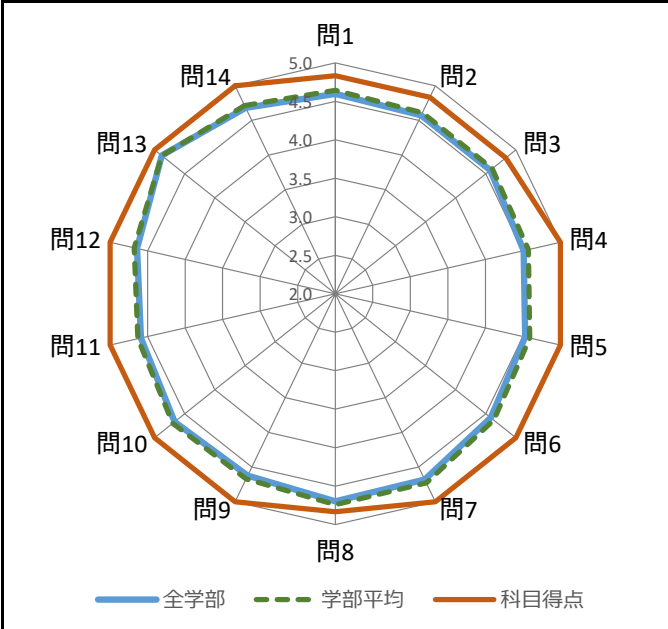
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	障がい論 [1B1000]		履修者数	7	回答率	
教員名	坂口 千鶴		紙	6	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目平均と全学平均との比較

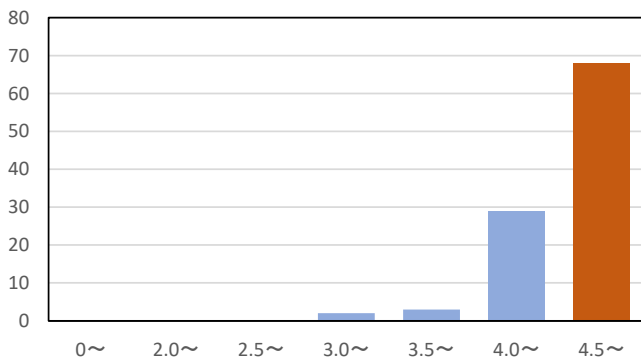


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



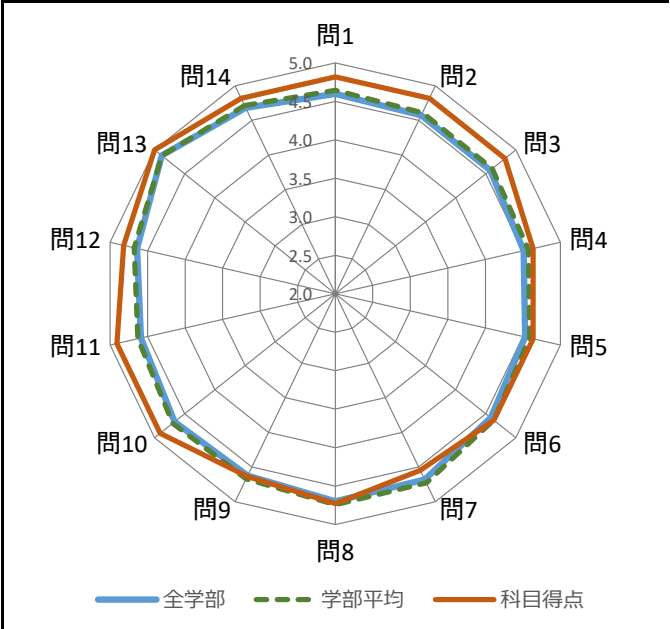
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	社会学Ⅱ		[1C0200]	履修者数	12	回答率	
教員名	鷹田 佳典			紙	11	91.7%	91.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.82	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.82	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.82	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.64	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.64	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.64	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.55	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.73	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.64	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.91	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.91	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.82	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.77	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

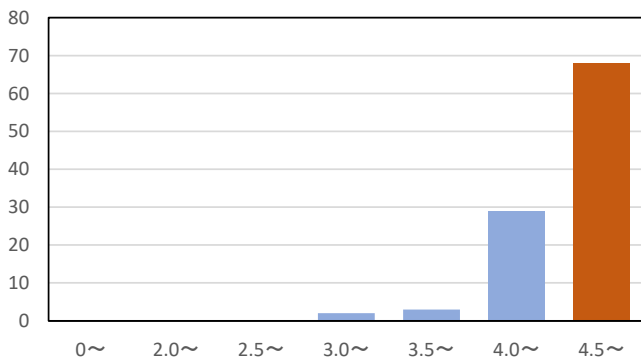


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



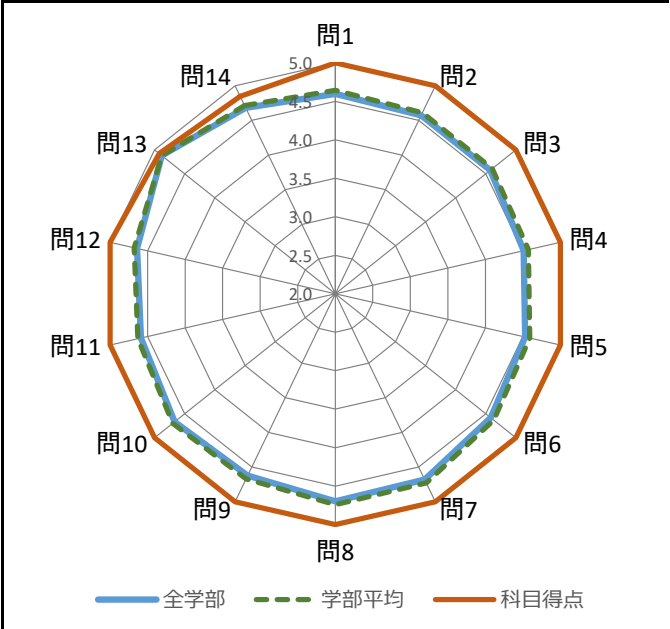
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	家族社会学		[1C0400]	履修者数	13	回答率	
教員名	宮下 阿子			紙	13	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	13						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	13						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	13						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	13						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	13						5.00	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	13						5.00	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	13						5.00	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。	13						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	13						5.00	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	13						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	12					1	4.92	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11					2	4.85	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.98	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

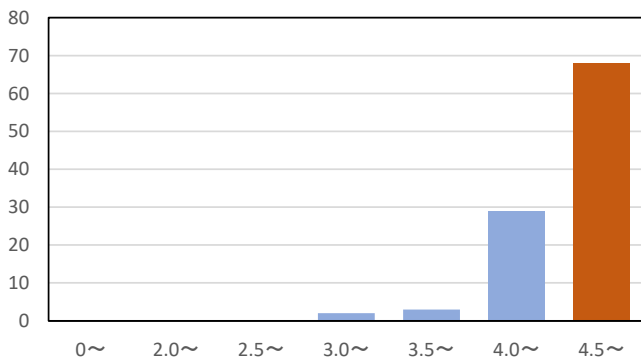


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



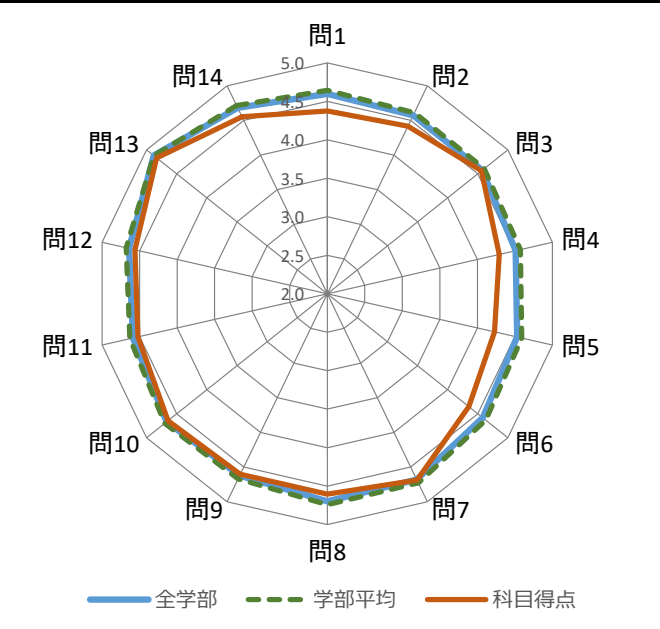
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	国際関係論 [1C0600]		履修者数	70	回答率	
教員名	角田 敦彦		紙	48	68.6%	68.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	24	19	4				4.38	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	25	18	5				4.42	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	28	19					4.56	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	25	15	5	3			4.29	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	23	18	3	3			4.23	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	23	20	4				4.35	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	34	13					4.69	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	31	15	2				4.60	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	31	15	2				4.60	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	33	13	2				4.65	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29	16	2				4.52	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	30	15	3				4.56	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	40	8					4.83	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	13	4				4.55	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.52	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

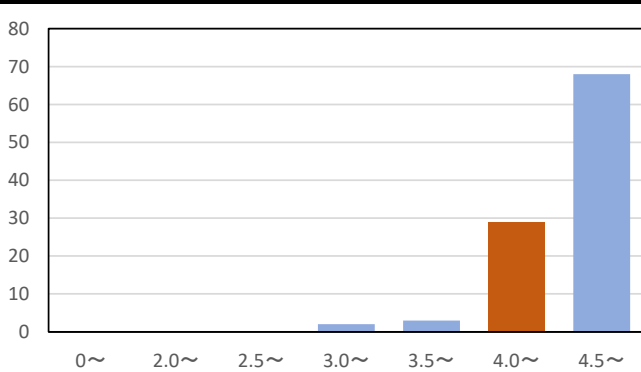


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



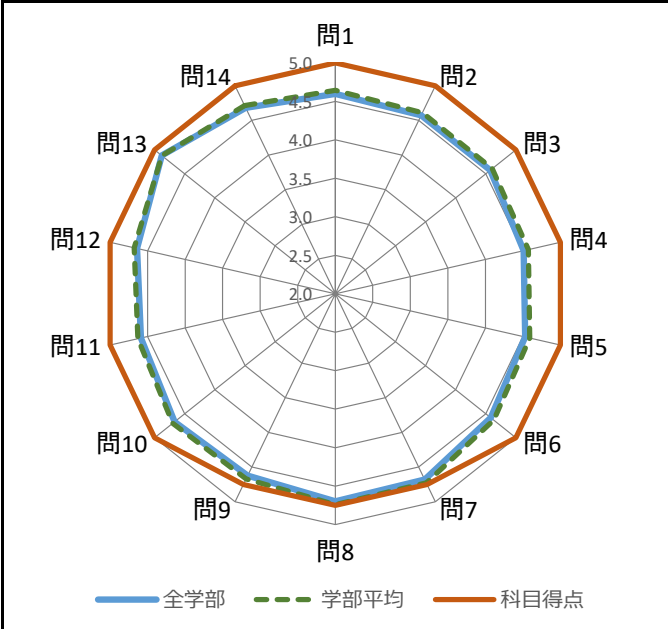
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	医療と文化 [1C0800]		履修者数	4	回答率	
教員名	鈴木 勝己		回答数	紙 4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	4						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	4						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	4						5.00	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	31						4.75	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	31						4.75	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	31						4.75	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	4						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.95	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

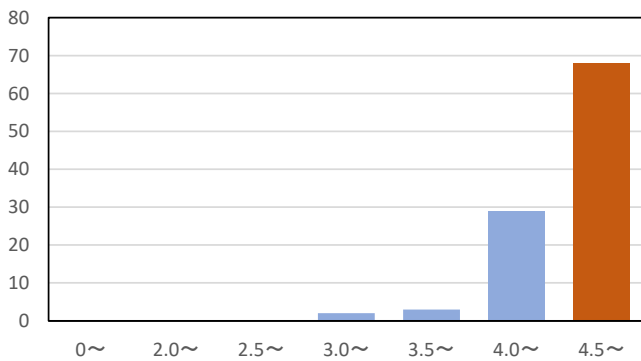


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



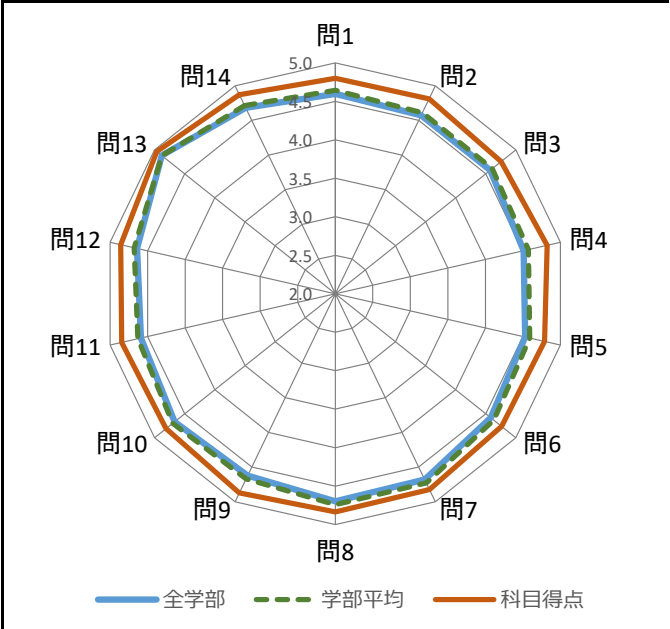
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	基礎統計学 [1D1100]		履修者数	114	回答率	
教員名	山下 龍生		紙	85	74.6%	74.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目平均と全学平均との比較

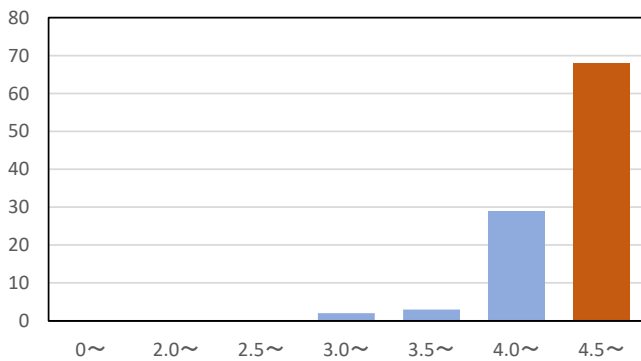


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



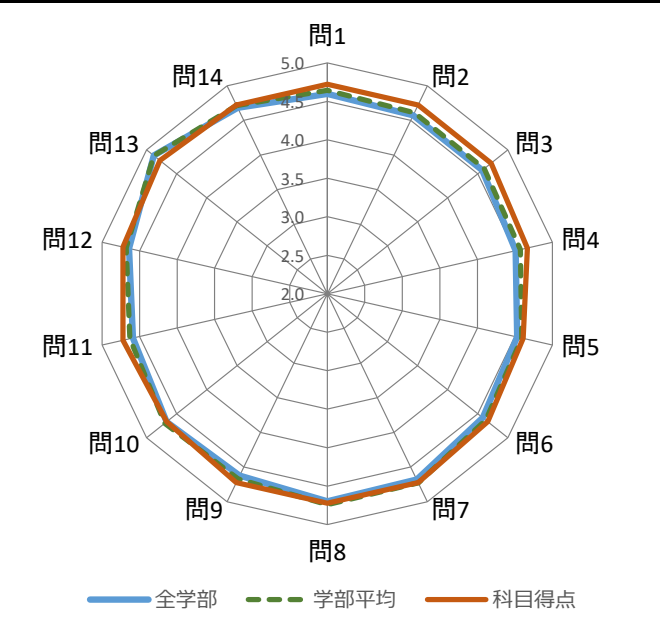
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	情報科学 [1E0201/1E0202]		履修者数	33	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	18	54.5%	54.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目平均と全学平均との比較

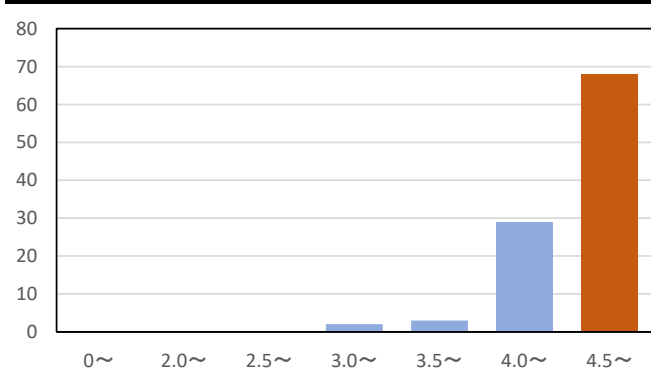


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



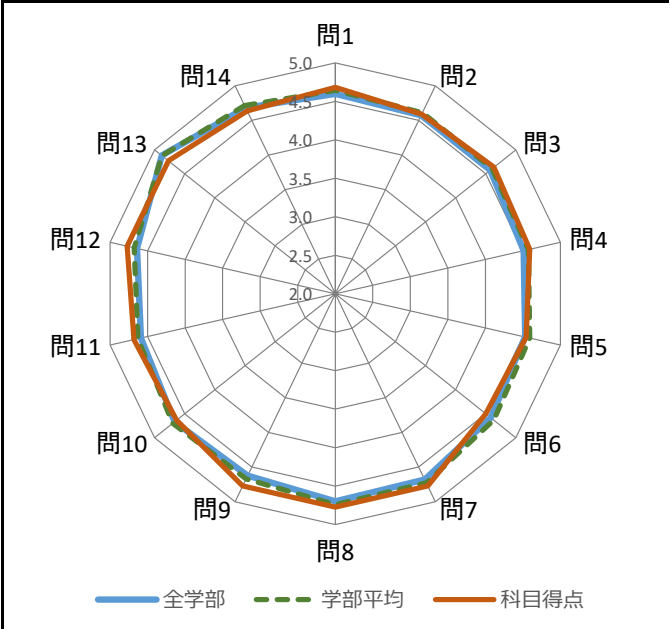
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R1ー2		[1F0301]	履修者数	36	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	22	61.1%	61.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.68	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.59	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.64	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.59	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.55	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.50	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.77	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.77	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.77	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.64	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.68	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.77	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.77	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.64	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.67	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

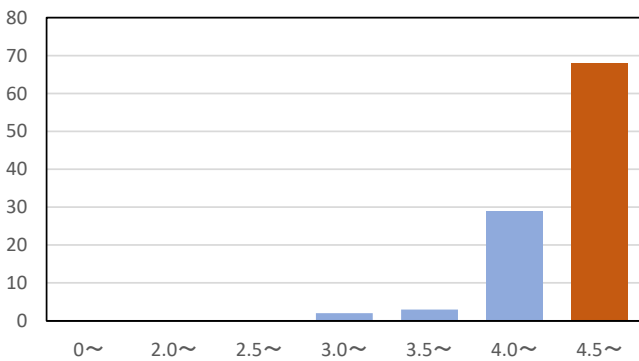


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



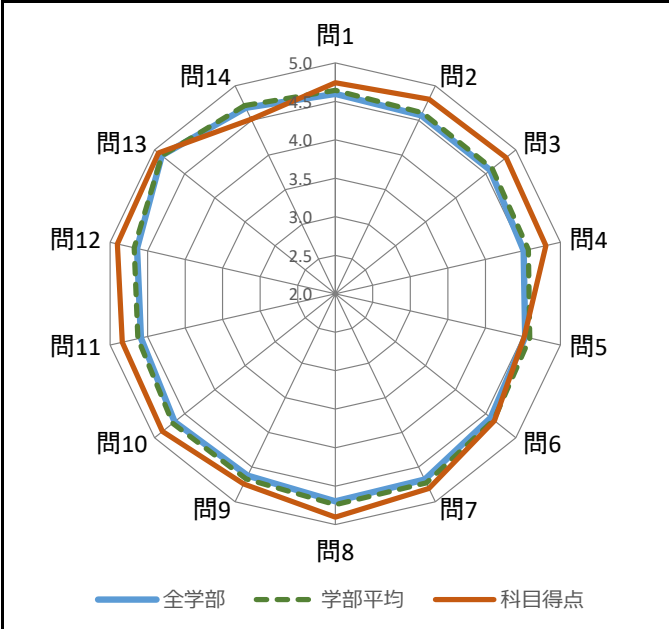
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R1ー2		[1F0302]	履修者数	37	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	31	83.8%	83.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.74	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.81	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.84	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.81	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.52	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.65	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.81	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.90	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。								4.74	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.87	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.84	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.90	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.94	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.52	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.78	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

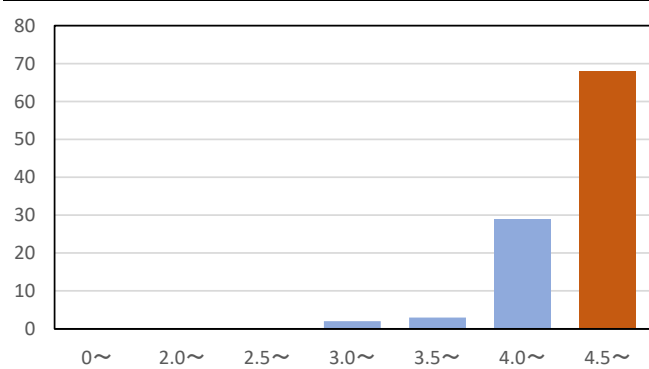


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



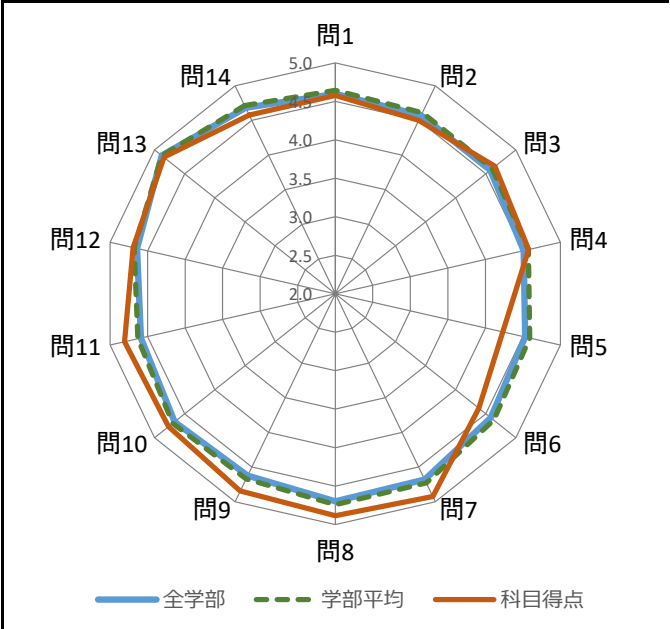
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R1-2		[1F0303]	履修者数	33	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	26	78.8%	78.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.58	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.50	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.65	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.58	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.23	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.38	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.92	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.88	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.85	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.77	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.81	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.69	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.85	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.58	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.66	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

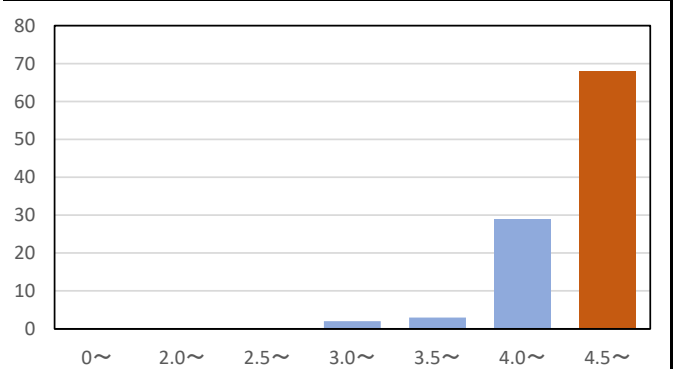


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



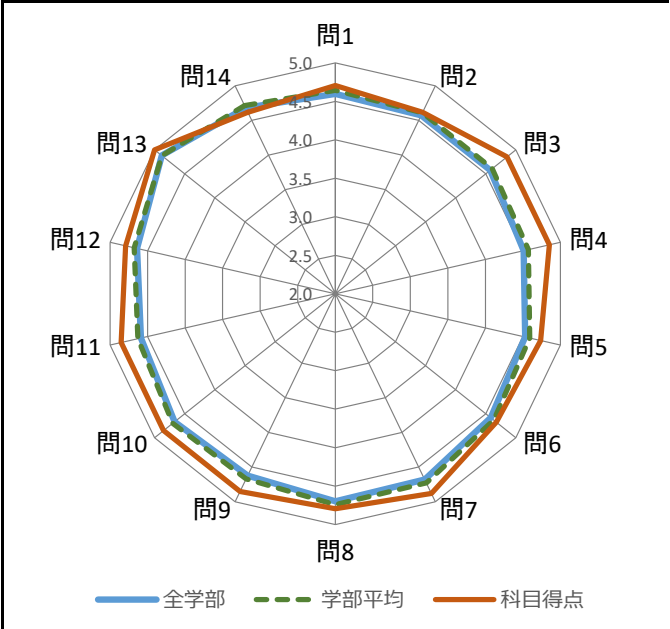
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R1ー2		[1F0304]	履修者数	39	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	34	87.2%	87.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.62	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.85	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.85	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.74	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.79	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.85	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.85	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.79	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.62	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.79	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

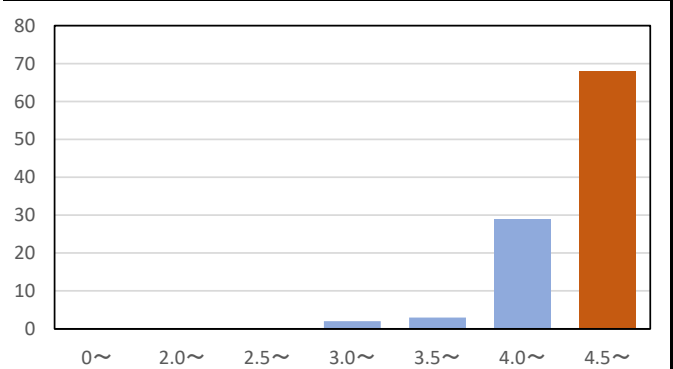


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



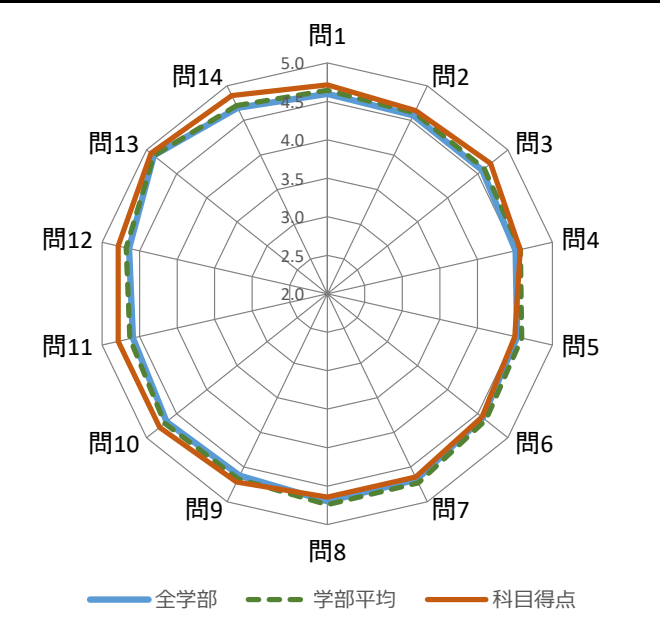
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W1-2		[1F0501]	履修者数	16	回答率	
教員名	佐藤 眞			紙	14	87.5%	87.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.64	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.71	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.57	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.50	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.57	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.64	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.71	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.79	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.79	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.79	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.93	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.86	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.70	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

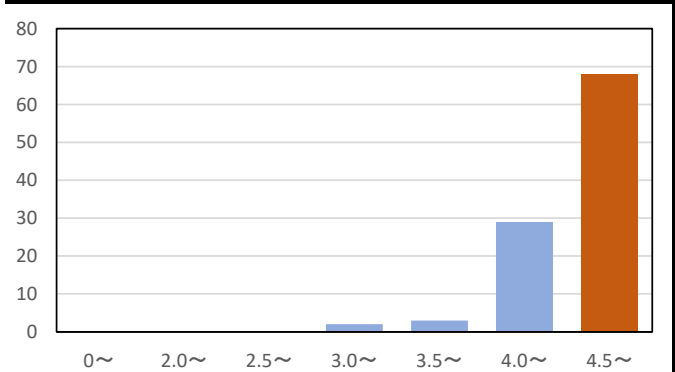


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



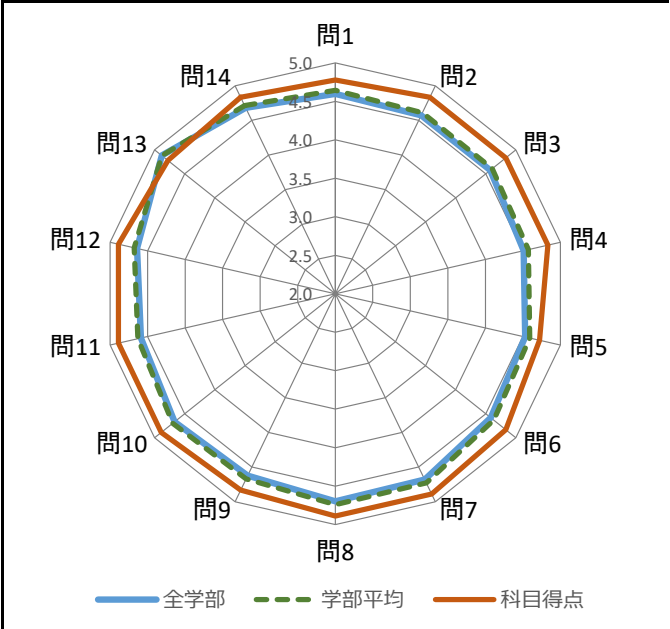
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W1-2		[1F0502]	履修者数	19	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	18	94.7%	94.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目平均と全学平均との比較

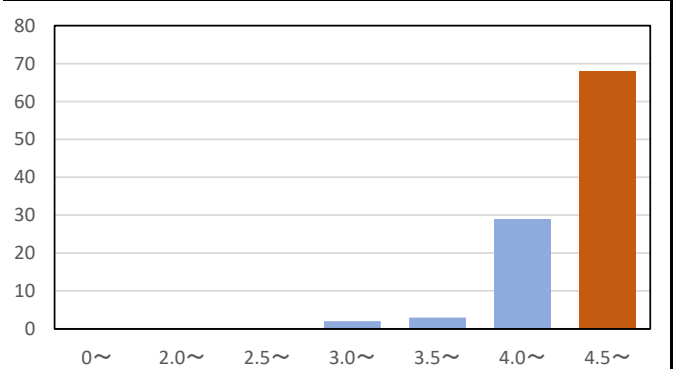


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



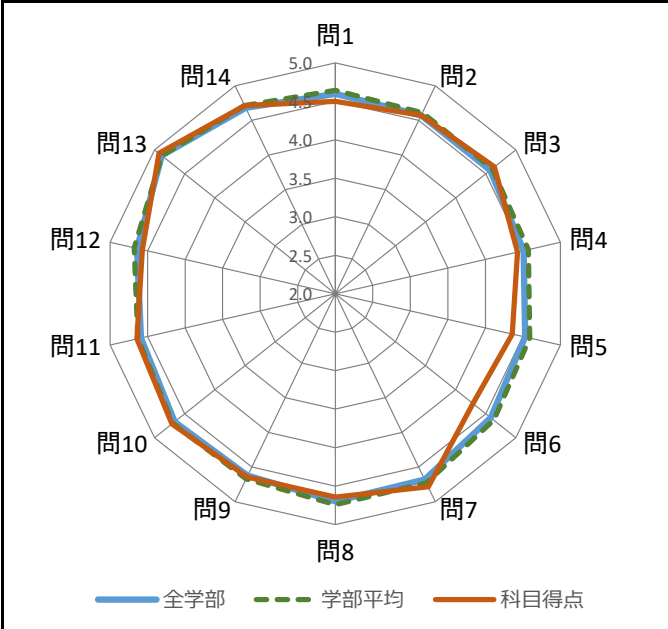
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W1-2		[1F0503]	履修者数	15	回答率	
教員名	佐藤 眞			紙	14	93.3%	93.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.50	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.57	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.64	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.43	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.36	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.29	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.79	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.64	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.64	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.71	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.64	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.57	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.93	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.71	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.60	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

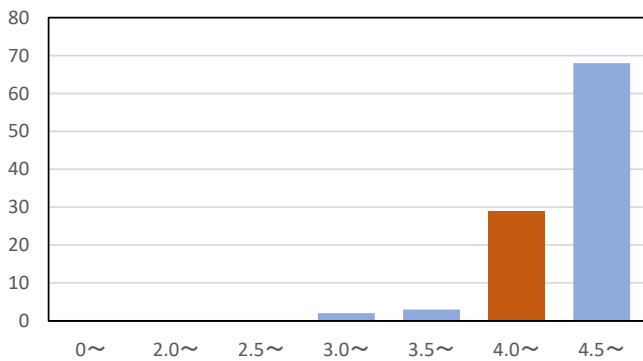


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全く思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



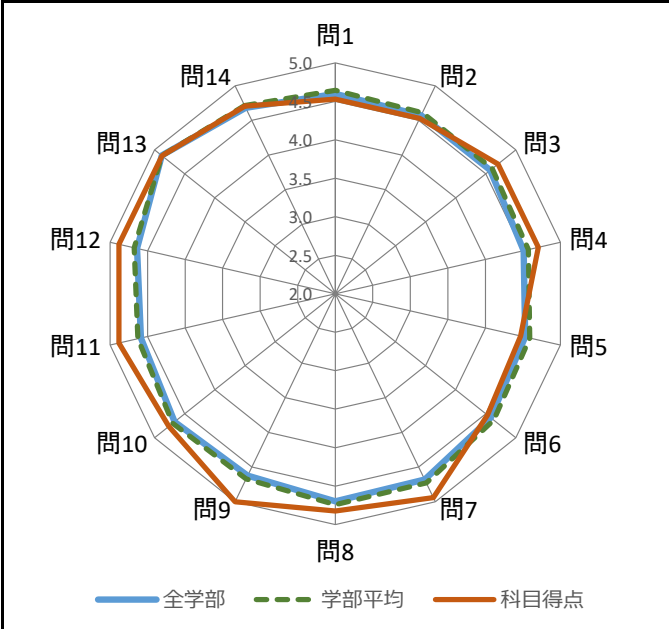
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W1-2		[1F0504]	履修者数	17	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	17	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10	6	1				4.53	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	6	1				4.53	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	12	5					4.71	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	12	5					4.71	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	7	1				4.47	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	6	1				4.53	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	16	1					4.94	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	14	3					4.82	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	17						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	14	2	1				4.76	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	1					4.88	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15	2					4.88	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	14	2	1				4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	3	1				4.71	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.74	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

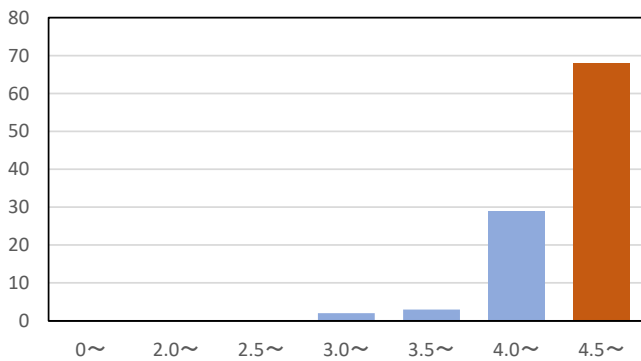


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



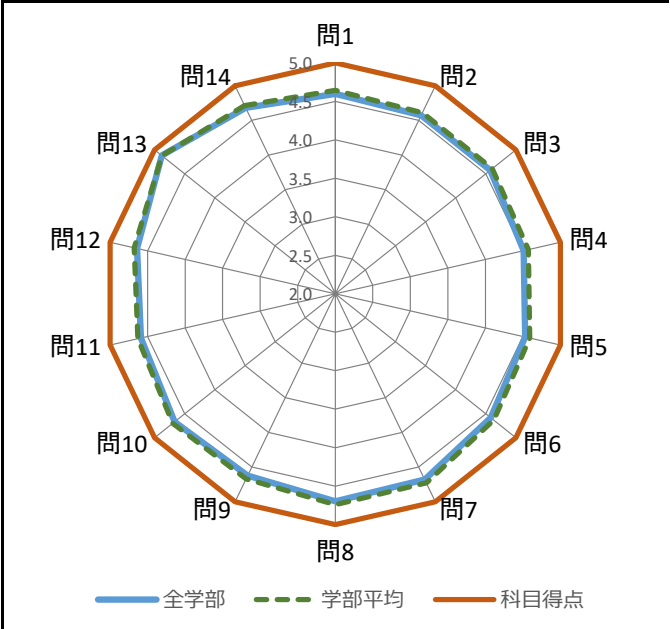
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0701]	履修者数	7	回答率	
教員名	Benjamin Tutchter			紙	4	57.1%	57.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			4				5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			4				5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			4				5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。			4				5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4				5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。			4				5.00	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4				5.00	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			4				5.00	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			4				5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4				5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			4				5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			4				5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4				5.00	4.71	4.68
問1~14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

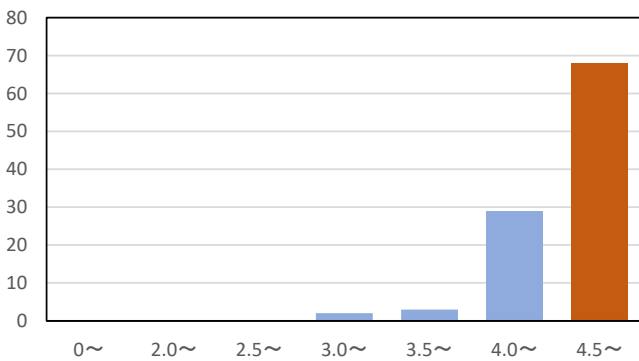


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



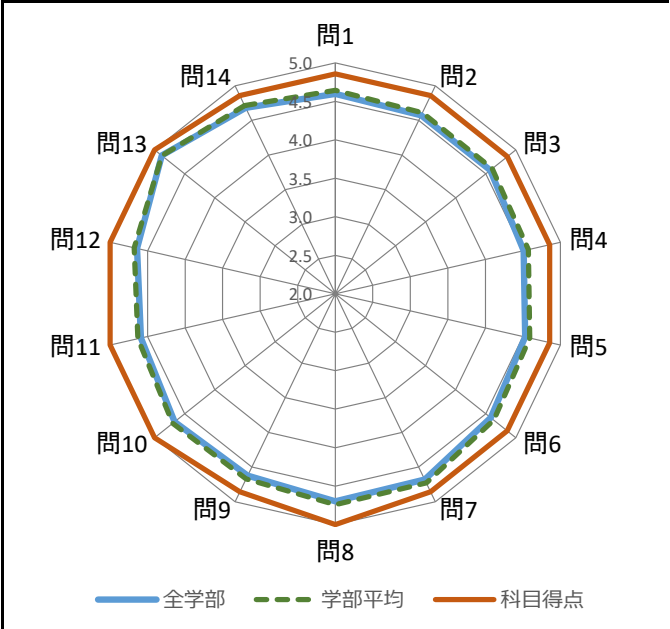
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0702]	履修者数	7	回答率	
教員名	Sam Bamkin			紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							1	4.86	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							1	4.86	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							1	4.86	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							1	4.86	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							1	4.86	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							1	4.86	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							1	4.86	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							7	5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							1	4.86	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							7	5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							7	5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							7	5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							7	5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							1	4.86	4.71	4.68
問1～14全問平均									4.91	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

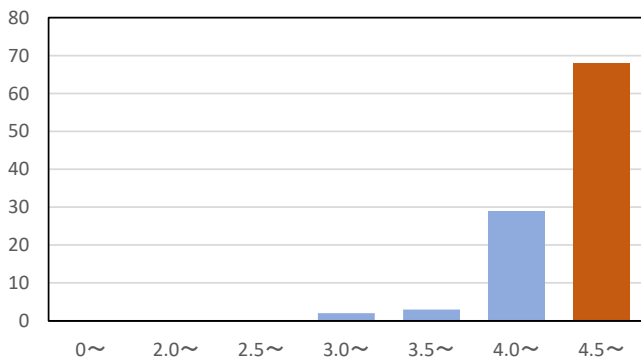


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



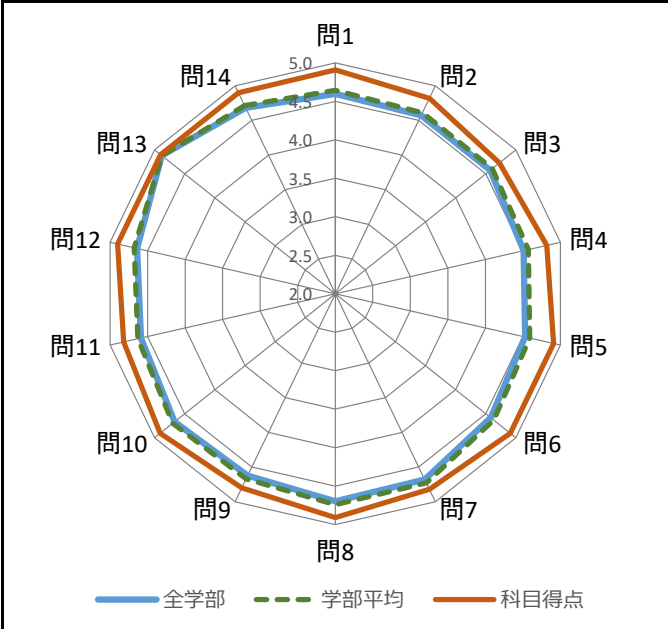
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0703]	履修者数	14	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	11	78.6%	78.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							101	4.91	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							92	4.82	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							911	4.73	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							92	4.82	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							101	4.91	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							101	4.91	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							92	4.82	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							101	4.91	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							821	4.80	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							101	4.91	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							92	4.82	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							911	4.90	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							911	4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							911	4.90	4.71	4.68
問1～14全問平均									4.86	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

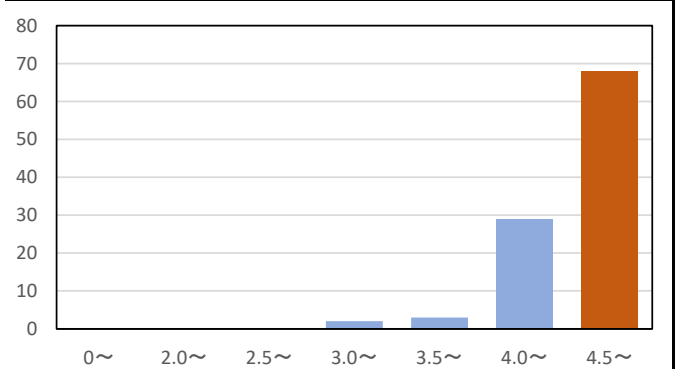


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



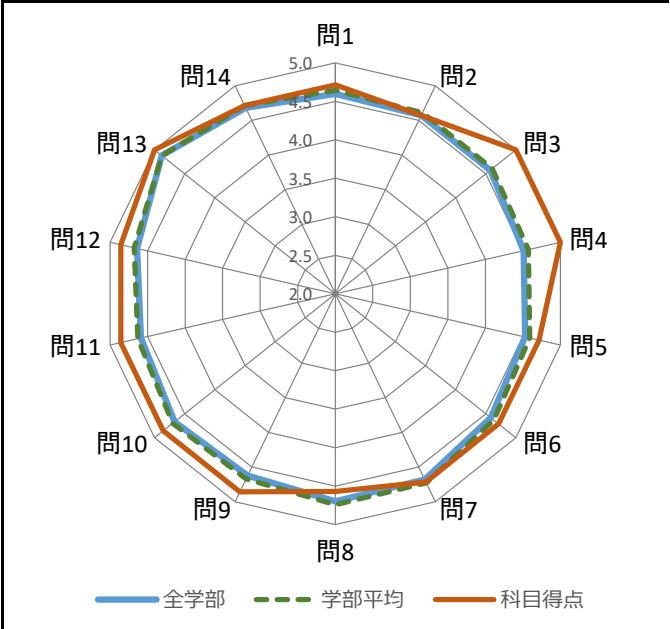
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0704]	履修者数	7	回答率	
教員名	Benjamin Tatcher			紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目平均と全学平均との比較

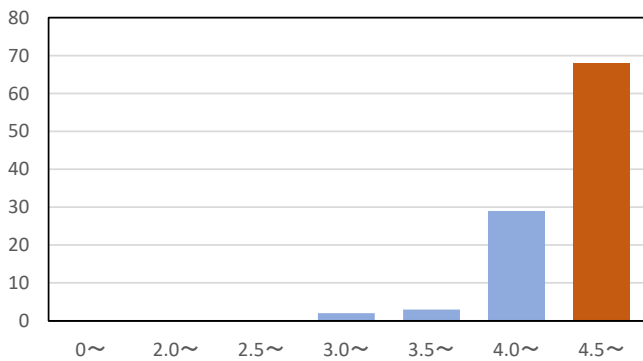


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



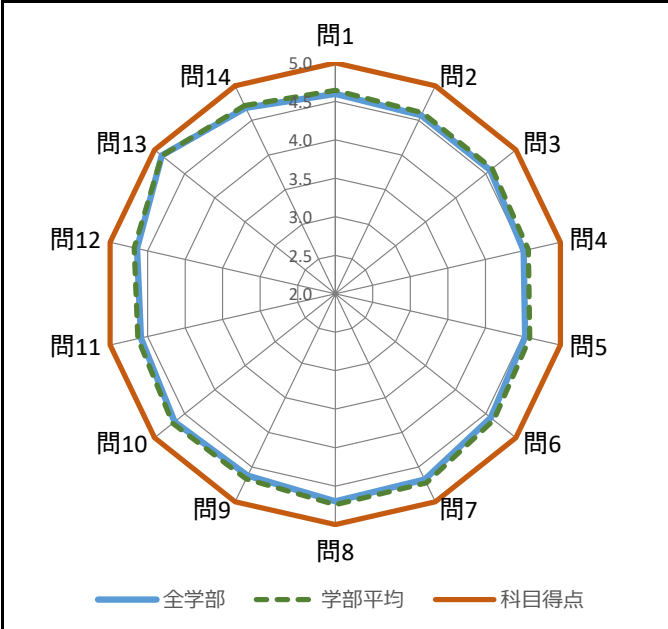
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0705]	履修者数	2	回答率	
教員名	Sam Bamkin			紙	2	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	2						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	2						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

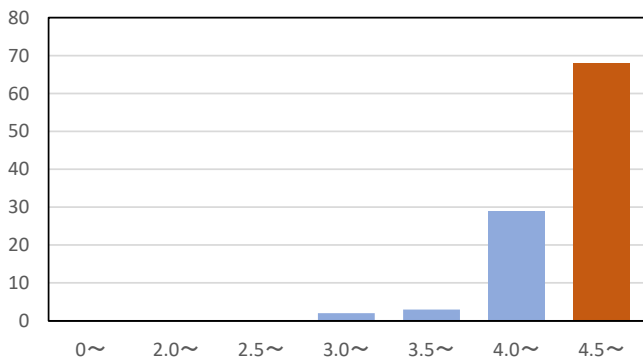


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



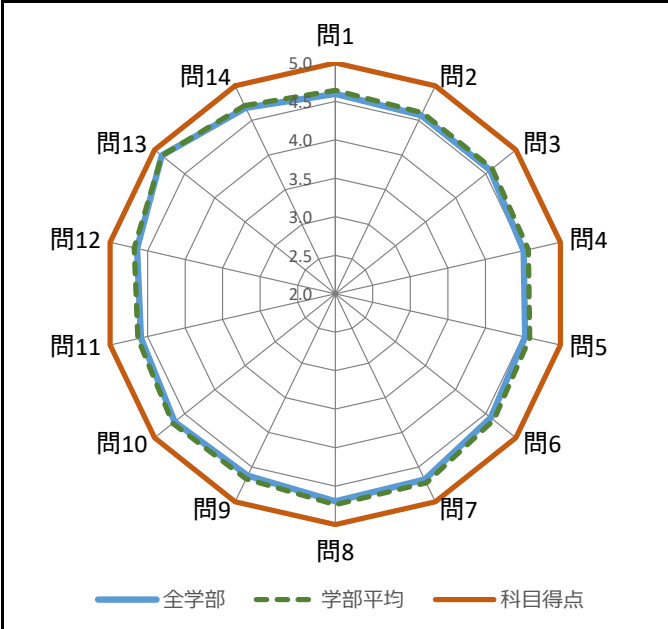
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS1-2		[1F0706]	履修者数	7	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	6	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	6						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	6						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	6						5.00	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						5.00	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6						5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	6						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	6						5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	6						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

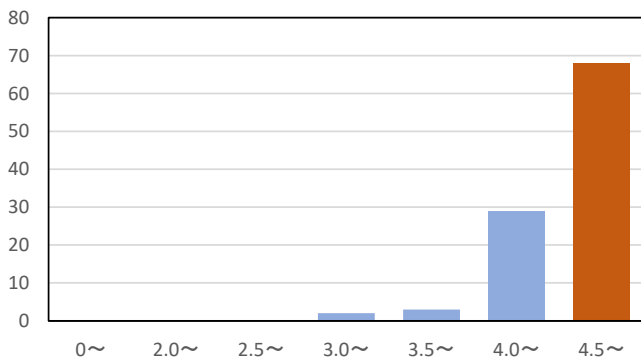


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



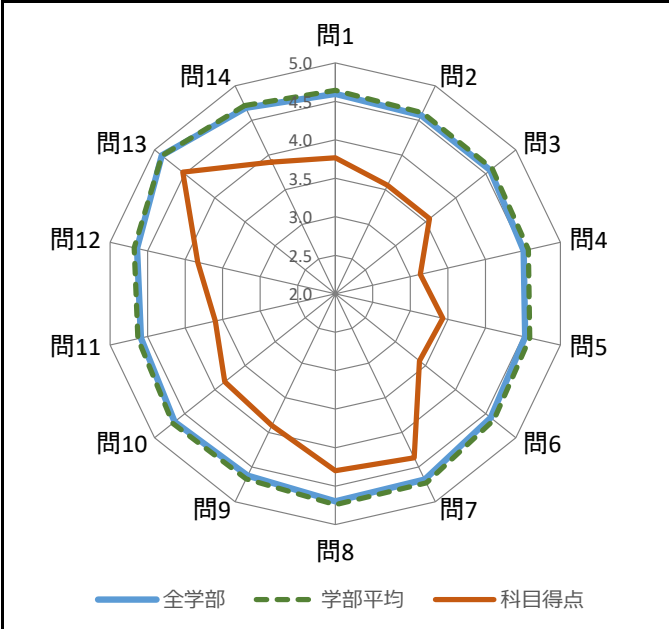
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R2-2		[1F0901]	履修者数	38	回答率	
教員名	武久 智一			紙	30	78.9%	78.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10	8	8	3	1		3.77	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	8	6	5	2		3.57	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	9	4	6	2		3.57	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	4	10	4	5		3.13	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	4	11	3	3		3.43	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	4	7	6	3		3.40	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	8	2	1			4.37	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	8	3	1			4.30	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	12	8	6	3	1		3.90	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	11	9	5	4	1		3.83	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10	8	4	6	2		3.60	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10	10	6	3	1		3.83	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	21	7	1				4.53	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	8	6	3	1		3.90	4.71	4.68
問1~14全問平均								3.80	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

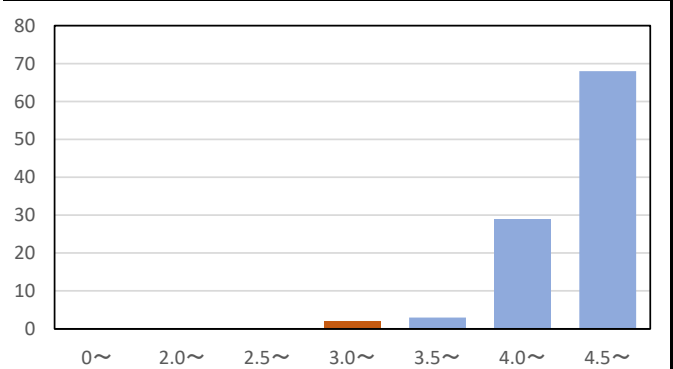


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全く思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



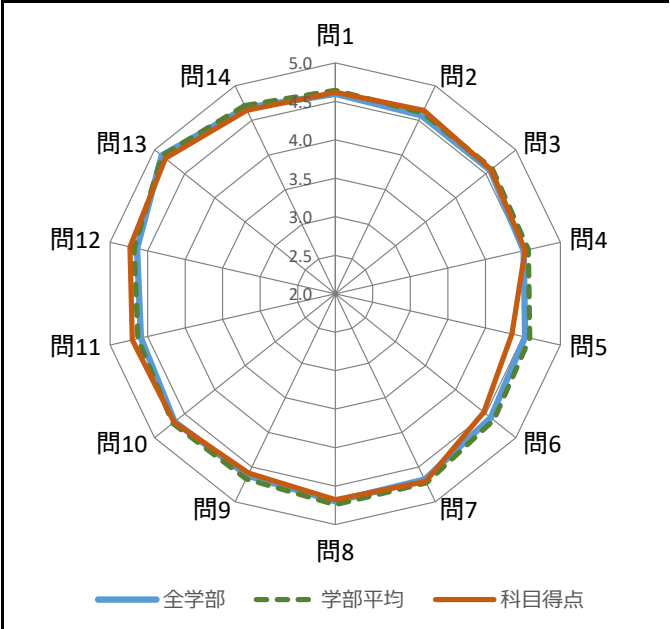
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R2-2		[1F0902]	履修者数	39	回答率	
教員名	皆川 健次郎			紙	34	87.2%	87.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.62	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.65	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.59	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.53	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.35	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.47	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.71	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.68	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.59	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.68	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.71	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.74	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.82	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.65	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.63	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

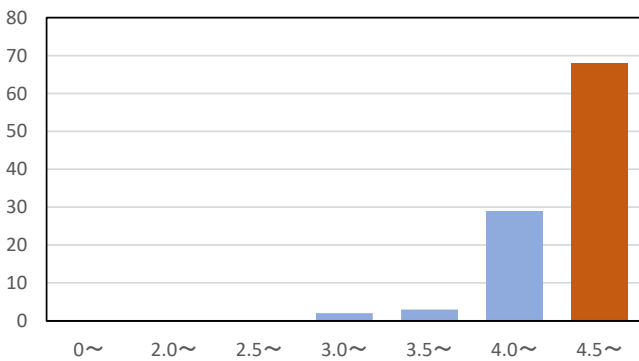


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



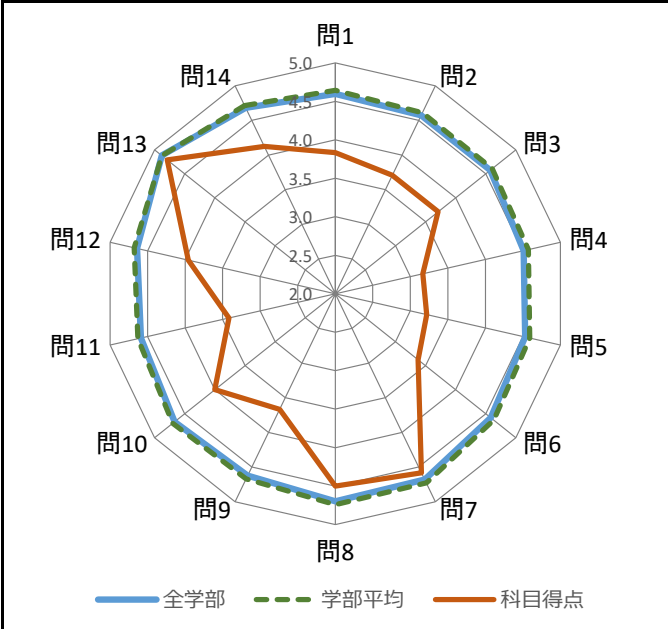
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R2-2		[1F0903]	履修者数	34	回答率	
教員名	武久 智一			紙	24	70.6%	70.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8	7	6	3			3.83	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11	2	4	7			3.71	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	8	7	4	4	1		3.71	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	4	4	8	2		3.17	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	5	3	6	3	1	3.22	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	5	6	6	1		3.38	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	3	2	1			4.58	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	16	5	2	1			4.50	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	8	4	8	4			3.67	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	12	6	2	2	2		4.00	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	5	5	5	2		3.42	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	5	5	2	1		3.96	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	20	3	1				4.79	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	4	5	1	1		4.13	4.71	4.68
問1~14全問平均								3.86	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

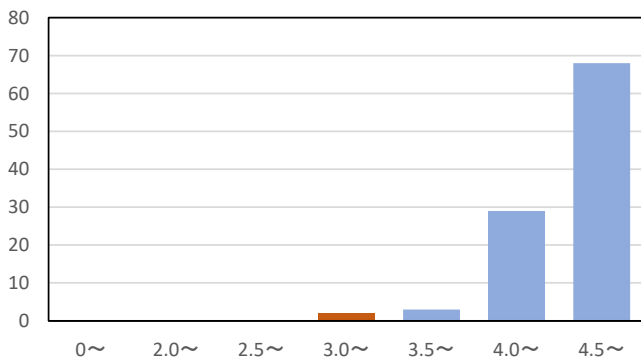


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



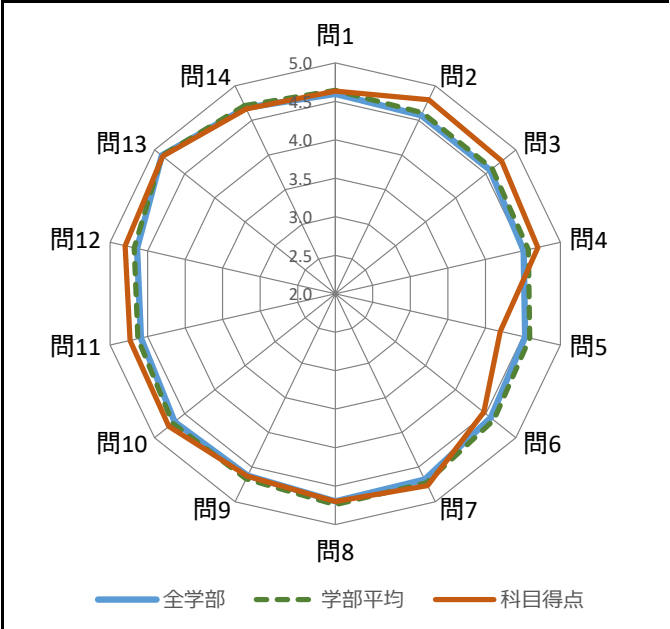
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語R2-2		[1F0904]	履修者数	34	回答率	
教員名	皆川 健次郎			紙	30	88.2%	88.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.80	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.77	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.70	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.20	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.47	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.77	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.70	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.63	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.77	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.73	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.80	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.87	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.67	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.68	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

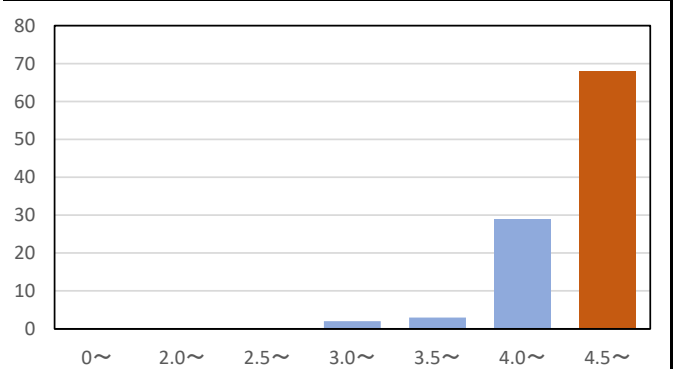


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



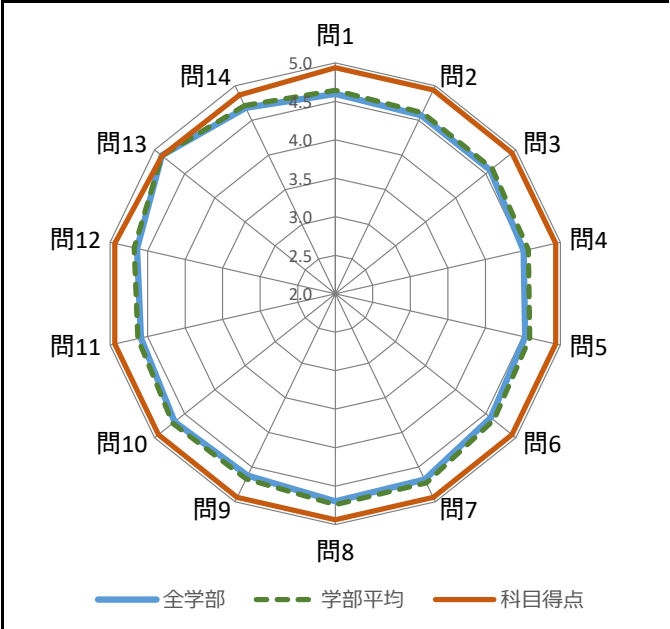
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W2-2		[1F1100]	履修者数	21	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	16	76.2%	76.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	151						4.94	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	151						4.94	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	151						4.94	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	151						4.94	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	151						4.94	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	151						4.94	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	151						4.94	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	151						4.94	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	151						4.94	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	151						4.94	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	151						4.94	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	151						4.94	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	142						4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1321						4.87	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.93	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

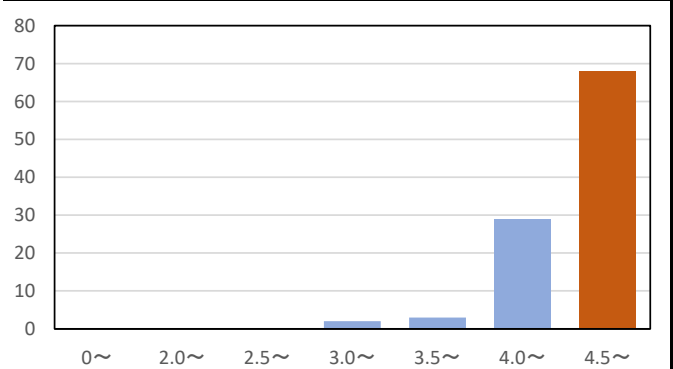


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



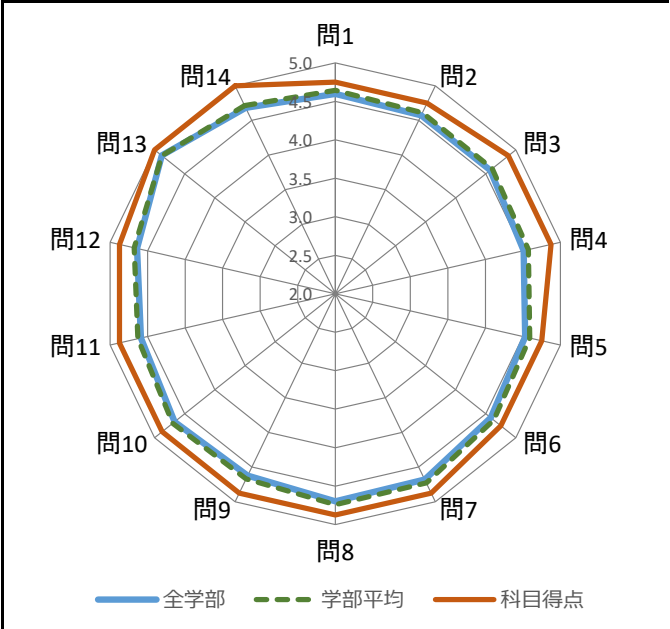
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語W2-2		[1F1103]	履修者数	8	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	8	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.75	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.75	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.88	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.88	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.75	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.75	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.88	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.88	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.86	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

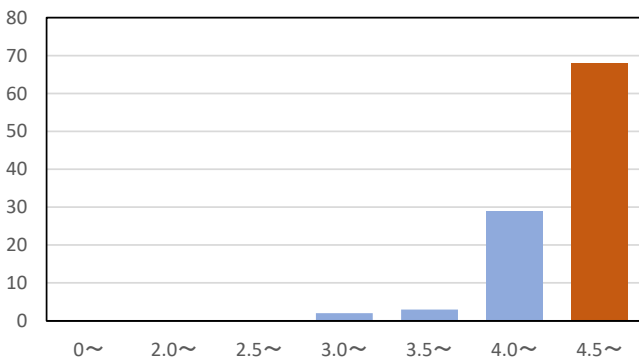


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



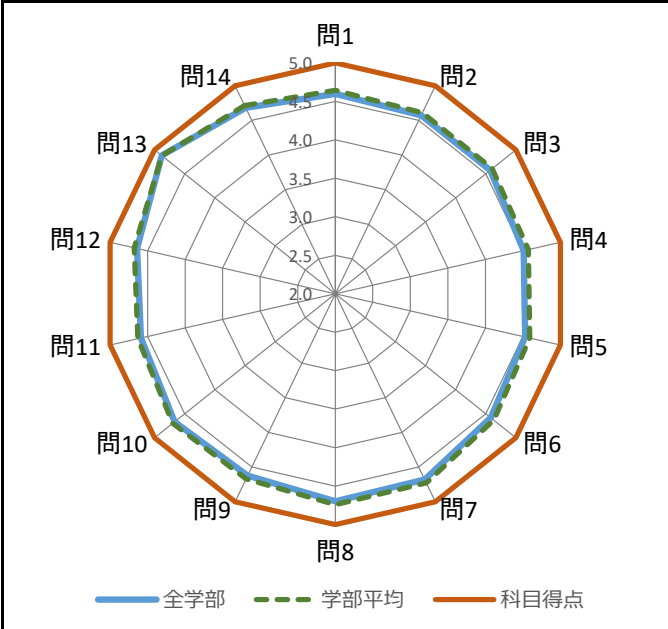
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	英語LS2-2		[1F1300]	履修者数	4	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			4				5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			4				5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			4				5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。			4				5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4				5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。			4				5.00	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4				5.00	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			4				5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			4				5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4				5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			4				5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			4				5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4				5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

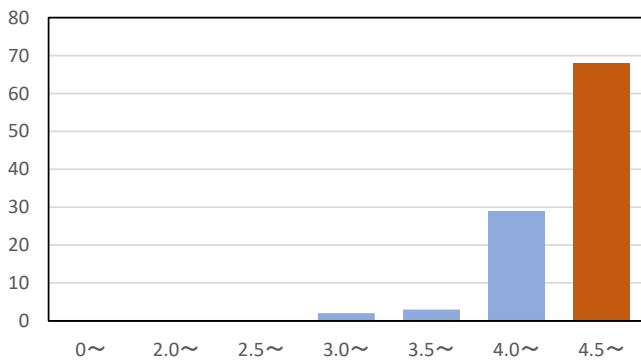


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



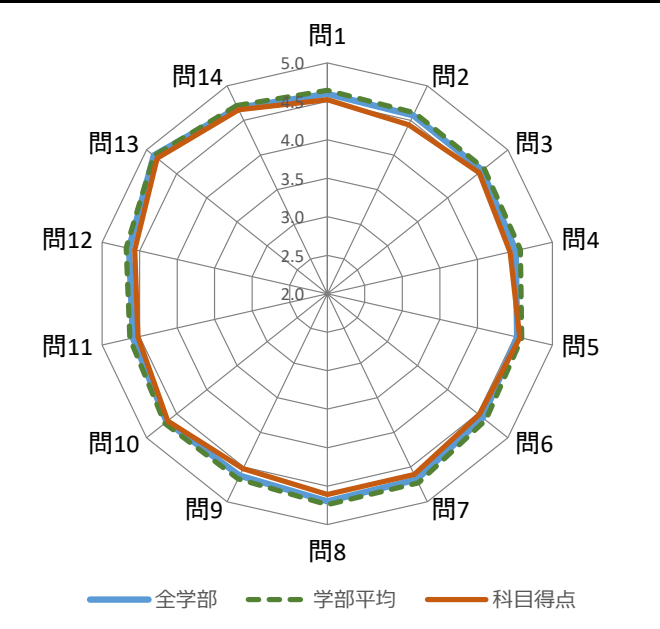
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	フランス語		[1F3001]	履修者数	29	回答率	
教員名	西村 友樹雄			紙	23	79.3%	79.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	15	6	1	1			4.52	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15	5	2	1			4.43	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15	6	1	1			4.52	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	15	5	2	1			4.43	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	15	6	2				4.57	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	15	6	1	1			4.52	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	15	7	1				4.61	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	7	1				4.61	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	15	5	3				4.52	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	16	6	1				4.65	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	6	1	1			4.52	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15	6	2				4.57	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	19	4					4.83	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	5	1				4.65	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.57	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

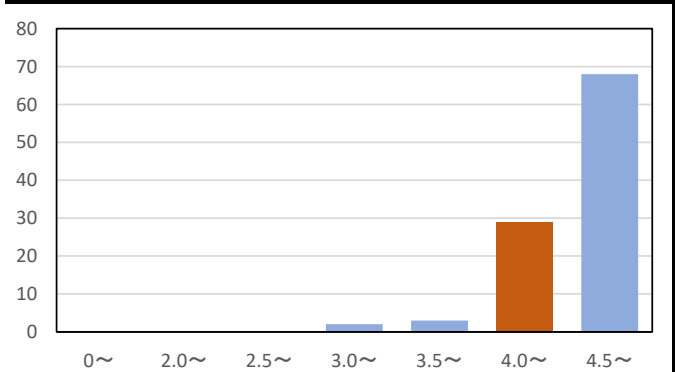


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



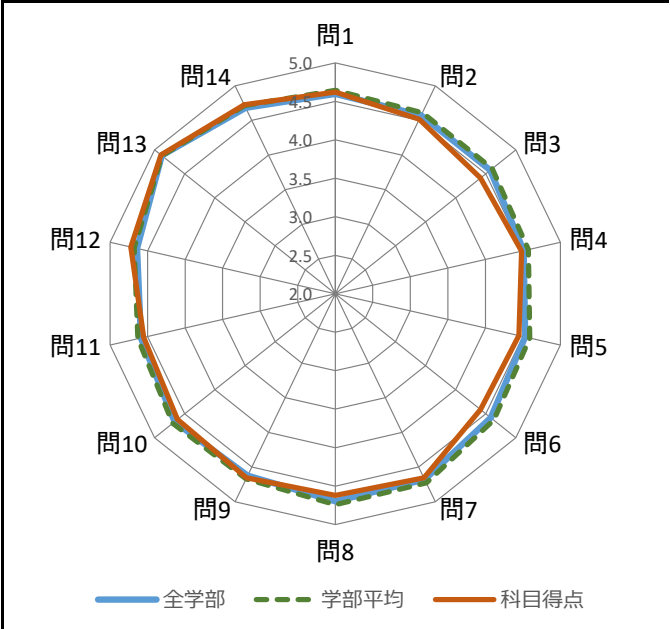
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	フランス語		[1F3002]	履修者数	37	回答率	
教員名	西村 友樹雄			紙	29	78.4%	78.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19	9	1				4.62	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17	10	2				4.52	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	18	6	4	1			4.41	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	17	9	3				4.48	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	16	10	3				4.45	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	9	4				4.41	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	6	2				4.66	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	20	7	2				4.62	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	21	6	2				4.66	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	19	9	1				4.62	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	18	9	2				4.55	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	22	6	1				4.72	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	26	3					4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	22	6	1				4.72	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.60	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

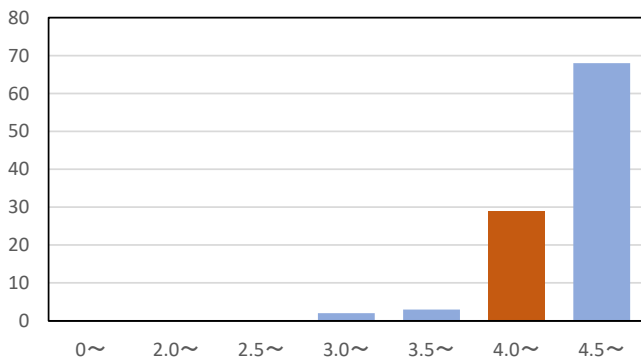


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



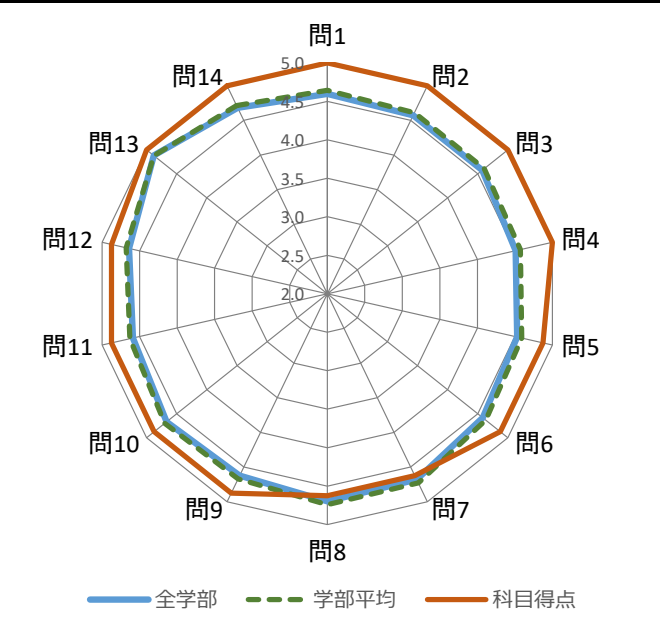
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	基礎ゼミⅡ（編入生）		[1G0230]	履修者数	9	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	8	88.9%	88.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	8						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	8						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	7 1						4.88	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	7 1						4.88	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6 1 1						4.63	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6 1 1						4.63	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	7 1						4.88	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	7 1						4.88	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7 1						4.88	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7 1						4.88	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	8						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.89	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

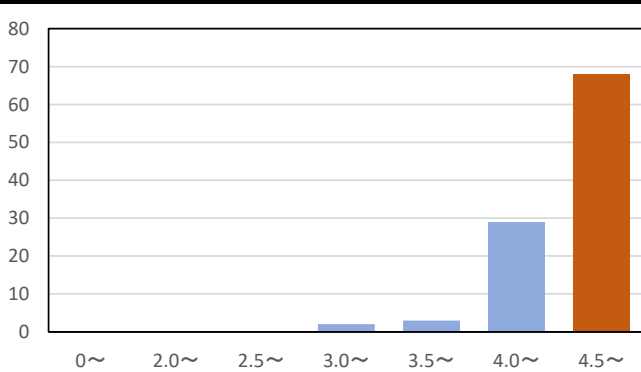


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



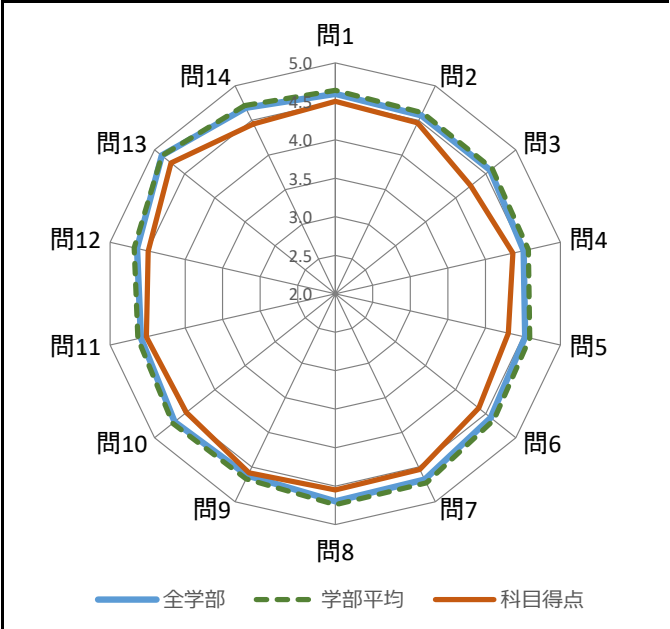
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	人体の構造と機能Ⅲ		[1H0301]	履修者数	74	回答率	
教員名	菅田 晴夫			紙	60	81.1%	81.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	39	17	2	2			4.50	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	38	17	2	2			4.47	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	30	22	3	3	2		4.25	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	33	21	3	2			4.37	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	31	20	5	2			4.31	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	35	18	4	2			4.38	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	40	16	2	2			4.53	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	41	15	2	2			4.55	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	42	15	2				4.58	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	37	18	2				4.47	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	40	15	3	2			4.52	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	38	16	3	2			4.49	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	46	12					4.73	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	16	3	2			4.45	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.47	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

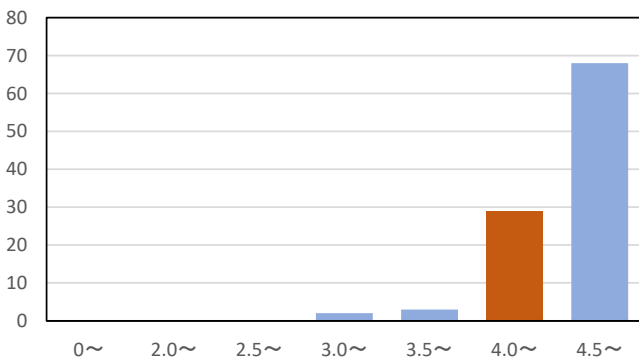


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



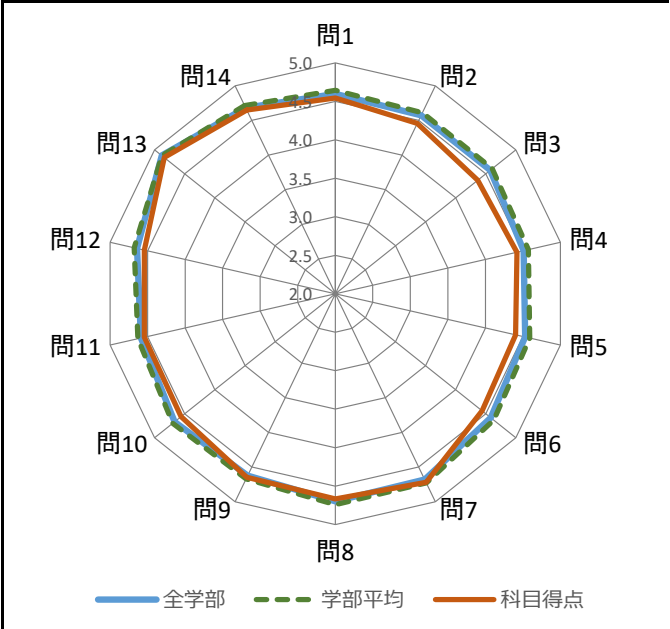
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	人体の構造と機能Ⅲ		[1H0302]	履修者数	72	回答率	
教員名	菅田 晴夫			紙	57	79.2%	79.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	33	22	2				4.54	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	32	20	4				4.46	4.61	4.57
3	教員の話方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	33	14	8	2			4.37	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	30	22	4				4.42	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	29	23	4				4.40	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	30	22	5				4.44	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43	13					4.72	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	40	15	2				4.67	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	41	13	2				4.65	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	36	17	4				4.56	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	35	18	4				4.54	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	35	18	4				4.54	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	49	7					4.84	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	16	2				4.65	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.56	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

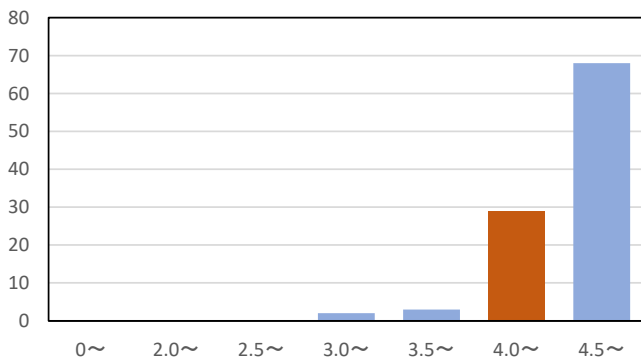


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全く思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



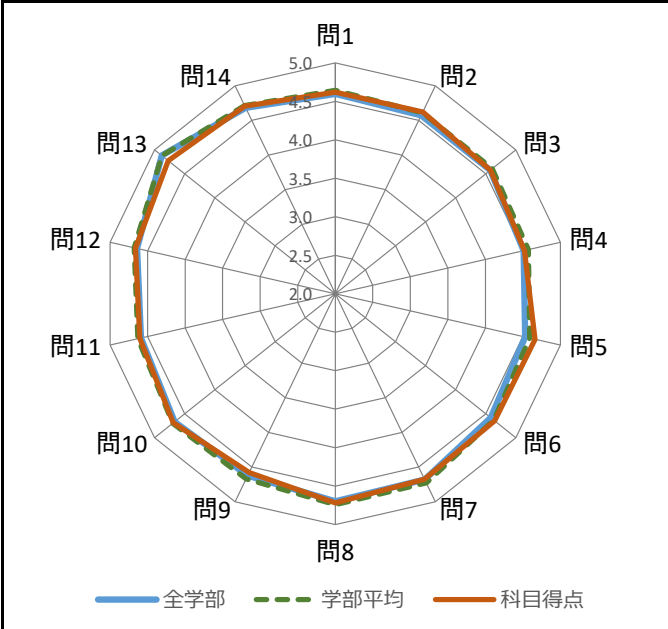
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[1H0401]	履修者数	75	回答率		
教員名	井上 明宏		紙	71	94.7%	94.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	49	19					4.62	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	49	19					4.62	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	47	20	3				4.58	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	45	21	3				4.52	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	52	16					4.66	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	51	17					4.65	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	52	17					4.68	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	55	14					4.72	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	50	16					4.58	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	53	16					4.69	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	50	16	4				4.61	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	53	14	3				4.66	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	59	10					4.77	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	55	13					4.70	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.65	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

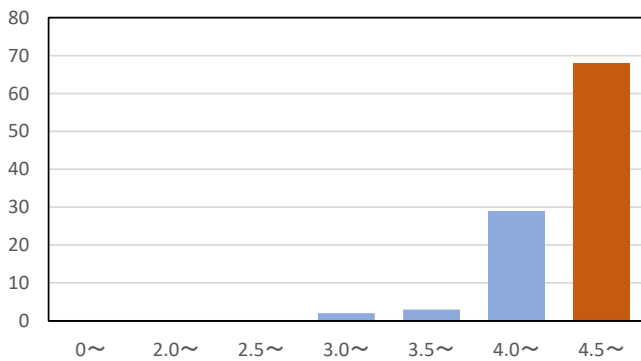


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



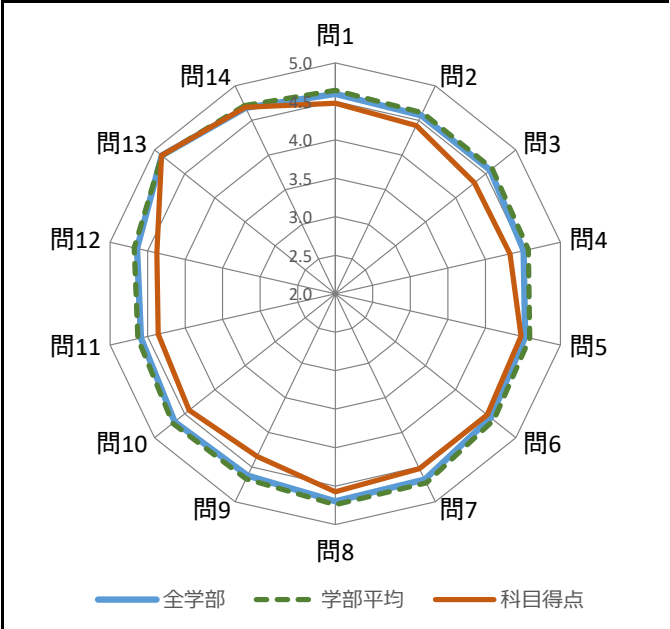
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I		[1H0402]	履修者数	74	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	61	82.4%	82.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	33	24	4				4.48	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	31	25	5				4.43	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	28	24	9				4.31	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	27	27	7				4.33	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	33	24	4				4.48	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	36	21	4				4.52	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	36	21	4				4.52	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	38	20	3				4.57	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	32	20	7	2			4.34	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	32	23	6				4.43	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	31	21	9				4.36	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	30	24	7				4.38	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	54	7					4.89	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44	15	2				4.69	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.48	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

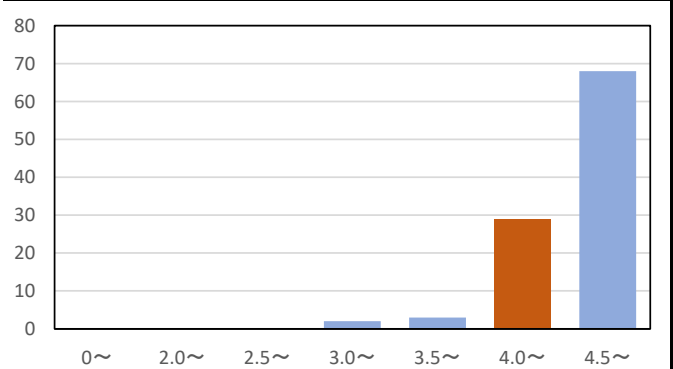


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



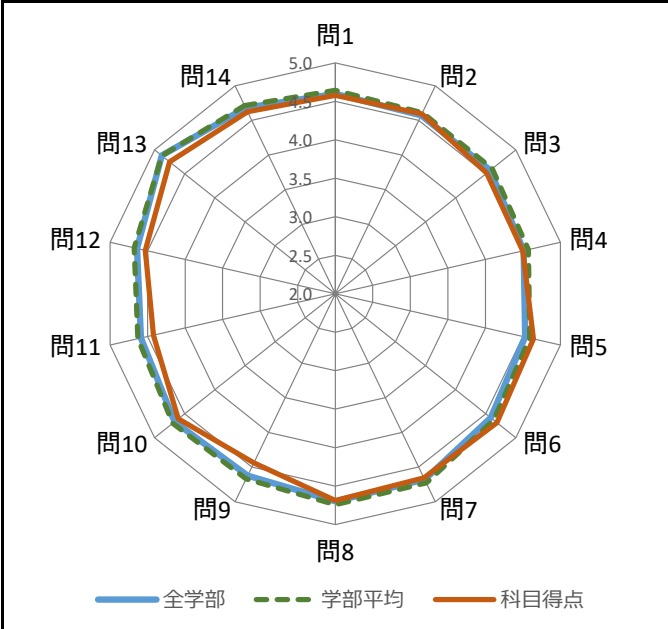
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	[1H0501]	履修者数	76	回答率		
教員名	井上 明宏		紙	64	84.2%	84.2%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	38	25					4.58	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	39	24					4.59	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	35	27	2				4.52	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	36	24	4				4.50	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	43	19	2				4.64	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	47	14	3				4.69	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	46	15	2				4.66	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	45	18					4.69	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	38	19	4	3			4.44	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	41	21	2				4.61	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	36	21	5	2			4.42	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	37	24	3				4.53	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	51	10	3				4.75	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	43	18	3				4.63	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.59	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

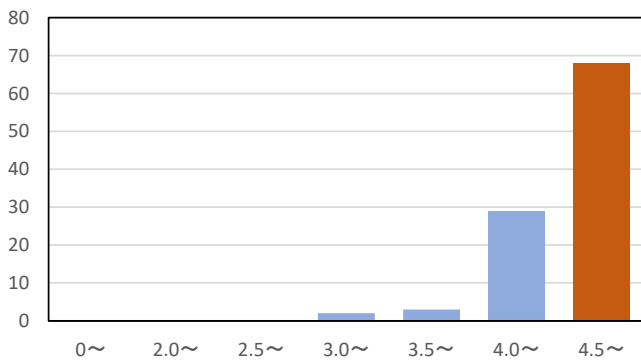


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



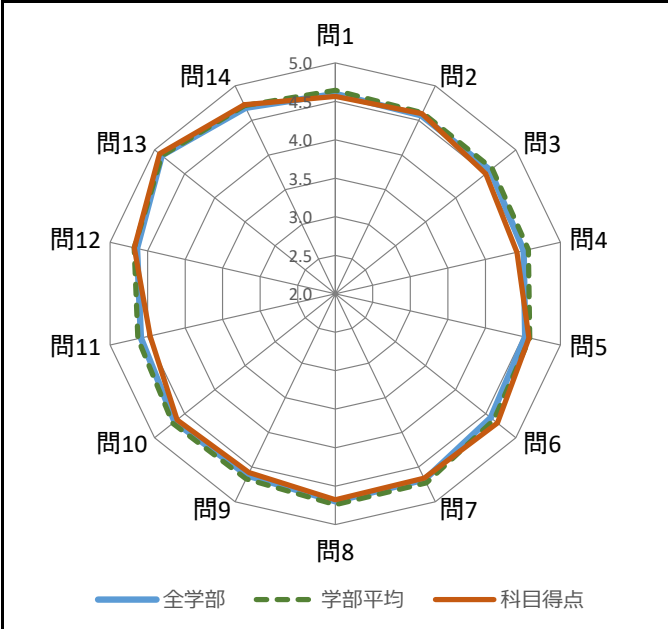
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[1H0502]	履修者数	75	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	62	82.7%	82.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	41	16	4				4.56	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	42	16	3				4.60	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	37	20	4				4.50	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	34	22	5				4.42	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	40	19	2				4.58	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	46	13	3				4.69	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	47	11	3				4.66	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	46	12	4				4.68	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	42	15	4				4.58	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	42	17	3				4.63	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	37	19	5				4.47	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	43	18					4.68	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	58	3					4.92	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	47	13	2				4.73	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.62	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

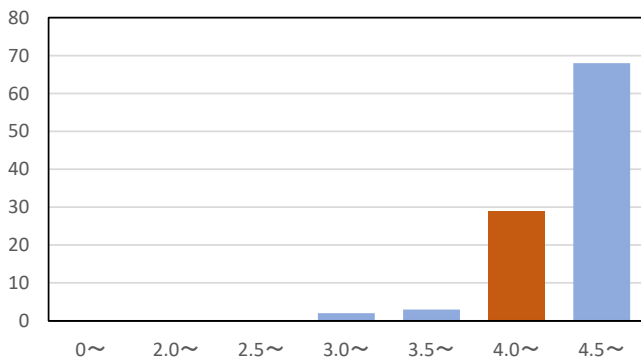


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



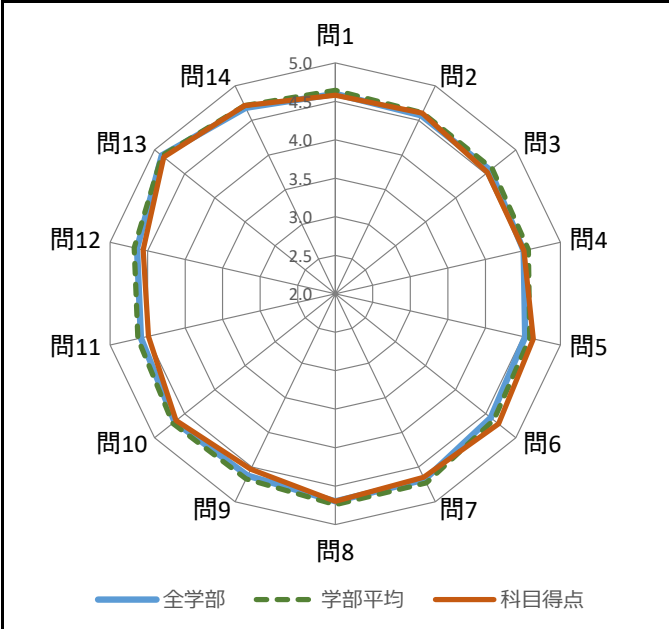
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ		[1H0600]	履修者数	150	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	119	79.3%	79.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	75	39	4				4.58	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	78	36	4				4.61	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	72	41	4				4.53	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	71	39	8				4.51	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	80	35	4				4.64	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	92	22	4				4.71	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	87	25	5				4.65	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	87	28	4				4.70	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。	79	29	7				4.53	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	82	31	4				4.64	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	71	36	11				4.49	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	74	37	6				4.56	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	103	14					4.85	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	89	26	4				4.71	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.62	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

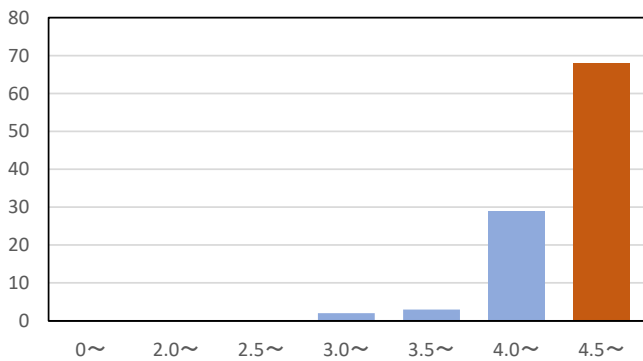


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



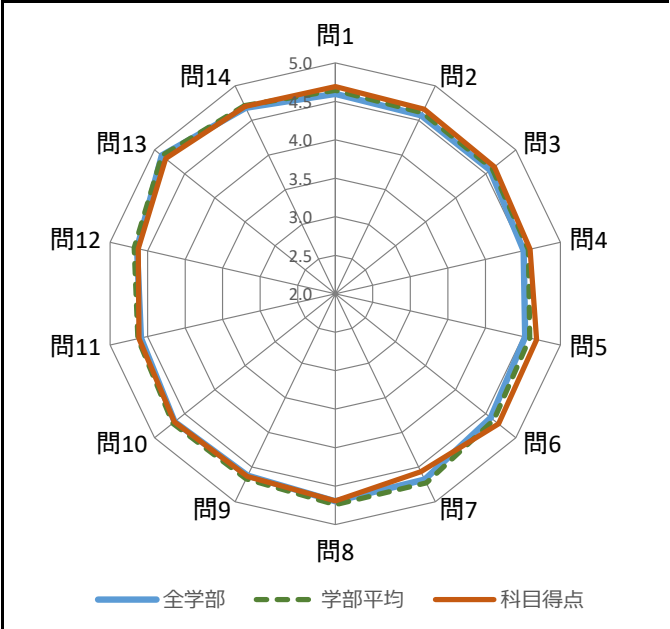
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ		[1H0700]	履修者数	141	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	104	73.8%	73.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7429						4.69	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7131						4.66	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	6933						4.64	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	67325						4.60	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	7329						4.68	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	7528						4.71	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	69284						4.57	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	7429						4.69	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。	71285						4.63	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	74264						4.67	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	69305						4.62	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7030						4.63	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	8617						4.82	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7626						4.70	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.67	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

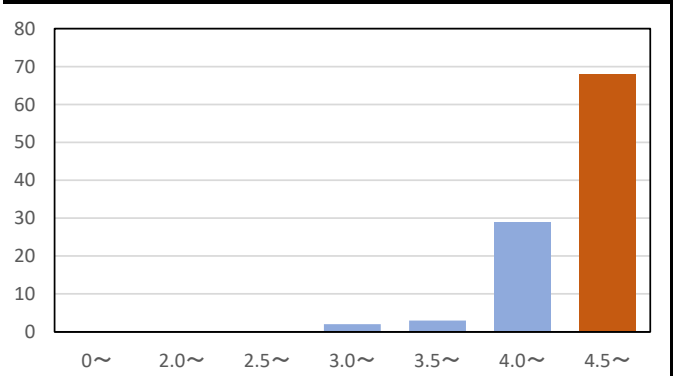


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



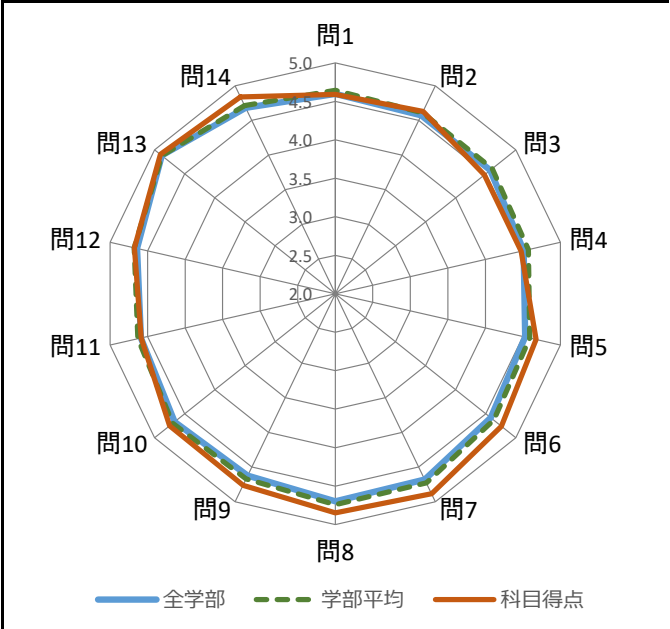
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ		[1H0800]	履修者数	118	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	105	89.0%	89.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	69	30	5				4.59	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	71	29	5				4.63	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	64	27	14				4.48	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	64	30	8				4.48	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	75	27					4.68	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	82	22					4.76	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	93	12					4.89	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	89	16					4.85	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	84	18					4.76	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	86	14					4.75	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	73	22	7				4.59	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	81	15	8				4.68	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	95	10					4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	88	17					4.84	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.70	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

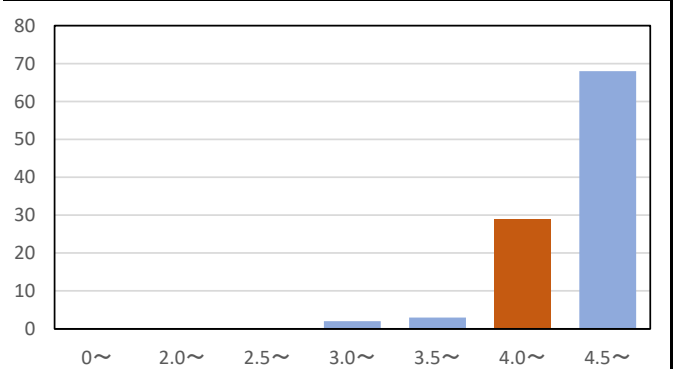


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

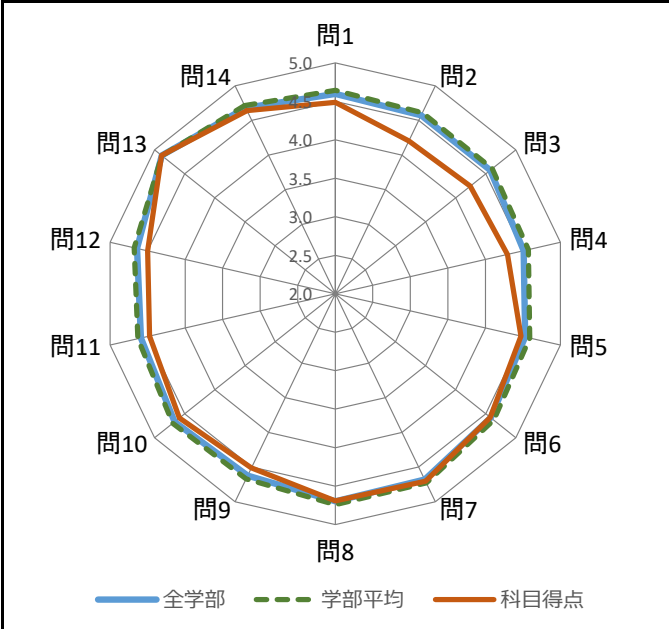


科目名	薬理学 [1H1000]		履修者数	125	回答率	
教員名	吉見 猛		紙	78	62.4%	62.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	48	24	3				4.49	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	40	24	6	6			4.21	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	40	23	10	4			4.24	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	39	26	11				4.29	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	45	26	6				4.47	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	48	28					4.58	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	56	21					4.71	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	56	20					4.69	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	50	22	3				4.51	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	49	26	3				4.59	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	47	23	6				4.47	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	48	22	7				4.50	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	69	9					4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	54	20	4				4.64	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.52	4.67	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

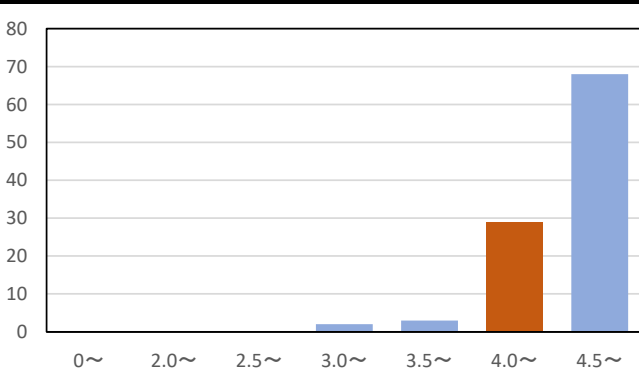


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全く思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



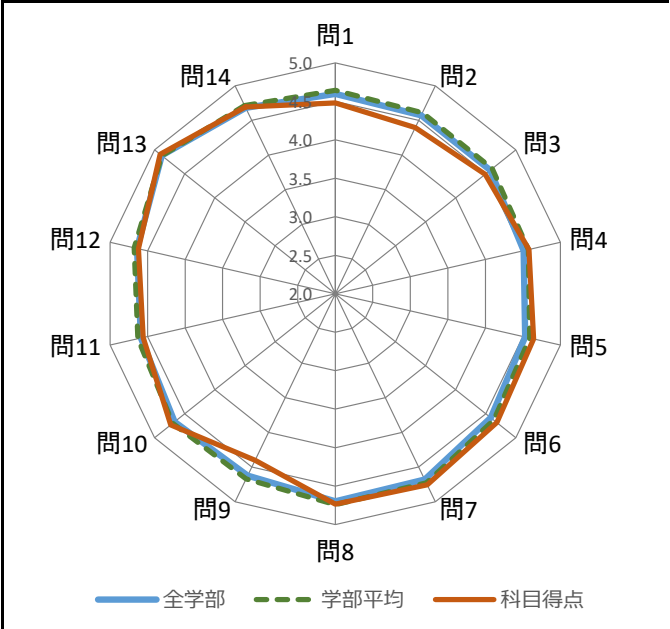
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	栄養学 [1H1300]		履修者数	143	回答率	
教員名	吉岡 有紀子		紙	98	68.5%	68.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	61	26	8	3			4.48	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	57	28	8	5			4.40	4.61	4.57
3	教員の話方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	62	25	8	3			4.49	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	66	24	7				4.58	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	67	28					4.64	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	69	27					4.68	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	75	22					4.76	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	72	26					4.73	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	62	21	5	9			4.40	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	72	26					4.73	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	62	29	7				4.56	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	67	25	6				4.62	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	90	7					4.91	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	70	26					4.69	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.62	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

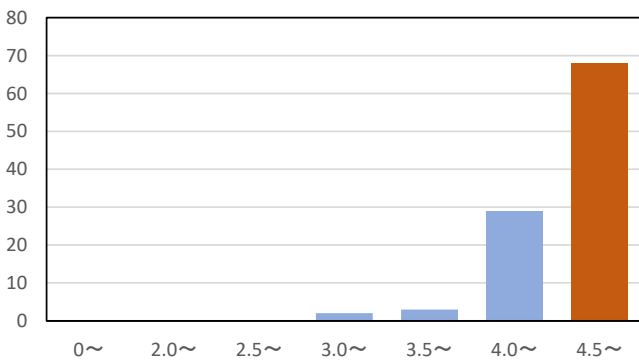


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



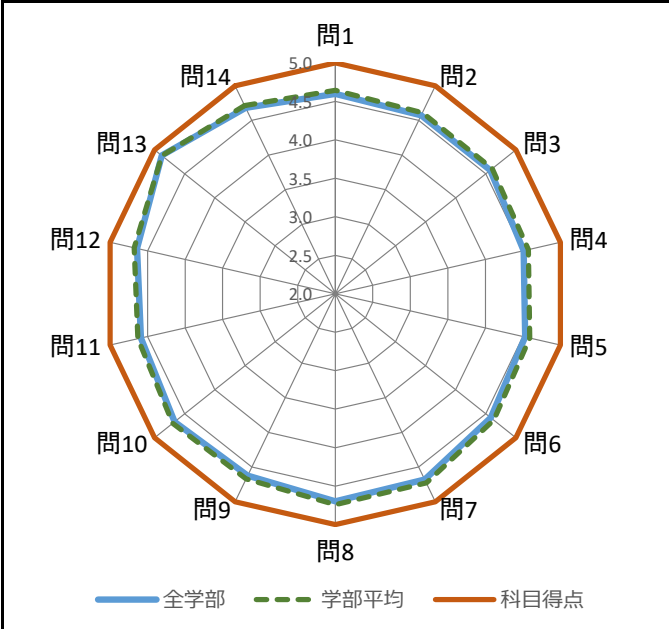
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	看護の歴史 [110400]		履修者数	2	回答率	
教員名	川原 由佳里		紙	2	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	2						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	2						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

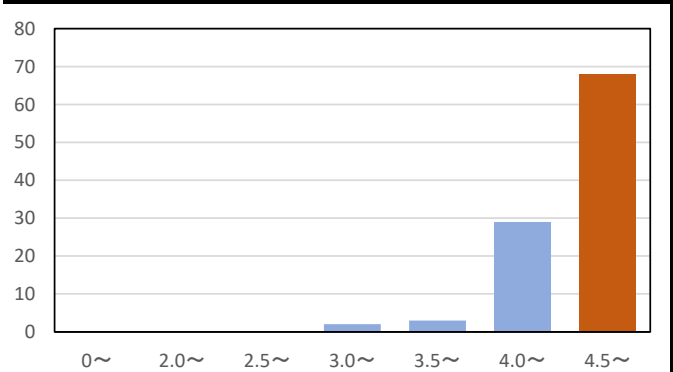


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



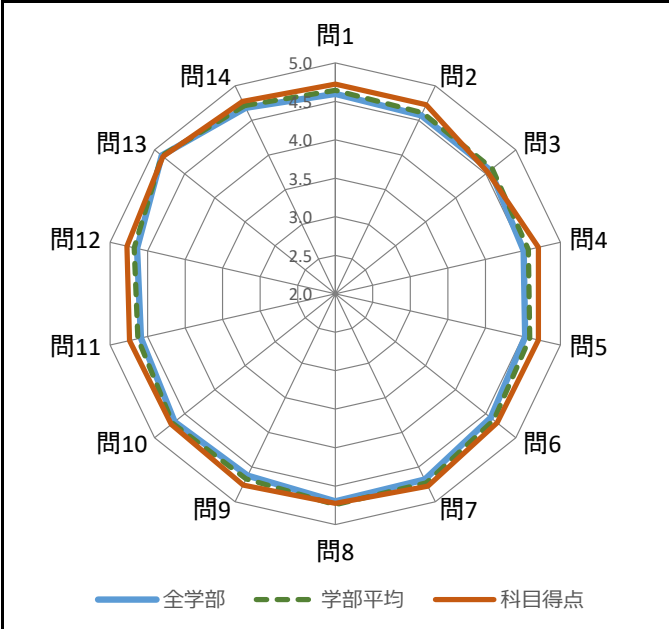
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	精神保健看護学 I		[1L0101]	履修者数	77	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	58	75.3%	75.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.72	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.72	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.53	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.71	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.71	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.69	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.78	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.72	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。								4.76	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.72	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.74	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.78	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.86	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.78	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.73	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

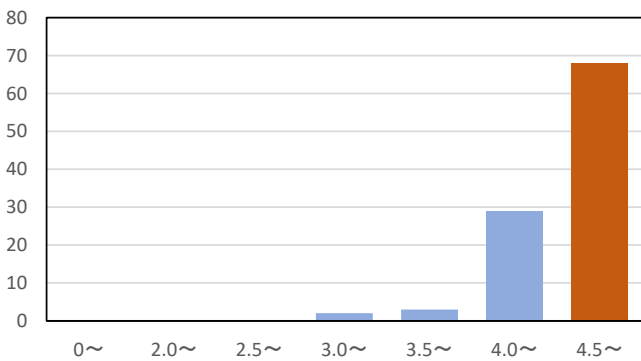


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



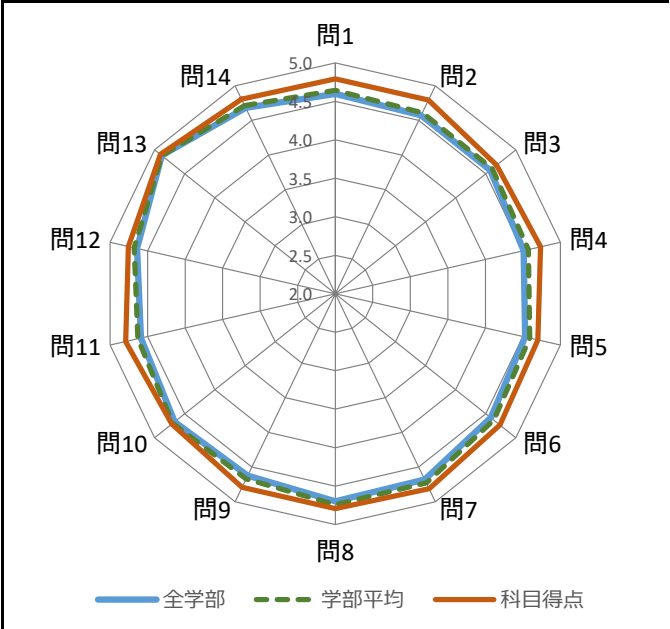
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	精神保健看護学 I		[1L0102]	履修者数	68	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	53	77.9%	77.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目平均と全学平均との比較

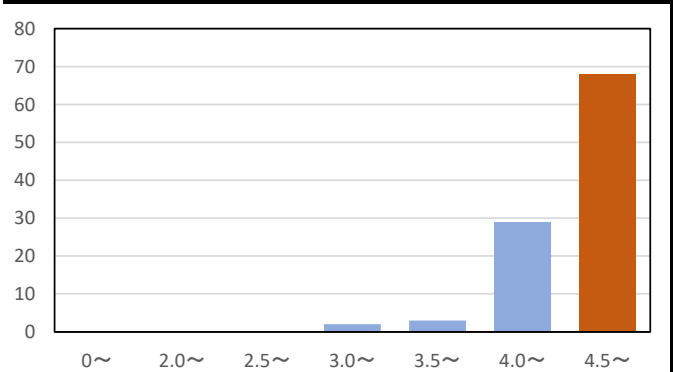


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



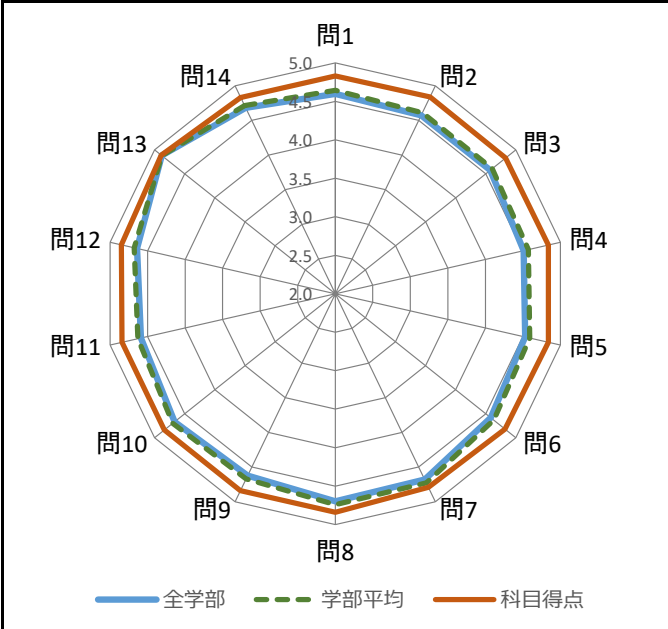
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	発達看護学Ⅰ①		[1M0300]	履修者数	137	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	100	73.0%	73.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.83	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.84	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.83	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.84	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.84	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.82	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.79	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.84	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.84	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.84	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.84	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.85	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.89	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.84	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

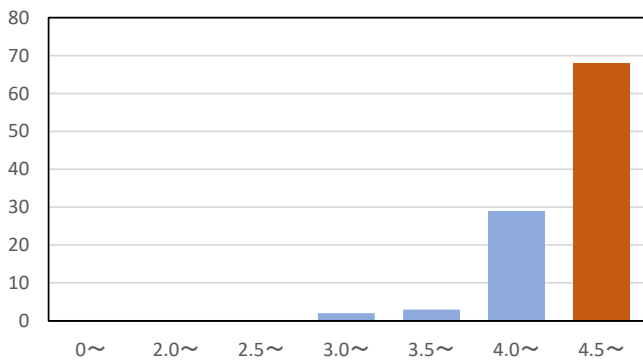


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



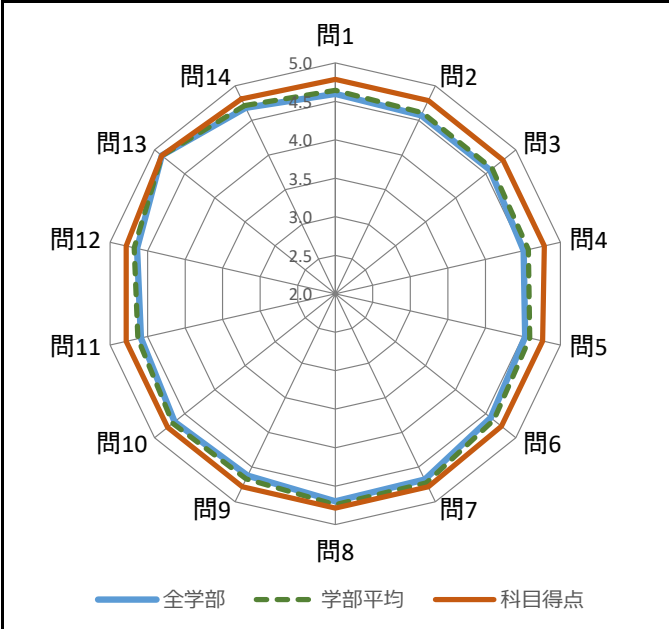
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	発達看護学Ⅱ①		[1M0501]	履修者数	71	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	42	59.2%	59.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.79	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.79	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.79	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.79	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.76	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.76	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.79	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.79	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.79	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.79	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.79	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.79	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.81	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.79	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

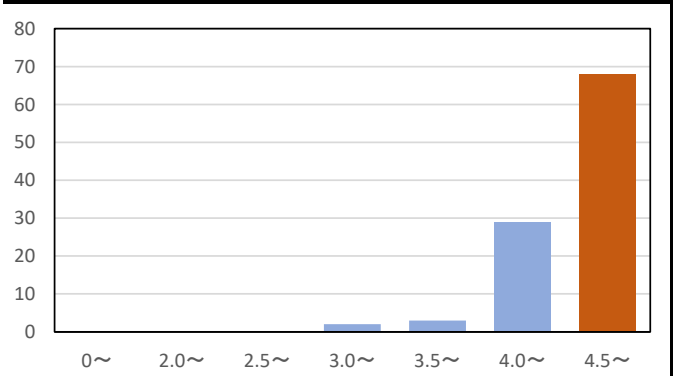


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



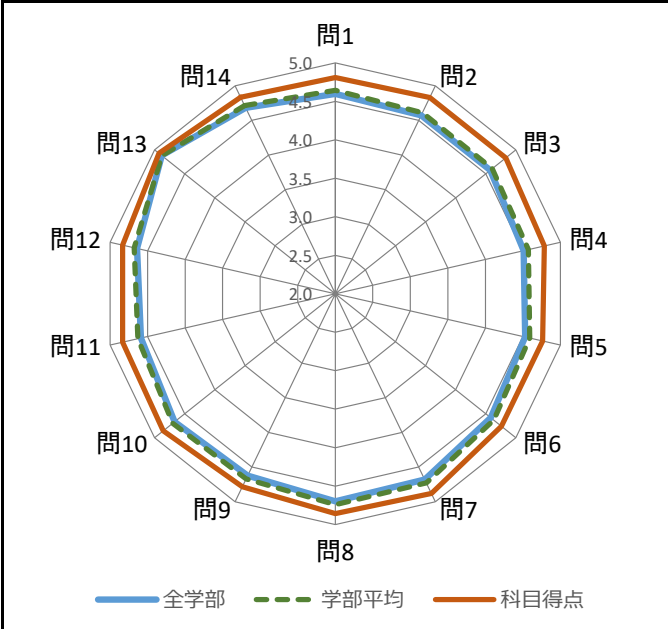
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	発達看護学Ⅱ①		[1M0502]	履修者数	69	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	42	60.9%	60.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.81	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.83	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.83	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.79	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.76	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.76	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.86	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.79	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.86	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.93	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.83	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

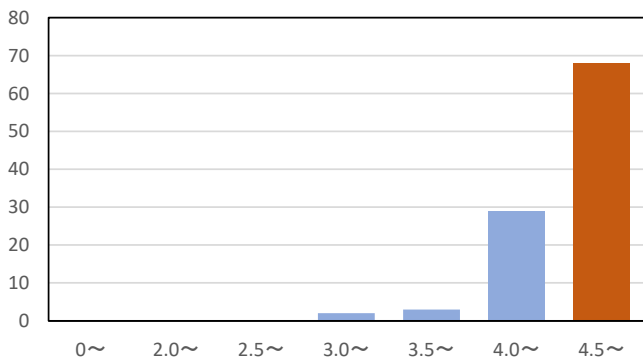


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



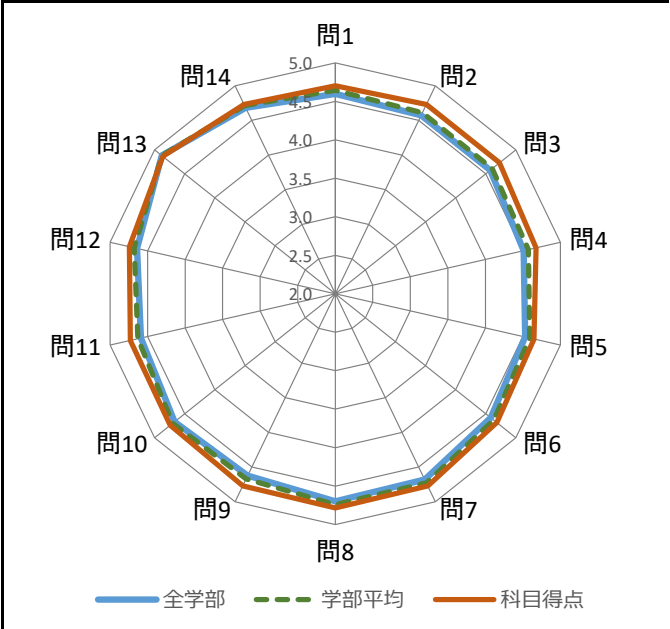
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	発達看護学Ⅲ①		[1M0700]	履修者数	137	回答率	
教員名	坂口 千鶴			紙	74	54.0%	54.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.70	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.73	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.73	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.68	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.65	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.68	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.77	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.78	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.77	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.74	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.73	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.74	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.86	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.73	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.74	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

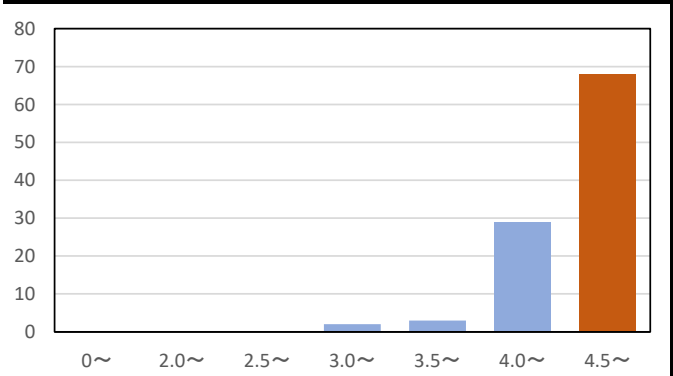


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



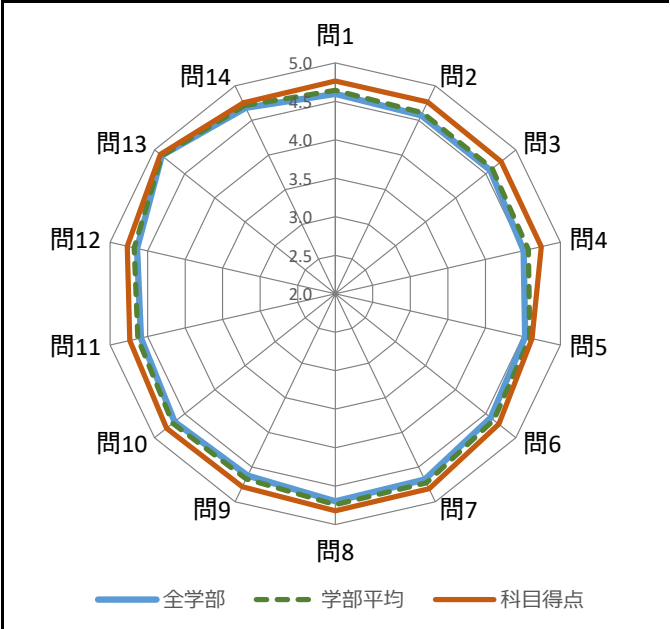
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	プライマリーヘルスケア		[1N0100]	履修者数	145	回答率	
教員名	西田 志穂			紙	106	73.1%	73.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目平均と全学平均との比較

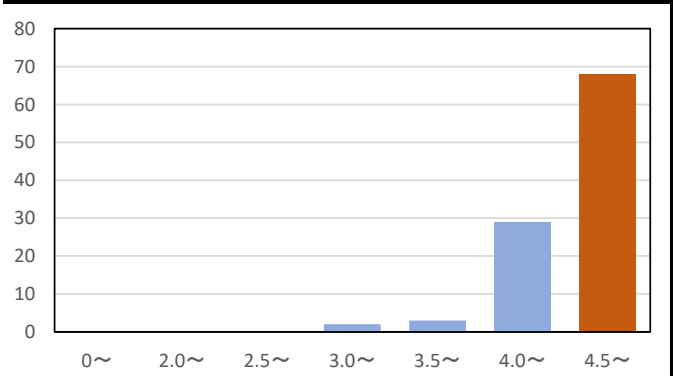


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



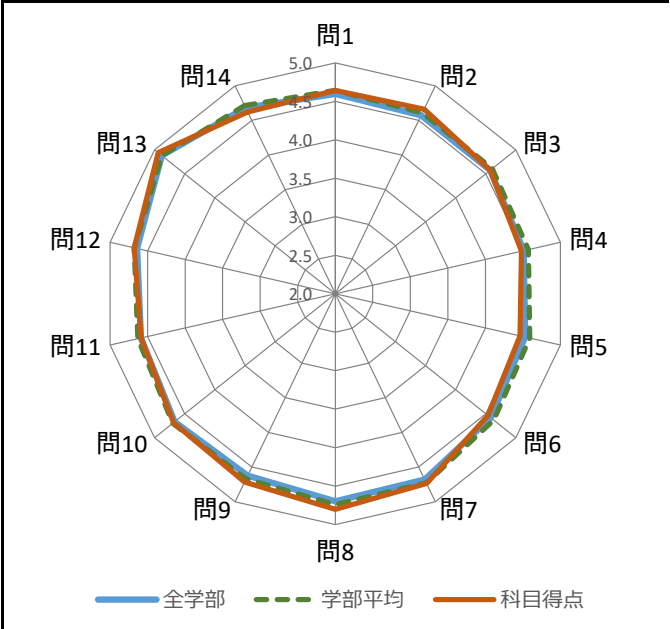
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	地域看護学		[100100]	履修者数	155	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	106	68.4%	68.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.64	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.66	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.58	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.48	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.46	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.54	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.74	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.80	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.72	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.69	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.58	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.68	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.94	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.62	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.65	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

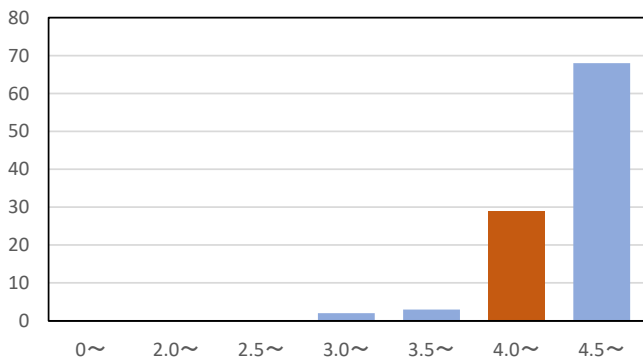


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



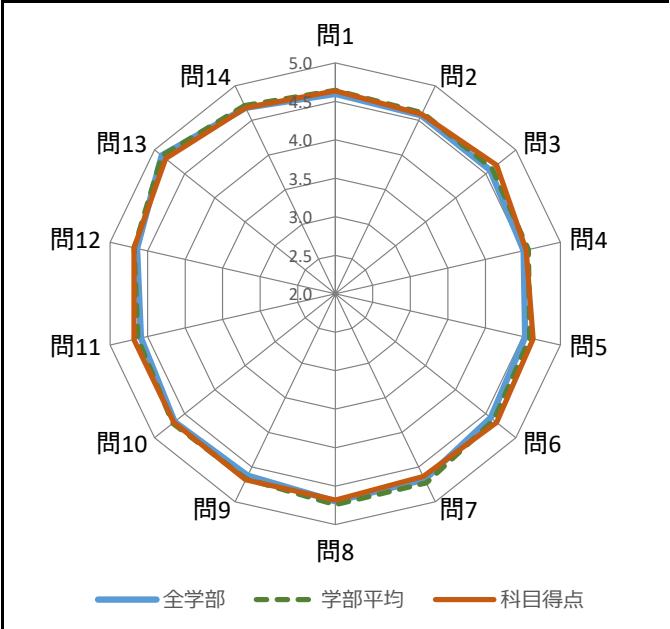
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	公衆衛生看護活動論 [100200]		履修者数	26	回答率	
教員名	吉川 悦子		紙	22	84.6%	84.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.64	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.59	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.68	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.55	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.64	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.68	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.68	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.68	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.68	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.68	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.82	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.67	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

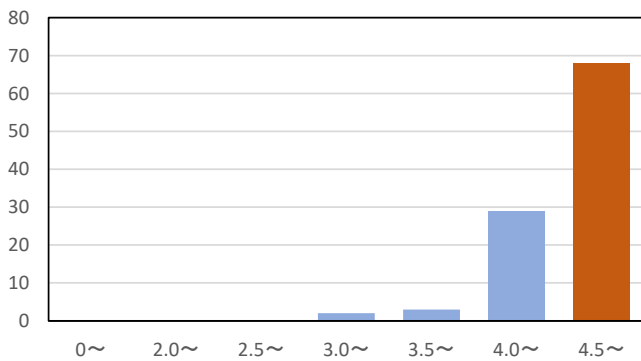


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



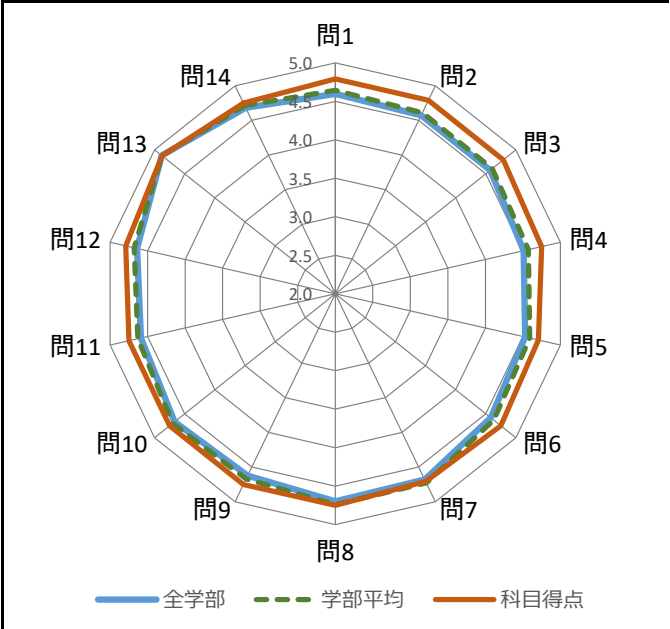
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	疫学	[100400]	履修者数	28	回答率		
教員名	川崎 洋平		紙	24	85.7%	85.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5	4.79	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5	4.79	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							5	4.79	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							6	4.75	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							5	4.71	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							6	4.75	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5	4.71	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							6	4.75	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							6	4.75	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							6	4.75	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							6	4.75	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5	4.79	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							3	4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							6	4.75	4.71	4.68
問1～14全問平均									4.76	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

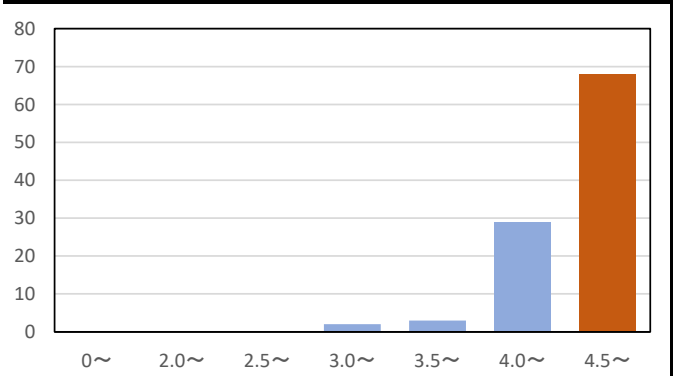


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



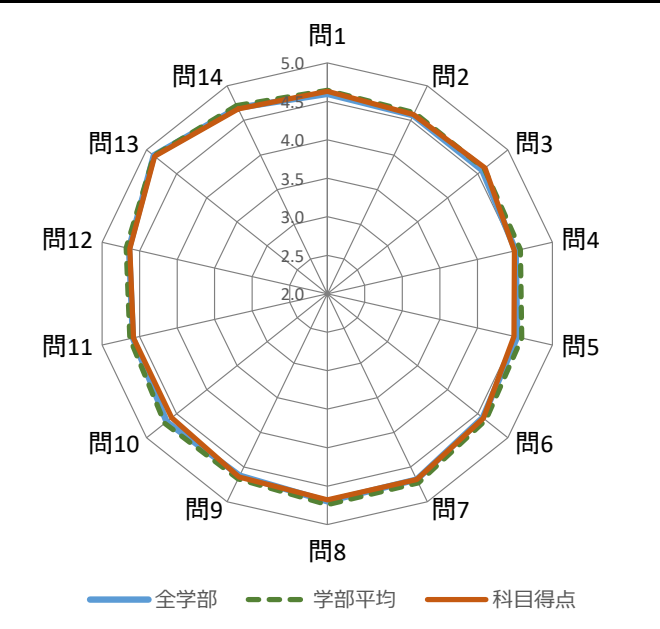
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	看護管理学 I		[1P0100]	履修者数	151	回答率	
教員名	安部 陽子			紙	84	55.6%	55.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.63	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.58	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.62	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.49	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.49	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.60	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.68	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.68	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.64	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.58	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.58	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.63	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.87	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.67	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.62	4.67	4.63	

■科目平均と全学平均との比較

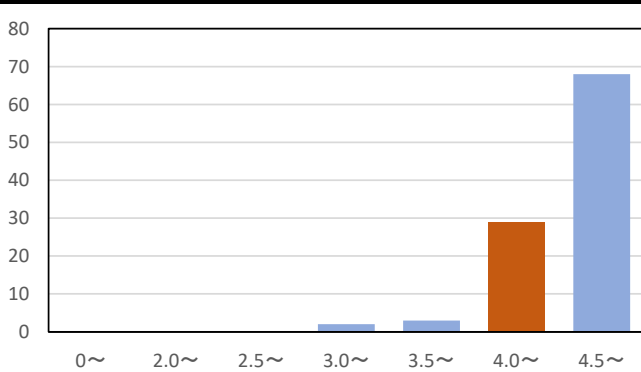


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

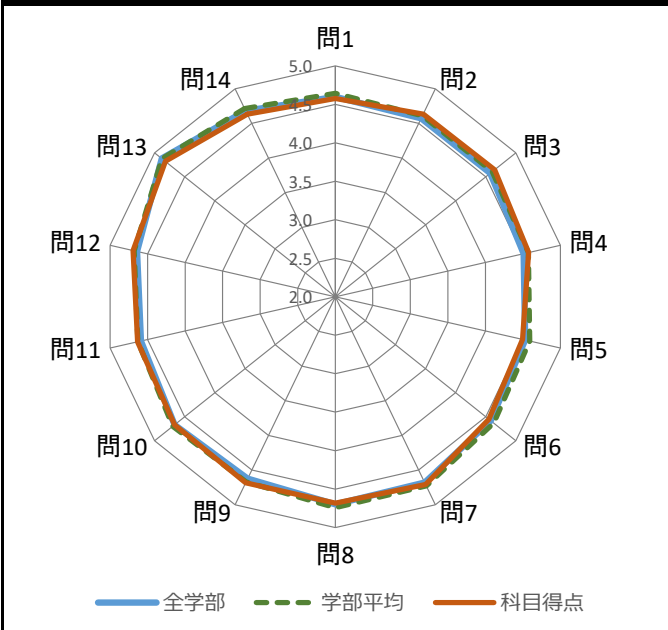


科目名	看護教育学 I		[1P0300]	履修者数	151	回答率	
教員名	佐々木 幾美			紙	85	56.3%	56.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	54	27	3				4.58	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	56	27					4.64	4.61	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	57	26					4.65	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	54	27	3				4.58	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	50	28	6				4.49	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	51	31					4.55	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	61	23					4.71	4.73	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	59	25					4.68	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。	60	23					4.68	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	59	24					4.67	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	56	27					4.64	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	61	22					4.69	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	71	13					4.82	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	57	25	3				4.64	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.64	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

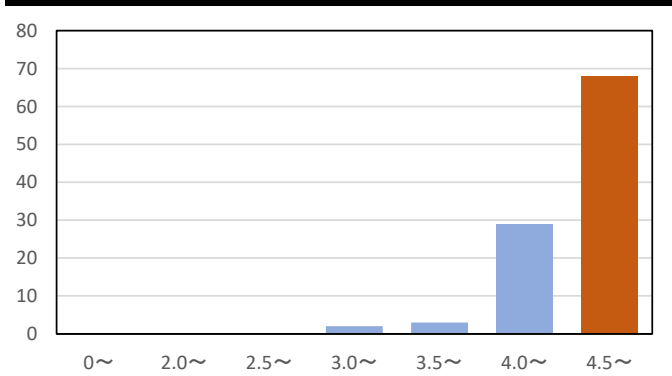


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



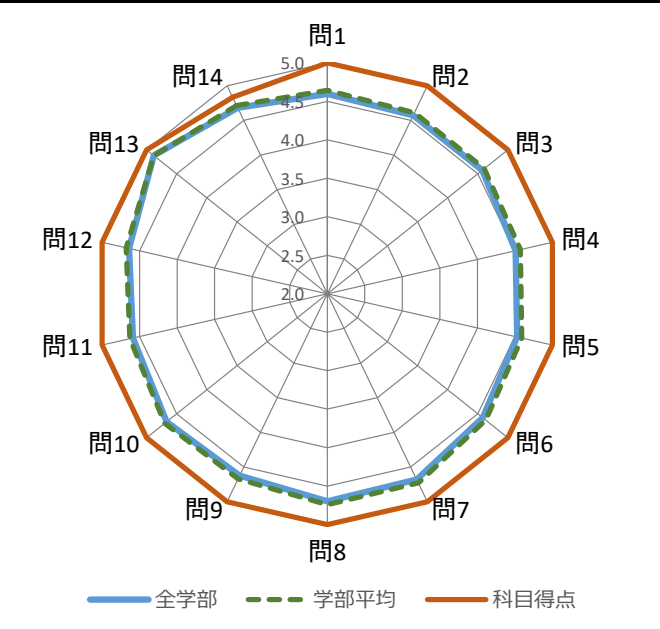
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	国際看護学Ⅱ		[1R0200]	履修者数	6	回答率	
教員名	織方 愛			紙	6	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	6						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	6						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	6						5.00	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						5.00	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6						5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	6						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	6						5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	6						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5					1	4.83	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.99	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

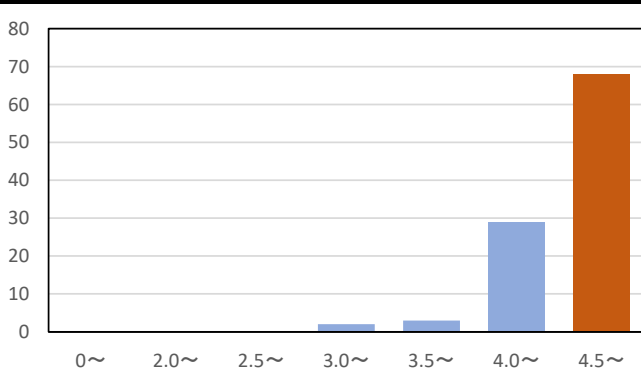


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



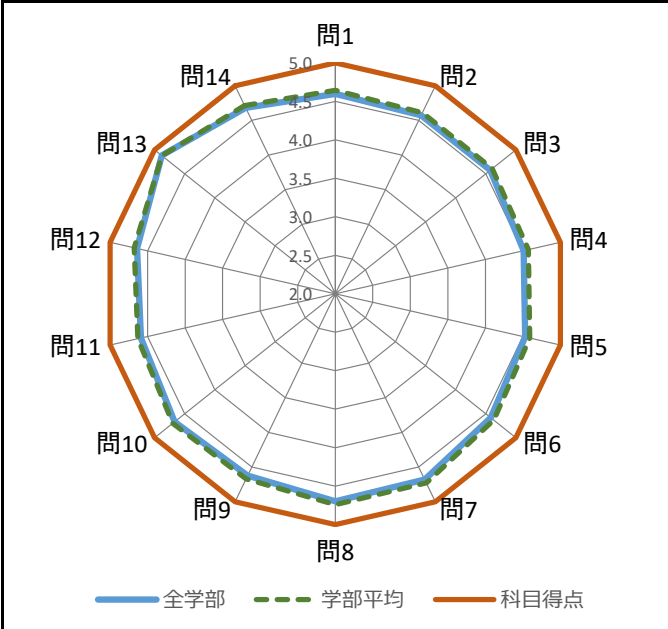
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	国際看護学演習 [1R0300]		履修者数	4	回答率	
教員名	織方 愛		紙	1	25.0%	25.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	1						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	1						5.00	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	1						5.00	4.63	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1						5.00	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	1						5.00	4.74	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1						5.00	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	1						5.00	4.70	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	1						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								5.00	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

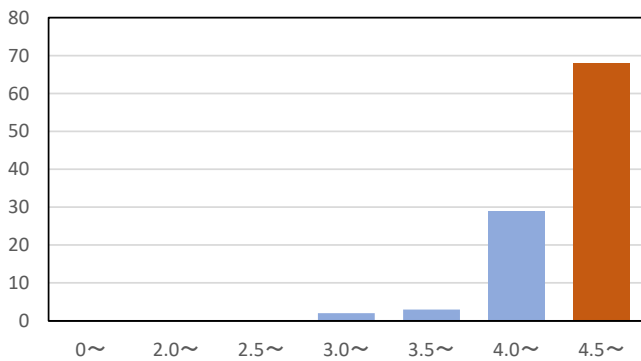


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



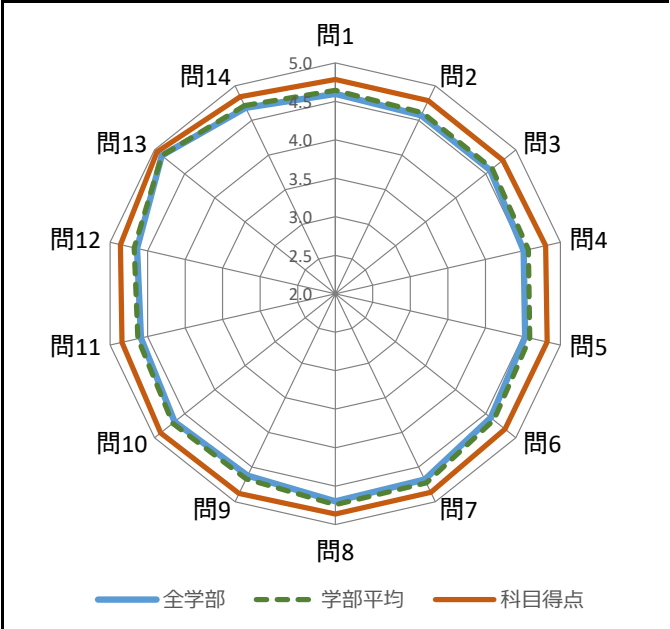
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	災害看護学 I		[1R1101]	履修者数	72	回答率	
教員名	内木 美恵			紙	51	70.8%	70.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			41		9		4.78	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			41		9		4.78	4.61	4.57
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			41		9		4.78	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。			41		10		4.80	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。			42		9		4.82	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。			41		9		4.82	4.63	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			45		5		4.86	4.73	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			45		5		4.86	4.74	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			46		4		4.88	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。			46		5		4.90	4.70	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			43		8		4.84	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			44		7		4.86	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			49		2		4.96	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			43		8		4.84	4.71	4.68
問1~14全問平均								4.84	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

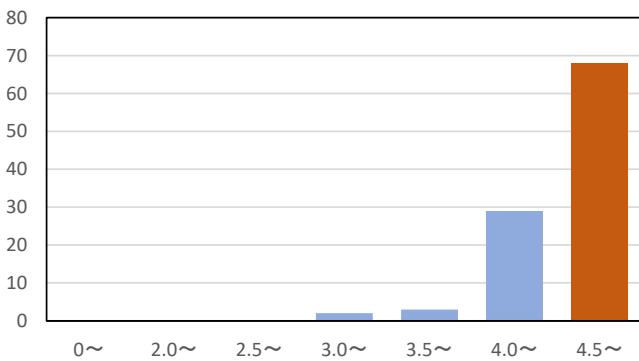


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



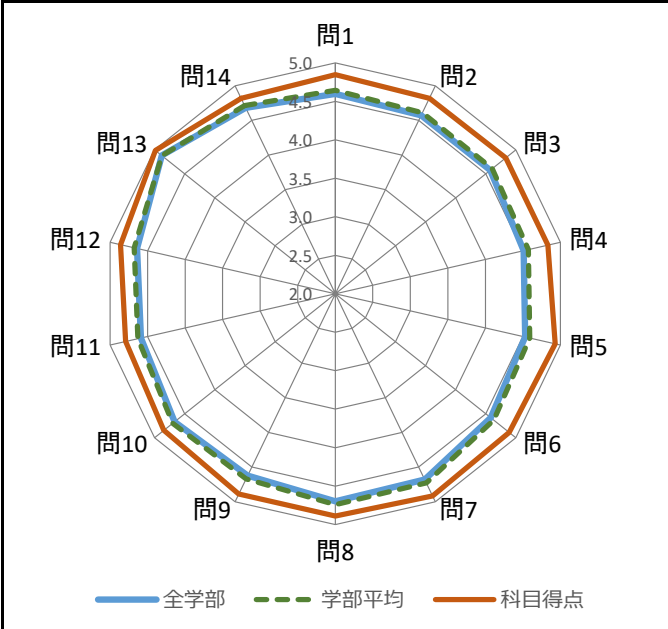
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	災害看護学Ⅰ／災害看護論Ⅰ		[1R1102]	履修者数	80	回答率	
教員名	内木 美恵			紙	72	90.0%	90.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6111						4.85	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5913						4.82	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	6012						4.83	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	6012						4.83	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	675						4.93	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	648						4.89	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	666						4.92	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	648						4.89	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	648						4.89	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	629						4.85	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5813						4.79	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6210						4.86	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	71						4.99	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5913						4.82	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.87	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

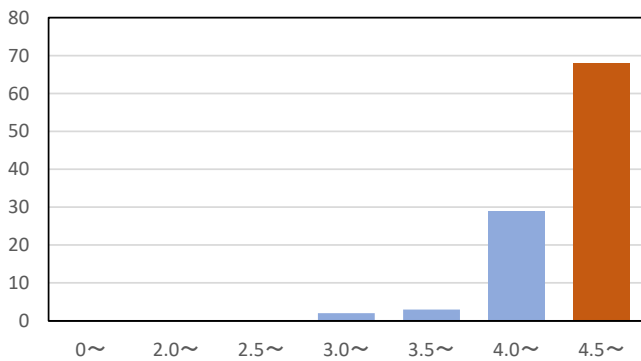


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



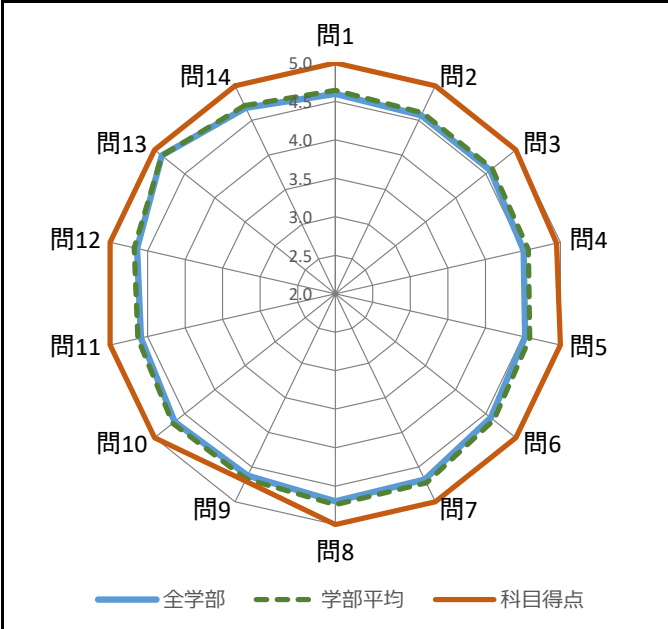
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	公衆衛生看護活動展開論		[1U0100]	履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子			紙	20	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20						5.00	4.64	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	20						5.00	4.61	4.57
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	20						5.00	4.61	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	19					1	4.95	4.57	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	20						5.00	4.59	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	20						5.00	4.63	4.58
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	20						5.00	4.73	4.68
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	20						5.00	4.74	4.70
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。	17					1 1 1	4.70	4.67	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	20						5.00	4.70	4.67
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	20						5.00	4.63	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	20						5.00	4.68	4.64
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	20						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20						5.00	4.71	4.68
問1～14全問平均								4.98	4.67	4.63

■科目平均と全学平均との比較

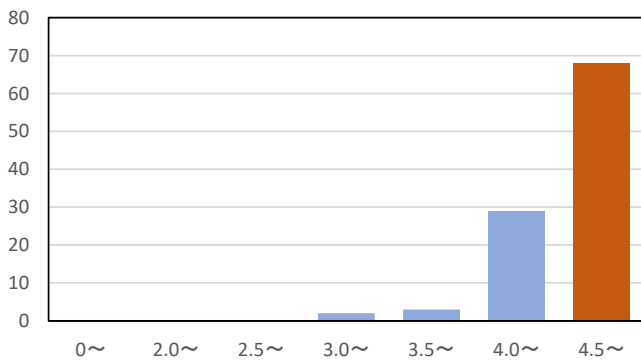


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



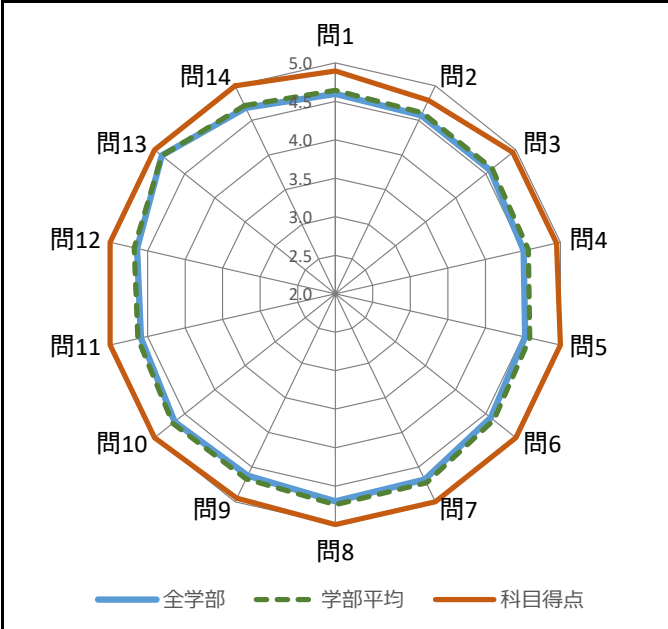
授業改善アンケート【講義】科目別集計

科目名	公衆衛生看護方法論 [1U0300]		履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子		紙	19	95.0%	95.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目平均と全学平均との比較

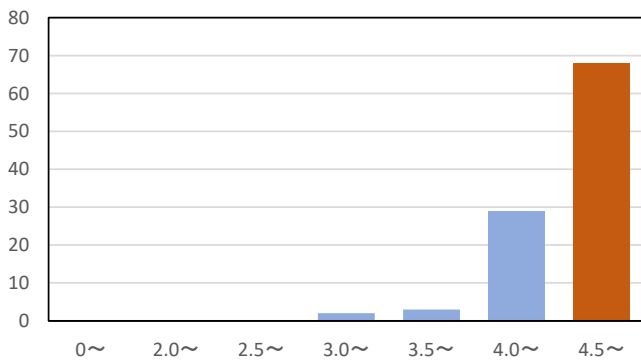


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1B0201	生命倫理	榊原 哲也	・毎回のリアクションペーパーとその意図については、授業の最初に毎回、丁寧にコメントを返していたのですが、そのことが伝わっていない自由記述がいくつか見受けられ、たいへん残念です。このクラスは、注意を促しても、指定された時間帯に受講しない学生が少なからずいて、授業がやりづらいクラスでした。 ・スライドの文字が見えず、困ったという記述がありましたが、広尾ホールでの授業で、前のほうはガラガラでした。前に出てくれば済むことではないですか。授業中に私はそのように促してもいました。このようなコメントは心外です。
1B0202	生命倫理	榊原 哲也	・この授業では、他者のさまざまな考え方を知りつつ、自分の考えを練り上げていくことがとても大切です。答えは一つではありません。広尾ホールでの授業で、ディスカッションの時間を設けることはなかなかできませんでしたが、私はリアクションペーパーの内容をできる限り紹介することで、それを補おうと努めました。「自分でどう思ったのかを考える機会があり、他人がどう考えたのかを知る機会があって良かった」という自由記述があったことは、とても嬉しいことでした。
1B0600	現代教育論	渋谷 真樹	現代教育の成果や課題を知れた点、動画や参考サイトを通して興味を深められた点を評価していただき、うれしいです。グループワークで多様な意見が聞けてよかったというコメントがあった一方で、議論するテーマをより明確にしてほしいというコメントがありましたので、今後改善していきます。話すスピードやスライドの表記、リアクションペーパーの返信のタイミングについて意見がありましたので、参考にします。貧困や障害、不登校に対する授業者の捉え方に違和感をもった方がいたので、より多くの情報を提供し、多面的なとらえ方を示すとともに、学期内に学習者と授業者とがより対話ができるように工夫していきます。
1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	伊藤 麻希	半期8回の授業であったものの、学習意欲の高い学生も多く見受けられました。心身の健康を増進するための知識を学びながら、運動処方を作成する内容を行いました。看護師として多くの患者さんと接する中で、患者さんのパーソナリティや生活習慣を想像し、効果的な運動処方や伝え方を検討する力を身につけさせる目的でした。前期の身体運動論Ⅱと通して、勉強量の多い看護学生は、自身の健康まで気を配る余裕を持つことがどうしても難しいと感じられました（健康度チェックなどの結果より）。自らの心身の健康を保つための知識や技術も、大切な「生きる力」であると考えています。看護を学ぶ中で、心身の感受性を高めて「自分を大切にする技能」を身につけ、患者さんに寄り添って行ってほしいと切に願っています。
1B1000	障がい論	坂口 千鶴	皆様からの高い評価と貴重なご意見、ありがとうございます。皆さんが興味関心をもって授業に参加して頂き、多くの学びを得る機会になったことと推察致します。今後も皆様からの意見を踏まえてさらに興味関心をもって頂けるよう努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。
1C0200	社会学Ⅱ	鷹田 佳典	受講生のみなさんが普段あまり触れてこなかった内容だったようで、良かったです。来年度の授業でも、社会状況を踏まえつつ、多様なテーマを取り上げていきたいと思ひます。また、グループワークを行う機会も多く取りたいと思ひます。授業で紹介する新聞記事に偏りがあり、信ぴょう性が気になるというコメントをいただきました。なるべく多様なソースを紹介するようにしたいと思ひます。
1C0400	家族社会学	宮下 阿子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。また、授業では、教員とも積極的にコミュニケーションをとってくださり、授業の運営がしやすく本当に助かりました。今後も、グループワークを活用しながら、みんなで楽しく学べる授業を目指したいと思ひます。
1C0600	国際関係論	角田 敦彦	科目全体の評価としては、4.52と例年よりも低いものでした。授業の内容が難しいと感じたり、興味を持たないと感じた学生が一定数いたことは、選択科目という性格から考慮すると、今後の授業の進め方や資料提示のうえで課題といえます。一方、大学における学習として、困難な課題に予習や復習で理解を深める学生自身の努力にも期待したいところです。自由記述の中に、意図がくみ取れないものもあり、今後の改善にもう少し詳しい意見を聞いてみたいところもありますが、少なくともレポート提出の時期に関しては、今後検討したいと思ひます。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1C0800	医療と文化	鈴木 勝己	受講生が少ないこともあり、とてもフレキシブルに授業を進めていく事ができました。常識を疑い、考える面白さに気がつくことができたのではないかと思います。ぜひこれからも柔軟な思考で学んでください。それは看護師として大事な視点を育んでくれるはずです。ともに頑張りましょう。
1D1100	基礎統計学	山下 龍生	短い期間でしたが、お疲れ様でした。コメント等を書ってくれた人もいたようで、ありがとうございました。意見の中にあった改善すべき点については改善していきたいと思います。数学や統計を勉強する時間を取るのが難しかったと思いますが、よく勉強されていたと思います。
1E0201/1E0202	情報科学	川崎 洋平	貴重なコメントをありがとうございました。丁寧な説明、データ解析が初めてでもわかりやすかったという事で、今後も良い点を維持して、よりよい従業を目指していきたいと思います。
1F0301	英語 R 1 - 2	遠藤 花子	やや難しい内容のテキストだったかもしれませんが、みなさん、よく取り組んでいいと思います。
1F0302	英語 R 1 - 2	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。ご意見をもとに授業改善させていただきます。
1F0303	英語 R 1 - 2	遠藤 花子	やや難しい内容のテキストだったかもしれませんが、みなさん、よく取り組んでいいと思います。
1F0304	英語 R 1 - 2	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。ご意見をもとに授業改善させていただきます。
1F0501	英語 W 1 - 2	佐藤 眞	・学生のみなさんが熱心に授業に取り組んでくれたことに感謝します。 ・前期の授業の内容を補完しながらの授業だったので、学生のみなさんには少し内容が多かったかも知れませんが、しっかり勉強してくれました。
1F0502	英語 W 1 - 2	Michelle van Bokhorst	Thank you for your feedback.
1F0503	英語 W 1 - 2	佐藤 眞	・学生のみなさんが熱心に授業に取り組んでくれたことに感謝します。 ・前期の授業の内容を補完しながらの授業だったので、学生のみなさんには少し内容が多かったかも知れませんが、このことが「課題が多い」というコメントになったと思われる。 ・1段落を英語で書くということに関しては、よく理解してもらえたようですね。
1F0504	英語 W 1 - 2	Michelle van Bokhorst	Thank you for your feedback.
1F0701	英語 L S 1 - 2	Benjamin Tutchner	Thank you all for your responses to the questionnaire, I am always happy to hear about students' feedback to my classes and I will keep it in mind in my future lessons.
1F0702	英語 L S 1 - 2	Sam Bamkin	この度、プロジェクト学習によって授業を行いました。評価として、学生さんがビデオをつくりました。授業評価は前の以前と同じように、評価が高いですが、このイノベティブの活動にもう少し自身を高めました。This term, I incorporated project-based learning into the class. Students produced a video in English for their assignment. Similarly to previous terms, the class evaluation was high. This gave me more confidence in such innovative teaching styles. 下のコメントは授業に関係がない。学生は授業の内容だけではなく、ご都合な時間のクラスも選んでいます。（私も学生だった時代には時間割によってクラスを選択しました！）後期では5時限のクラスは必修だったので、朝の授業は人気にならなかったそうです。This is not a comment about the class.Students select classes not only on their interests, but also on their schedule. (Me too, when I was a student!). Because there was a mandatory class in 5th period, morning classes were not popular.
1F0703	英語 L S 1 - 2	Michelle van Bokhorst	Thank you for the feedback. I'm glad you enjoyed the class.
1F0704	英語 L S 1 - 2	Benjamin Tutchner	Thank you all for your responses to the questionnaire, I am always happy to hear about students' feedback to my classes and I will keep it in mind in my future lessons.

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1F0705	英語 L S 1 - 2	Sam Bamkin	この度、プロジェクト学習によって授業を行いました。評価として、学生さんがビデオをつくりました。授業評価は前の以前と同じように、評価が高いですが、このイノベーティブの活動にもう少し自身を高めました。This term, I incorporated project-based learning into the class. Students produced a video in English for their assignment. Similarly to previous terms, the class evaluation was high. This gave me more confidence in such innovative teaching styles. 下のコメントは授業に関係がない。学生は授業の内容だけではなく、ご都合な時間のクラスも選んでいます。（私も学生だった時代には時間割によってクラスを選択しました！）後期では5時限のクラスは必修だったので、朝の授業は人気にならなかったそうです。This is not a comment about the class.Students select classes not only on their interests, but also on their schedule. (Me too, when I was a student!). Because there was a mandatory class in 5th period, morning classes were not popular.
1F0706	英語 L S 1 - 2	Michelle van Bokhorst	Thank you for the feedback. I'm glad you enjoyed the class.
1F0902	英語 R 2 - 2	皆川 健次郎	テキストが専門「看護研究」の論文になり、どうなることかと思いましたが、川崎先生に分量の削減を提案し、意見を取り入れてもらったおかげで、なんとかまりました。非常勤の意見を真摯に聞いて下さり、実行に移してくれる川崎先生、遠藤先生、また授業を支えて下さった、教務、事務の方々、経理の方々に感謝致します。日赤は、規模がいい意味で、小さいので、迅速に対応していただき、一教師としては、大変やりやすかったです。また、授業運営の方々にも、看護の精神があると感じました。ありがとうございました。
1F0904	英語 R 2 - 2	皆川 健次郎	テキストが専門「看護研究」の論文になり、どうなることかと思いましたが、川崎先生に分量の削減を提案し、意見を取り入れてもらったおかげで、なんとかまりました。非常勤の意見を真摯に聞いて下さり、実行に移してくれる川崎先生、遠藤先生、また授業を支えて下さった、教務、事務の方々、経理の方々に感謝致します。日赤は、規模がいい意味で、小さいので、迅速に対応していただき、一教師としては、大変やりやすかったです。また、授業運営の方々にも、看護の精神があると感じました。ありがとうございました。
1F1100	英語W 2 - 2	遠藤 花子	総じてご満足頂き、よかったです。これからも頑張ってください。
1F1103	英語W 2 - 2	遠藤 花子	みなさん、非常によく取り組んでいたと思います。これからも頑張ってください。
1F1300	英語 L S 2 - 2	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。ご意見をもとに授業改善させていただきます。
1F3001	フランス語	西村 友樹雄	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございます。総じて高い評価を頂けたことも嬉しく思っております。自由記述欄では、実際にフランスに行った時に使ってみたいというコメントや、鑑賞した映画やニュース、折に触れて紹介したフランスの文化の話題が面白かったというコメントを頂きこちらも嬉しく思いました。これからの授業でも、フランス語学習の意欲が高まる話題、皆さんにとって興味のある話題を提供できればと考えております。一方で、配布物のわかりやすさや、授業の進度について改善の余地があるのではないかとという貴重なご指摘もいただきました。改めて配布物のレイアウトや学習内容、時間配分等を見直し、今年度（2023年度）の授業をより良いものとしていく所存です。
1F3002	フランス語	西村 友樹雄	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございます。総じて高い評価を頂けたことも嬉しく思っております。自由記述欄では、実際にフランスに行った時に使ってみたいというコメントや、鑑賞した映画やニュース、折に触れて紹介したフランスの文化の話題が面白かったというコメントを頂きこちらも嬉しく思いました。これからの授業でも、フランス語学習の意欲が高まる話題、皆さんにとって興味のある話題を提供できればと考えております。一方で、配布物のわかりやすさや、授業の進度について改善の余地があるのではないかとという貴重なご指摘もいただきました。改めて配布物のレイアウトや学習内容、時間配分等を見直し、今年度（2023年度）の授業をより良いものとしていく所存です。
1G0230	基礎ゼミⅡ（編入生）	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。ご意見をもとに授業改善させていただきます。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1H0301	人体の構造と機能Ⅲ	誉田 晴夫	声の聞き取りやすさ、図の見やすさについて改善の余地ありとの指摘がありました。できるだけゆっくり話したつもりでしたが、まだ不十分だったようです。また、講義室が横に広く、プロジェクターの投影図が二つあり、解像度にも制限があったので、説明するほうもやりにくさを感じました。医学の進歩に伴って教科書の内容がグレードアップして難しくなっていることは否めません。初めての授業で教科書の内容をすべて理解するのは難しいことです。同じような内容の講義をこれからも聞く機会があると思うので、この授業ではよくわからなかった点も、だんだん理解が深まっていくと思います。
1H0302	人体の構造と機能Ⅲ	誉田 晴夫	声が聞き取りにくかった、図が見にくかった、とのコメントがありました。ゆっくりはっきり話しているつもりですが、まだ改善の余地がありそうです。図については、講義室が横長で、プロジェクターの投影図が2つあり、解像度にも制限があったようで、こちらもやりにくさを感じました。雑談もあって楽しかった、とのコメントがありました。講義する方としては、いかに学生を寝させないか、という点にも努力したわけです。医学の進歩に伴い教科書の内容も難しくなってきました。初めての授業で、その内容をすべて理解するのは難しいです。しかし、これからも同じような内容の授業があると思うので、理解も深まっていくと思います。
1H0401	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。医師の外部講師によってわかりやすい人とそうでない人がいたとのことで、フィードバックします。席によってスクリーンの見やすさが変わるのは大教室の場合やむを得ないかと思いますが、公平になるように定期的に席替えをしています。
1H0402	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。医師の外部講師によってわかりやすい人とそうでない人がいたとのことで、フィードバックします。席によってスクリーンの見やすさが変わるのは大教室の場合やむを得ないかと思いますが、公平になるように定期的に席替えをしています。
1H0501	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環です。
1H0502	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上 明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環です。
1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	井上 明宏	脳・神経系の講義を3人の先生で一般・内科・外科と分担していただき、バラエティーもあった点を評価していただきました。手術動画などが好評のようなので、今後も講師の先生にお伝えしておきます。資料が多過ぎて何が大切かわからないというコメントがありましたが、大事でないことについては授業で言及されていると思います。それ以外は、基本的には大事だということです。ただ、全てを1年次に覚える必要はありません。
1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	井上 明宏	オムニバス形式ということで、各専門の先生の話聞いたことを評価していただきました。リフレクションに質問を書いても回答がなかったということですが、回答をどうしても欲しい質問は、メールで直接聞いていただく方が確実です。
1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	井上 明宏	医師の講師の熱意が感じられたというコメントをいただきましたので、お伝えしておきます。数か月後には臨床現場に出ることになる4年生に向けて意識された講義であることが評価されてよかったと思います。国試対策を意識した講師の評価がよいコメントがありますが、国試対策予備校の授業ではありませんので、大学の授業でないと聞くことができない話だということを前向きにとらえていただければと思います。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1H1000	薬理学	吉見 猛	毎年、授業の進み具合が早く内容を理解することが難しいとの意見がある一方で、授業内容がわかりやすかった、とてもためになったとの意見もいただいています。今後は、各項目の重要ポイントを絞って授業を行うように計画します。
1H1300	栄養学	吉岡 有紀子 保瀬 由江	「栄養学」の授業への熱心な受講お疲れさまでした。8回という授業回数の中で、1冊の教科書をすべて学びきるというスケジュールでしたので、相当大変だったかと思います。その中で、みなさまとてもまじめに取り組んでくださっていました。“食事”は、患者様にとって体と心の治療にとっても重要ですので、ぜひ、看護師になられた暁に、本授業を思い出していただけると嬉しいです。現場で困ったら、教科書そして、管理栄養士に相談してくださいね。
1I0400	看護の歴史	川原 由佳里	少人数でのクラスです。教員との距離が近く質問しやすい、レジメに写真や文献（当事者の言葉）が多く、分かりやすい、おもしろかったとのコメントをいただきました。興味が持てる授業を目指しています。コメントありがとうございました。川原
1L0101	精神保健看護学Ⅰ	鷹野 朋実	アンケートへの回答ありがとうございました。マイクの音量について十分に対応できていない授業があり、すみませんでした。今後は、このような授業のハード面についても十分に留意しながら授業を展開していきたいと思います。
1L0102	精神保健看護学Ⅰ	鷹野 朋実	アンケートへの回答ありがとうございました。マイクの音量について十分に対応できていない授業があり、すみませんでした。今後は、このような授業のハード面についても十分に留意しながら授業を展開していきたいと思います。
1M0300	発達看護学Ⅰ①	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。動画の使用や質問に対してのフィードバック資料の充実などを取り入れたことが、皆さんの理解を促す手助けができたようでよかったです。わかりやすい資料を工夫すると、どうしても資料枚数が多くなる傾向になりますので、その点は検討したいと思います。
1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。オンデマンド授業へのフィードバックもいただけて嬉しかったです。授業資料の改善点についてコメントをいただきました。授業資料の構成は各授業の内容や補足資料の有無によって異なりますが、学生が混乱しないような工夫を検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。オンデマンド授業へのフィードバックもいただけて嬉しかったです。授業資料の改善点についてコメントをいただきました。授業資料の構成は各授業の内容や補足資料の有無によって異なりますが、学生が混乱しないような工夫を検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0700	発達看護学Ⅲ①	坂口 千鶴	皆様からの評価、そして貴重なご意見、ありがとうございます。今後ご意見等を反映しながら、皆様の興味関心が高まる工夫を行っていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
1N0100	プライマリーヘルスケア	西田 志穂	実践を踏まえた内容や動画の視聴による学習効果は高いと感じている。当事者の経験はリアルで伝わりやすい一方で、学生自身が当事者であったり家族が療養している学生もいることを踏まえておく必要もある。そのため講義での話題も慎重に検討しつつも、プライマリーヘルスケアの根底にある考え方を通して、客観性や多様性ということを学生が考えられるような授業内容を検討する必要性を改めて感じている。
1O0200	公衆衛生看護活動論	吉川 悦子	授業改善アンケートにご回答ありがとうございます。概ね高い評価を頂き、たくさんの課題があったにも関わらず、皆さんが真摯に授業に取り組んでくださって公衆衛生看護の興味・関心が高まったのだと思いました。自由記述にも実際の実践活動の際の体験談や授業自体を楽しんで参加してくださったとのコメントがあり、今後も実践的な内容構成を工夫していきたいと思います。一方で、授業プリントの明瞭さ、判別の難しい文字の大きさなどもコメントいただいたので改善していきたいと思います。
1O0400	疫学	川崎 洋平	貴重なコメントをありがとうございました。丁寧な説明、わかりにくい箇所は繰り返し説明をしてかみ砕いて説明をしていたという事で、今後も良い点を維持して、よりよい従業を目指していきたいと思います。

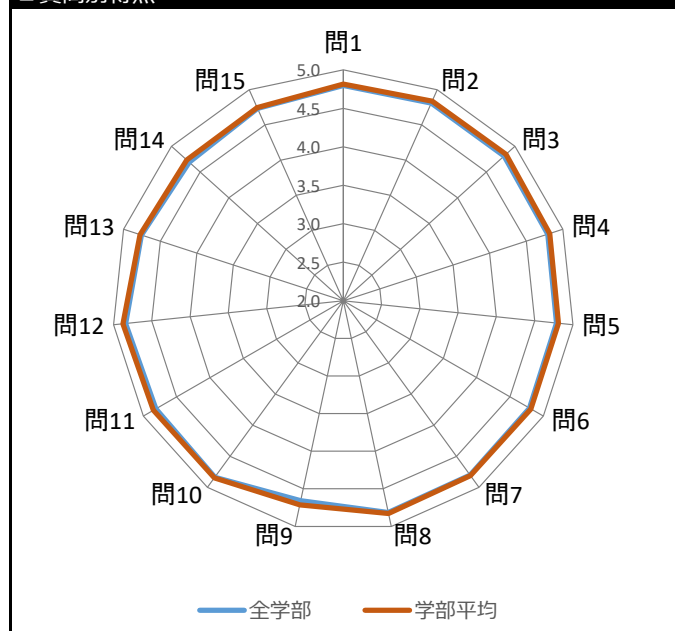
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1P0100	看護管理学Ⅰ	安部 陽子	学生さんの数が150名程度と多めなのですが、課題にはなるべくコメントをつけて返却しました。その点を評価していただきありがとうございます。事前課題・事後課題の内容・量については検討したいと思います。原則として、事前課題・事後課題は基礎的な内容、授業中の課題は発展的な思考を伴う内容にしたいと思って授業を計画しています。
1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木 幾美 西田 朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。事後学修のレポートでの質問に対して、次回の授業で説明していますが、よい評価をいただいた一方で、少し時間が長いという意見をいただきましたので、時間を考慮しつつ、今後も継続していきます。また、キャリアプランについてはよい評価をいただいたので、次年度も同様の内容で展開していく予定です。
1R0200	国際看護学Ⅱ	織方 愛	学生の皆さんが主体的に発表，議論，討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思います。また，相互評価を取り入れたことで，ただ聞いているだけよりも頭に入ったとのこと，良かったです。更に，様々な教員の海外活動をお話することで，イメージが膨らみ学びにつながったとのこと，ぜひ，将来国際活動にチャレンジしてみてください。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。織方 愛
1R0300	国際看護学演習	織方 愛	学生の皆さんが主体的に発表，議論，討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思います。また，ルワンダと同時双方向でオンライン演習を実施したことで，なかなか行けないような現地の方々をお会いできたこと，インタビューを通じて暮らしを伺うことができたことなどの感想を頂き，ルワンダ赤十字社の方々と調整をした効果があってよかったと思います。ぜひ，将来国際活動にチャレンジしてみてください。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。織方 愛
1R1101	災害看護学Ⅰ	内木 美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記載に、災害現場で看護実践した教員の話から、災害看護のイメージ作りや学びを深めるができたとのことご意見がありました。今後も、実際の活動を例に挙げながら、理解が深まるよう授業を構成したいと思います。また、法律の部分が難しかったとの意見がありましたので、わかりやすく伝えられるよう、検討していきます。ご意見をありがとうございました。
1R1102	災害看護学Ⅰ／災害看護論Ⅰ	内木 美恵	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記載には、災害看護を実践した教員の話から学びを深めておられこと、前回授業のフィードバックが振り返る機会になっていること等がありました。今後も、災害看護の理解が深まるよう授業を構成してきます。スライドの文字が見つらいとのこと指摘がありましたので、改善していきます。ご意見をありがとうございました。
1U0100	公衆衛生看護活動展開論	吉川 悦子	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございます。とても高い評価を頂き、皆さんの関心の高さ、真摯な取り組みがこのような評価に結び付いたのだと感じています。いただいたご意見を参考に、さらに実践的に、わかりやすい授業になるよう改善していきたいと考えます。
1U0300	公衆衛生看護方法論	吉川 悦子	授業改善アンケートに回答いただきありがとうございます。おおむね高い評価をいただき、限られた時間での健康教育企画・立案・実践・評価であっても、まずはプロセスを体験してみるという趣旨をご理解いただいての評価結果であったと考えます。一方で、時間が足りないとの自由記載のご意見もあり、よりよいものを作っていきたいという思いと、時間との制約とのバランスをとっていくことの難しさを改めて実感しました。いただいたご意見を参考に、授業の趣旨、到達点の丁寧な説明、授業のオリエンテーション内容等を改善していきたいと考えます。

学部名	看護学部	履修者数		回答率	
		紙	WEB	85%	85%
		633	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	519				89		4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	430		51		137		4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	434		50		136		4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	433		51		132		4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	537		66				4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	428		58		130		4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	542		69				4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	542		63				4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	497		97	24			4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	556		57				4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	551		60				4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	563		57				4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	531		69	21			4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	506		90	24			4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	396		80		130		4.75	4.73
問1～15全問平均								4.81	4.78

■質問別得点

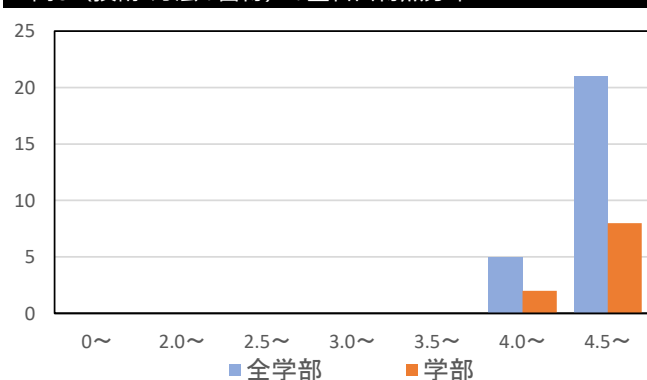


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

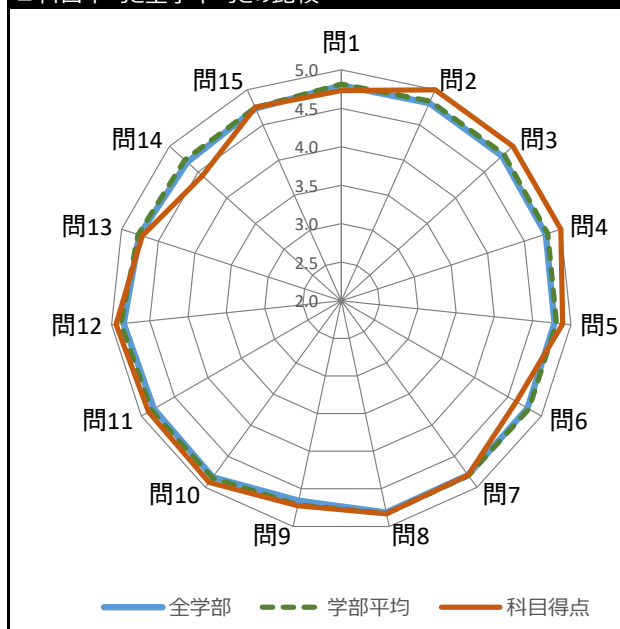


科目名	看護学概論Ⅱ		[110200]	履修者数	147	回答率	
教員名	吉田 みつ子			紙	138	93.9%	93.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	95	28	12				4.73	4.81	4.80
2	演習で使った物品・モデル等は適切だった。	135						5.00	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	135						5.00	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	6	131					5.00	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	115	14	9				4.89	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	6	129					4.63	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	112	21					4.80	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	117	17					4.83	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	110	18	7				4.72	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	128	7					4.92	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	121	11					4.89	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	128	8					4.94	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	108	21	5				4.72	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	90	24	14	6			4.43	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	129	5					4.75	4.75	4.73
問1～15全問平均								4.82	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

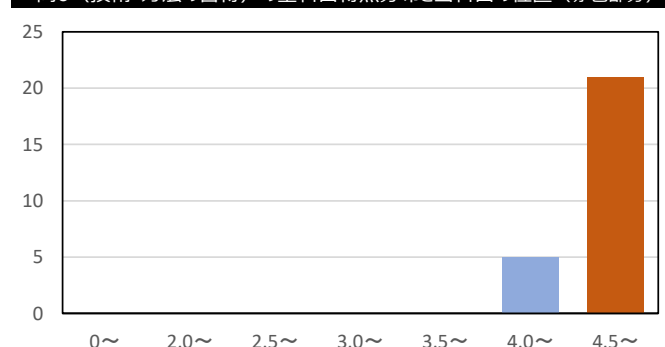


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

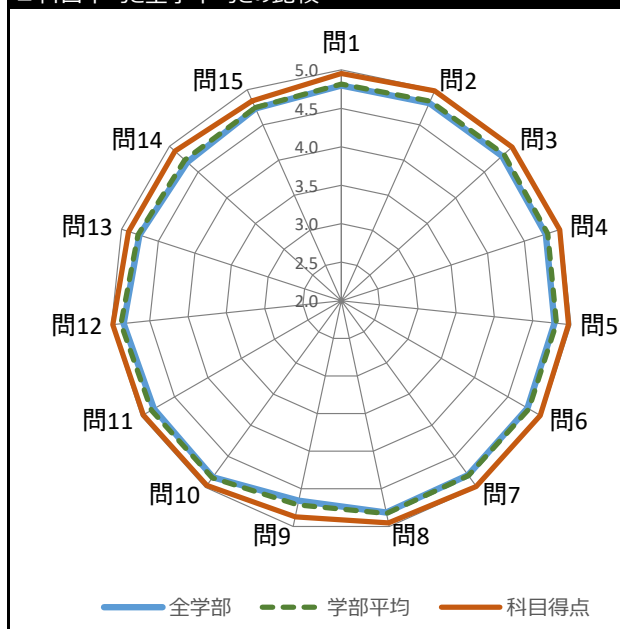
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護技術論Ⅱ①		[1J0201]	履修者数	74	回答率	
教員名	樋口 佳栄			紙	63	85.1%	85.1%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	60						3	4.95	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	62							4.98	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	62							4.98	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	62							4.98	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	61						2	4.97	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	62							4.98	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	62							4.98	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	61							4.95	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	56						6	4.87	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	61						2	4.97	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	61						2	4.97	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	62							4.98	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	59						22	4.90	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	57						6	4.90	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	54						8	4.84	4.75	4.73
問1～15全問平均									4.95	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

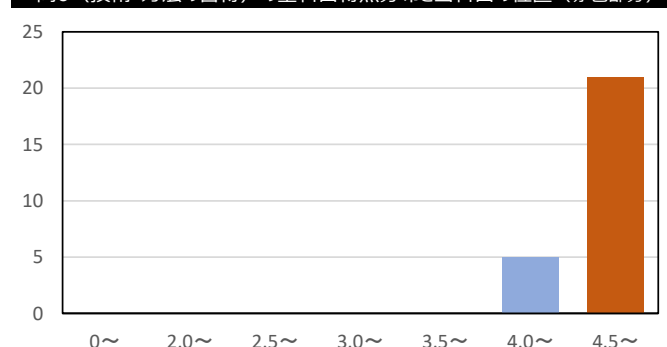


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

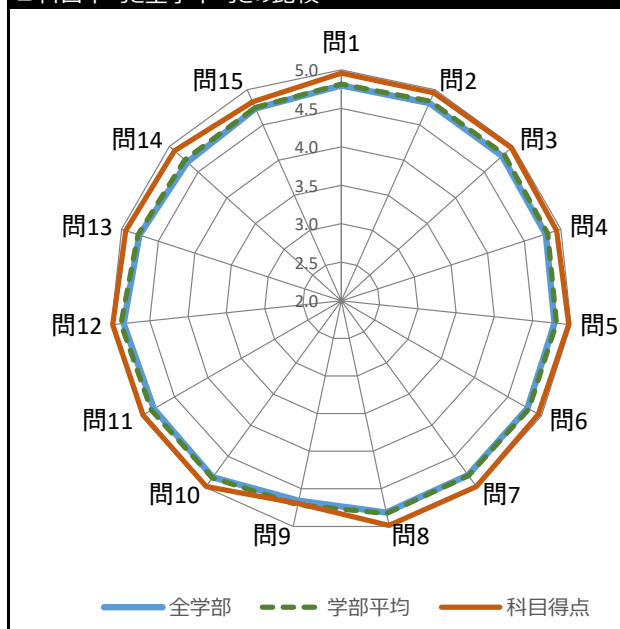
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護技術論Ⅱ①		[1J0202]	履修者数	72	回答率	
教員名	樋口 佳栄			紙	70	97.2%	97.2%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	67						3	4.96	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	67						3	4.96	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	68							4.97	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	66						4	4.94	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	68							4.97	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	67						3	4.96	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	69							4.99	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	69							4.99	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	55						10	4.70	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	69							4.99	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	68							4.97	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	69							4.99	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	66						4	4.94	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	66							4.91	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	59						10	4.83	4.75	4.73
問1～15全問平均									4.94	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

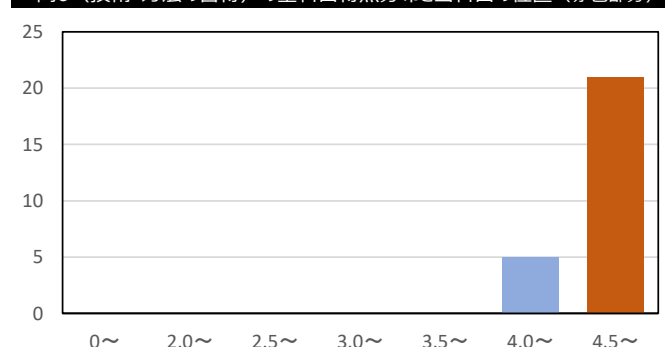


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

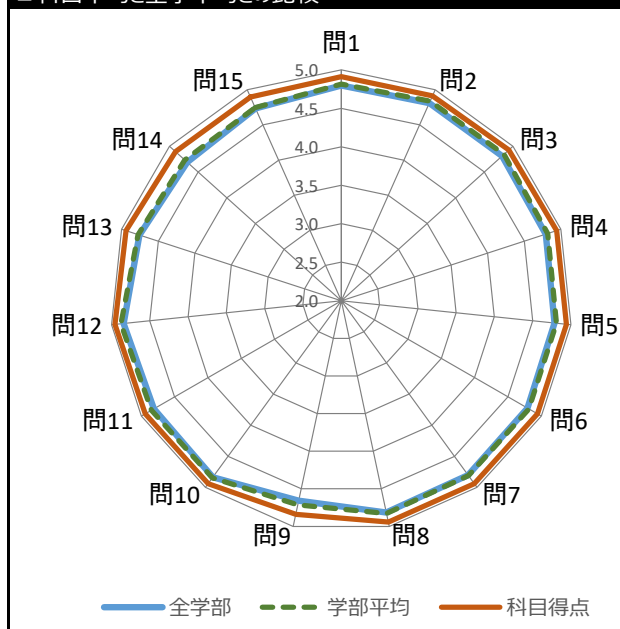
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名			看護技術論Ⅲ②		[1J0501]	履修者数		73	回答率	
教員名			細野 知子			回答数	紙	68	93.2%	93.2%
学部		看護学部	授業形態		演習		WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	62						6	4.91	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	63						4	4.91	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	63						5	4.93	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	64						4	4.94	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	64						4	4.94	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	64						4	4.94	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	64						4	4.94	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	64						4	4.94	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	58						9	4.84	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	64						4	4.94	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	64						4	4.94	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	65						3	4.96	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	64						4	4.94	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	62						5	4.90	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	61						7	4.90	4.75	4.73
問1～15全問平均									4.92	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

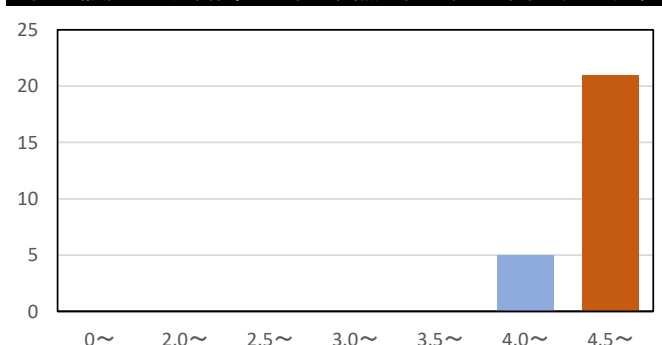


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

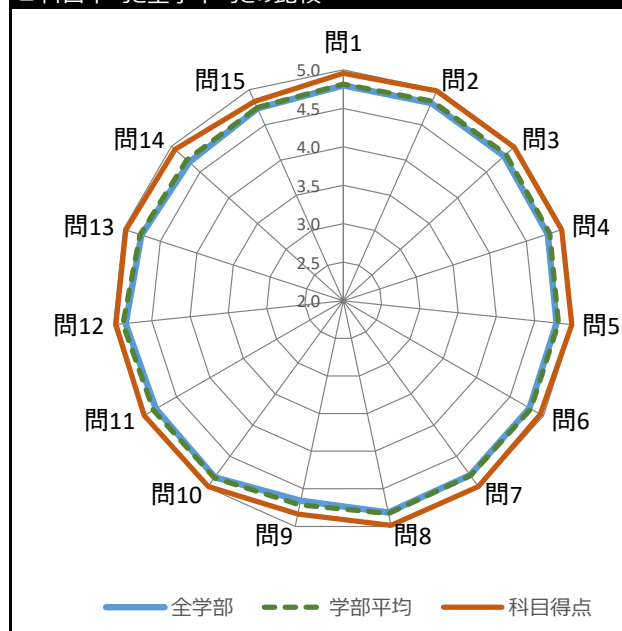
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護技術論Ⅲ②		[1J0502]	履修者数	72	回答率	
教員名	細野 知子			紙	67	93.1%	93.1%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	64						3	4.96	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	66							4.99	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	66							4.99	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	66							4.99	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	66							4.99	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	64						3	4.96	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	66							4.99	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	66							4.99	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	58						8	4.84	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	66							4.99	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	66							4.99	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	65							4.97	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	65							4.97	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	63						4	4.94	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	58						7	4.84	4.75	4.73
問1～15全問平均									4.96	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

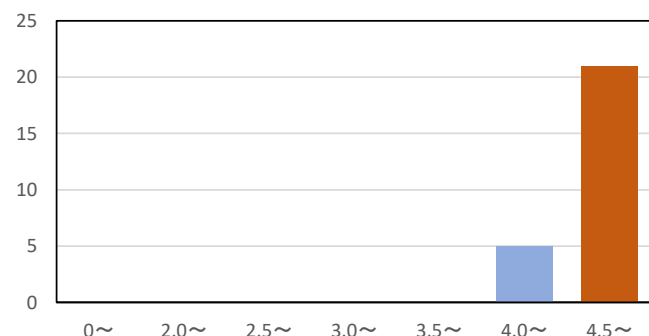


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

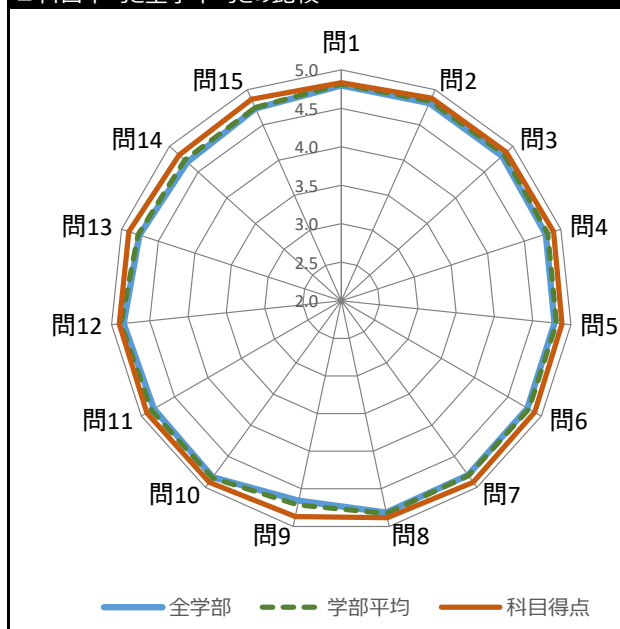
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習 I	[1N0501]	履修者数	69	回答率	
教員名	河田 照絵		紙	60	87.0%	87.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						10	4.83	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。						7	4.88	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						7	4.88	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						6	4.90	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						7	4.88	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						6	4.90	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						5	4.92	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						7	4.88	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。						8	4.87	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。						5	4.92	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						5	4.92	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						6	4.90	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						6	4.90	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						8	4.83	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						8	4.86	4.75	4.73
問1～15全問平均								4.89	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

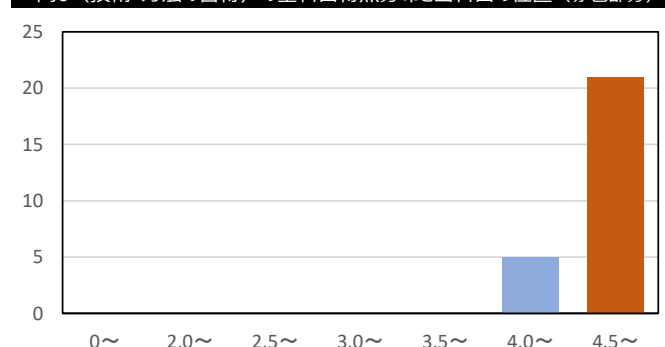


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

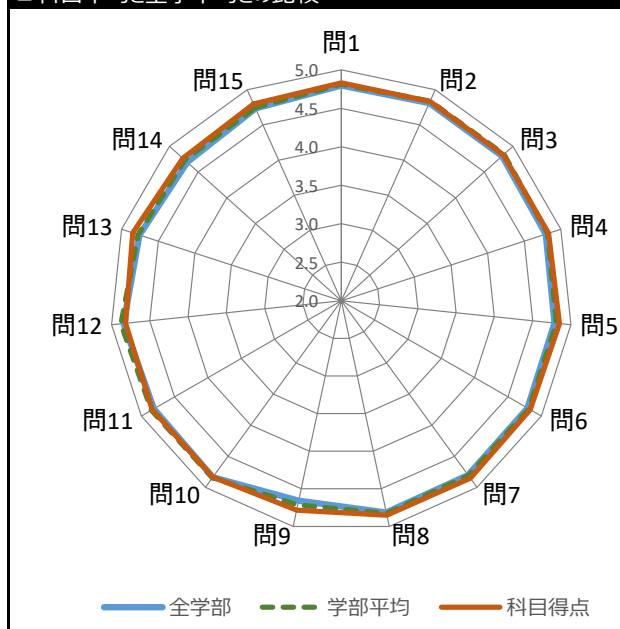
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習 I	[1N0502]	履修者数	68	回答率	
教員名	河田 照絵		紙	60	88.2%	88.2%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					49	10	4.83	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。					50	10	4.83	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。					50	10	4.83	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。					50	10	4.83	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。					51	9	4.85	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。					50	10	4.83	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。					51	9	4.85	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。					51	9	4.85	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。					47	13	4.78	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。					51	8	4.83	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。					51	8	4.83	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					50	9	4.82	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。					51	9	4.85	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。					48	10	4.77	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。					49	10	4.80	4.75	4.73
問1～15全問平均								4.83	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

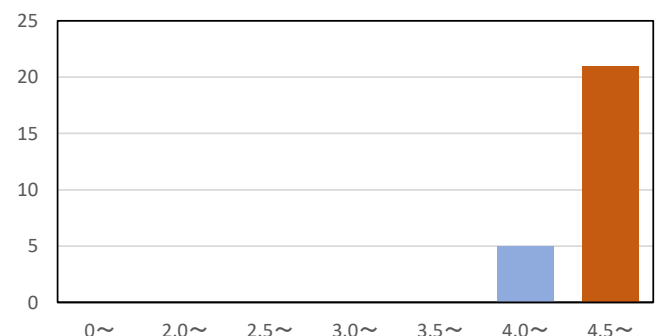


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

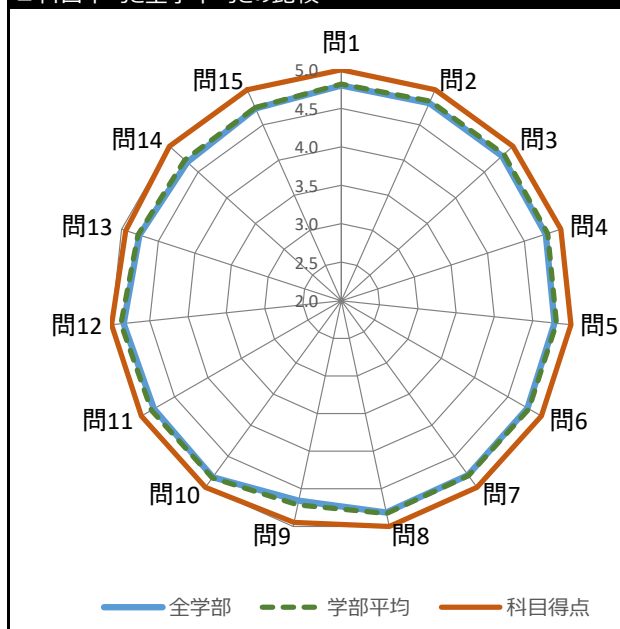
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	災害看護活動論Ⅱ		[1R0700]	履修者数	18	回答率	
教員名	橋爪 朋子			紙	18	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18						5.00	4.81	4.80	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	18						5.00	4.84	4.81	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	18						5.00	4.84	4.81	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	18						5.00	4.82	4.79	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	18						5.00	4.81	4.79	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	18						5.00	4.81	4.79	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	18						5.00	4.81	4.80	
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	18						5.00	4.83	4.81	
9	演習の時間配分は適切だった。	17						1	4.94	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	18						5.00	4.85	4.84	
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18						5.00	4.85	4.81	
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18						5.00	4.88	4.84	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	17						1	4.94	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	18						5.00	4.73	4.69	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	18						5.00	4.75	4.73	
問1～15全問平均								4.99	4.81	4.78	

■科目平均と全学平均との比較

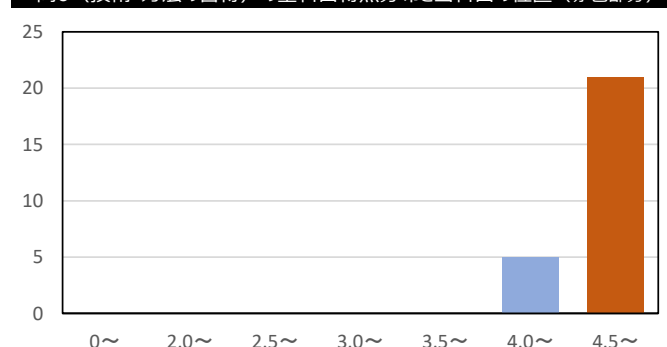


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

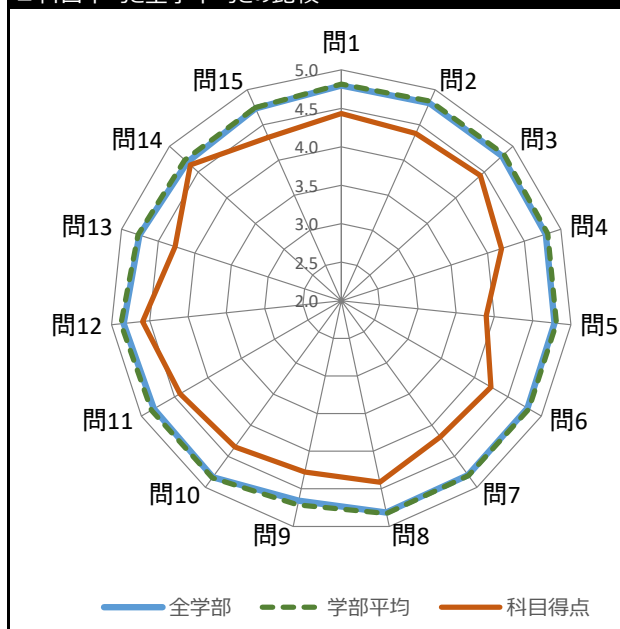


科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0201]	履修者数	72	回答率	
教員名	江本 リナ		紙	37	51.4%	51.4%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	23	9	3	2			4.43	4.81	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	20	12	4				4.38	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	23	9	4				4.43	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	21	7	5	3			4.19	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	15	11	5	4	2		3.89	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	18	12	5	2			4.24	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	20	10	3	2	2		4.19	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	19	10	5	3			4.41	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	19	11	4				4.28	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	19	12	6				4.35	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	9	3	2			4.42	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	9	3				4.59	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	22	6	7				4.27	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	24	11					4.64	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	20	11	5				4.32	4.75	4.73
問1～15全問平均								4.34	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

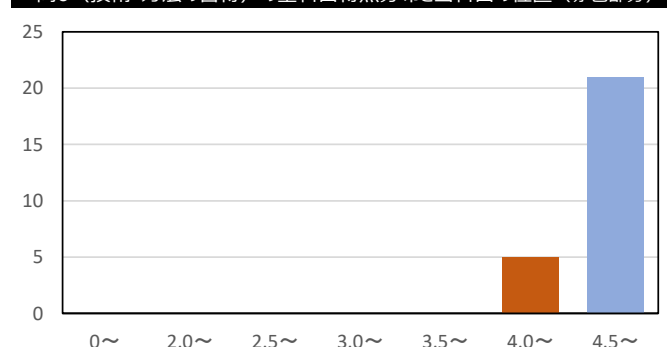


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

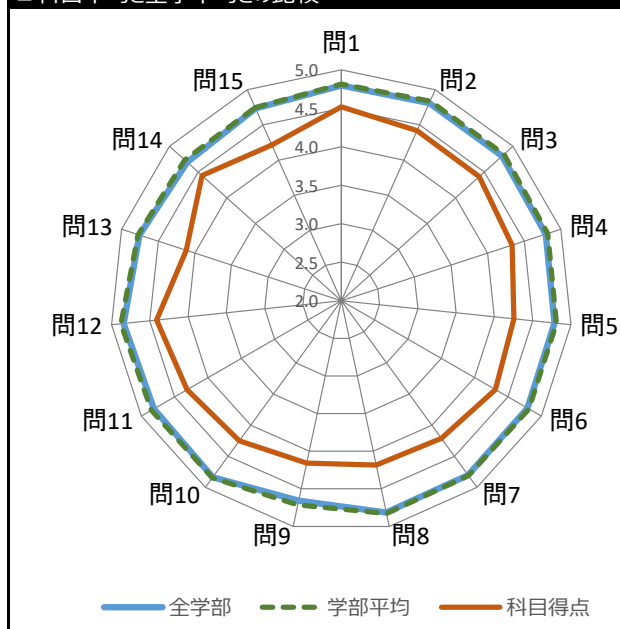
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0202]	履修者数	78	回答率	
教員名	江本 リナ		紙	52	66.7%	66.7%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	31	17	4				4.52	4.81	4.80
2	演習で使った物品・モデル等は適切だった。	29	13	8	2			4.42	4.84	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	29	15	6				4.41	4.84	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	26	18	5	2			4.33	4.82	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	26	16	6	2			4.25	4.81	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	25	18	7				4.31	4.81	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	25	17	6	4			4.21	4.81	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	24	13	9	3	3		4.18	4.83	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	25	13	9	4			4.16	4.71	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	25	17	8	2			4.25	4.85	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	18	7				4.31	4.85	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	27	18	6				4.41	4.88	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	25	14	7	3	2		4.12	4.77	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	27	20	3				4.43	4.73	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	23	18	8	2			4.22	4.75	4.73
問1～15全問平均								4.30	4.81	4.78

■科目平均と全学平均との比較

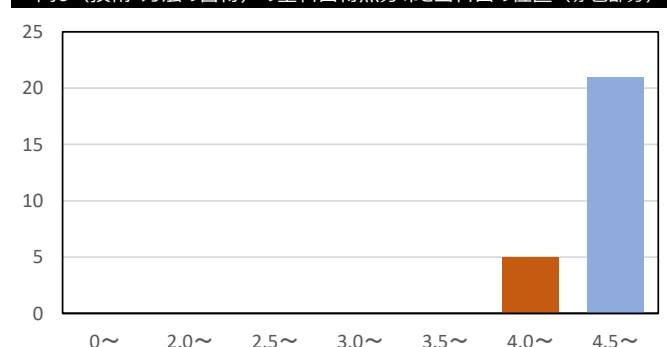


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1I0200	看護学概論Ⅱ	吉田 みつ子	みなさんの最終レポートや今回のアンケート結果から、みなさんが卒業前に看護学概論Ⅱの授業を通して、それぞれの「看護とは」について問う重要な機会となっていることを実感しました。私たち教員も、学生の皆さんの考え、意見、これからの看護を考える柔軟なまなざしにとっても刺激を受けました。ありがとうございました。
1J0201	看護技術論Ⅱ①	樋口 佳栄	みなさま、こんにちは。たくさんのコメントをお寄せくださり大変ありがとうございました。楽しく学んでくださったようで、私たちも大変励みになりました。これからは対話しやすい雰囲気的大事にしながら授業を検討してまいりたいと思いました。一方で「時間通りに終わってほしい」とのご意見もいただきました。「これもお話しておく、伝わりやすいかなあ…」とエピソードを追加したりしてしまうこともあり、予定よりも時間がかかってしまった結果かなあと反省しております。聴診や打診の異常音も聴いておきたいというご要望もありました。教科書にも載っている部分もありましたので、ご案内が不足している部分もあったかもしれません。また技術チェックの時間差による練習時間の不公平感につきましてご意見をお寄せくださいました。午前午後のスケジュールはなかなか変えられないところもありますが、可能な範囲で公平性が保てるよう検討してまいります。ご意見をもとにしながら教材の提示の仕方やタイムスケジュールをより意識した構成などを検討してまいります。アンケートにご協力をくださり大変ありがとうございました。
1J0202	看護技術論Ⅱ①	樋口 佳栄	みなさま、こんにちは。たくさんのコメントをお寄せくださり大変ありがとうございました。楽しく学んでくださったようで、私たちも大変励みになりました。これからは対話しやすい雰囲気的大事にしながら授業を検討してまいりたいと思いました。一方で「時間通りに終わってほしい」とのご意見もいただきました。「これもお話しておく、伝わりやすいかなあ…」とエピソードを追加したりしてしまうこともあり、予定よりも時間がかかってしまった結果かなあと反省しております。今後もタイムスケジュールをより意識しながら構成などを検討してまいります。アンケートにご協力をくださり大変ありがとうございました。
1J0501	看護技術論Ⅲ②	細野 知子	授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。多くの方が、この科目を楽しく、大いに学んでくださったことがわかり、科目責任者としてとても安心いたしました。この科目では、人間の生活において基本的な安心と安全を支える清潔保持の技術、消毒・滅菌という観点からの清潔保持の技術について主に学んでいただきました。病む人びとの生活の安全を守り、安心をもたらすうえで、非常に重要な技術です。本科目を通じて皆さんの看護技術の基盤をある程度は固めることができましたので、ぜひ実習で援助計画を立て、実施・評価してください。皆さんからいただいた主要な改善点としては、看護技術の実施時間が短かったこと、授業終了時間の延長でした。これについては、演習の構成を見直して時間内に終わるようにすると同時に、できるだけ多く援助の実施時間を確保したいと思います。また、部分浴の日には実施する援助が多くて大変だったというご意見もいただきました。できるだけ皆さんに多くの援助を実施してもらいたく、忙しい構成になってしまいましたことをお詫び申し上げます。今後、工夫を凝らしていきたいと思います。皆さんはグループワークを通じた学習がとても得意で、議論を通じた新たな気づきや振り返りを通じた技術の改善など、短期間で大いに成長されました。レベルⅠ実習前の総合演習はその集大成でしたね。この調子でこれからも学習を進めてください。応援しております。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1J0502	看護技術論Ⅲ②	細野 知子	授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。多くの方が、この科目を楽しく、大いに学んでくださったことがわかり、科目責任者としてとても安心いたしました。この科目では、人間の生活において基本的な安心と安全を支える清潔保持の技術、消毒・滅菌という観点からの清潔保持の技術について主に学んでいただきました。病む人びとの生活の安全を守り、安心をもたらすうえで、非常に重要な技術です。本科目を通じて皆さんの看護技術の基盤をある程度は固めることができたように思いますので、ぜひ実習で援助計画を立て、実施・評価してください。皆さんからいただいた主要な改善点としては、看護技術の実施時間が短かったこと、授業終了時間の延長でした。これについては、演習の構成を見直して時間内に終わるようにすると同時に、できるだけ多く援助の実施時間を確保したいと思います。また、部分浴の日には実施する援助が多くて大変だったというご意見もいただきました。できるだけ皆さんに多くの援助を実施してもらいたく、忙しい構成になってしまいましたことをお詫び申し上げます。今後、工夫を凝らしていきたいと思います。皆さんはグループワークを通じた学習がとても得意で、議論を通じた新たな気づきや振り返りを通じた技術の改善など、短期間で大いに成長されました。レベルⅠ実習前の総合演習はその集大成でしたね。この調子でこれからも学習を進めてください。応援しております。
1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田 照絵	授業改善アンケートへの回答をいただきありがとうございました。アンケート結果から、皆さんがこの科目に熱意をもって取り組まれていたことがわかりました。皆さんからいただきましたご意見をもとに引き続き、臨床の場での実践に近い形での演習が行えるよう工夫をしてまいります。
1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田 照絵	授業改善アンケートへの回答をいただきありがとうございました。アンケート結果から、皆さんがこの科目に熱意をもって取り組まれていたことがわかりました。皆さんからいただきましたご意見をもとに引き続き、臨床の場での実践に近い形での演習が行えるよう工夫をしてまいります。
1R0700	災害看護活動論Ⅱ	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、毎回のフィードバックが学びを深めることにつながったこと、避難所VRの演習がより具体的なイメージにつながり、実践的に学ぶことができて良かったなどが挙がっていました。改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにもっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてまいります。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。
1T0201	研究方法論Ⅱ	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。本授業は4年次の研究Ⅰ・Ⅱの基礎的学修となりますので、学びや教員からのフィードバックコメントを4年次に活かしてください。主にコメントいただいた点について回答します。・前期（研究方法論Ⅰ）に全ての行程を通した学びの内容、課題の進め方を説明し、後期（研究方法論Ⅱ）では前期との違いをお伝えしています。ただしレポート課題は書き始めてみないとイメージが湧かない部分もあると思いますので、自分の進度に合わせてオフィスアワーや授業後に質問してください。・オフィスアワーは教員数に対して学生数が多いので、学生1人に対する時間のかけ方を教員も学生もお互いに気かけながら進めるように工夫します。・学生同士の意見交換の機会が少なかったことは課題でした。オフィスアワーで他の学生の質問と一緒に聞ける場を設けるなど、学生の質問内容やアドバイスを共有できる工夫を検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。

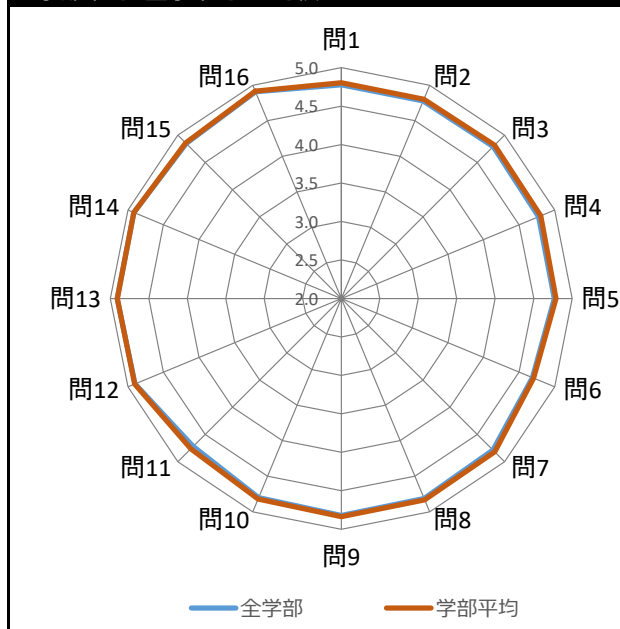
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1T0202	研究方法論Ⅱ	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。本授業は4年次の研究Ⅰ・Ⅱの基礎的学修となりますので、学びや教員からのフィードバックコメントを4年次に活かしてください。主にコメントいただいた点について回答します。 ・前期（研究方法論Ⅰ）に全ての行程を通した学びの内容、課題の進め方を説明し、後期（研究方法論Ⅱ）では前期との違いをお伝えしています。ただしレポート課題は書き始めてみないとイメージが湧かない部分もあると思いますので、自分の進度に合わせてオフィスアワーや授業後に質問してください。 ・オフィスアワーは教員数に対して学生数が多いので、学生1人に対する時間のかけ方を教員も学生もお互いに気かけながら進めるように工夫します。 ・学生同士の意見交換の機会が少なかったことは課題でした。オフィスアワーで他の学生の質問と一緒に聞ける場を設けるなど、学生の質問内容やアドバイスを共有できる工夫を検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。

学部名	看護学部	履修者数		回答率	
		紙	WEB	紙	WEB
		804	0	63%	0%
				63%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	669				113		4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	663				122		4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	675				109		4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	679				100		4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	682				88		4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	617				132	30	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	677				93		4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	679				90		4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	686				88		4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	683				85		4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	659				91	31	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	730				70		4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	741				54		4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	736				67		4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	702				90		4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	747				47		4.92	4.91
問1～16全問平均								4.83	4.81

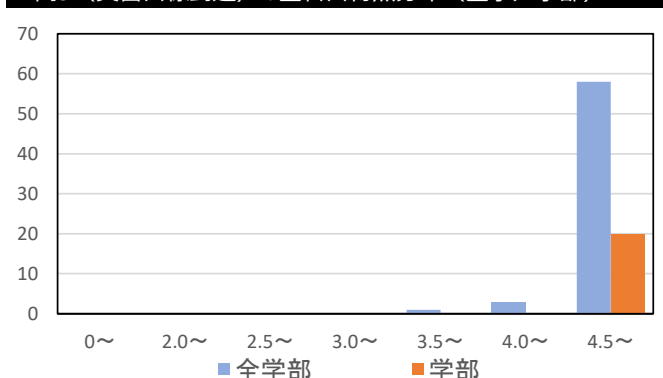
■学部平均と全学平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳＞
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布（全学／学部）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

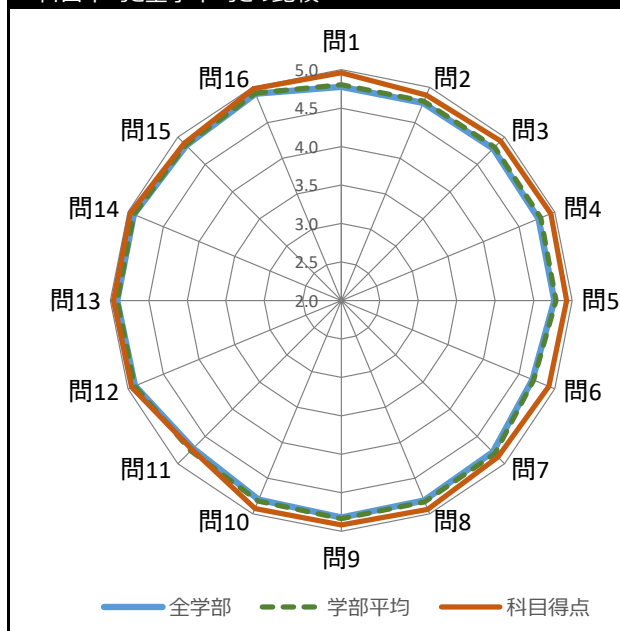
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護援助論実習[レベルⅠ]		[1S0100]	履修者数	144	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	97	67%	67%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
番号	内容									
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	934						4.96	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	8611						4.89	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	907						4.93	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	925						4.95	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	915						4.93	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	906						4.92	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	878						4.88	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	916						4.94	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	906						4.92	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	907						4.93	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	8277						4.74	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	933						4.95	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	934						4.96	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	943						4.97	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	888						4.89	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	95						4.98	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.92	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

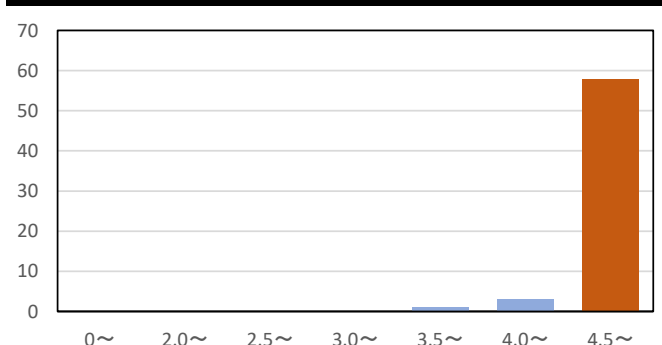


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

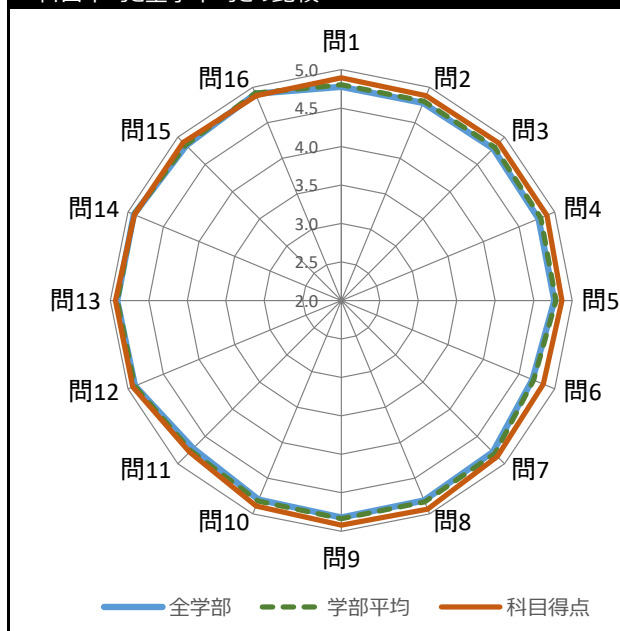


科目名	看護援助論実習[レベルⅡ]		[1S0200]	履修者数	139	回答率	
教員名	三浦 英恵			紙	75	54%	54%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	68						6	4.89	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	66						9	4.88	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	67						8	4.89	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	68						6	4.89	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	67						6	4.87	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	64						10	4.84	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	66						8	4.87	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	70						5	4.93	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	69						6	4.92	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	68						6	4.89	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	64						8	4.79	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	70						5	4.93	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	70						5	4.93	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	68						7	4.91	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	68						7	4.91	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	67						7	4.88	4.92	4.91
問1～16全問平均									4.89	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

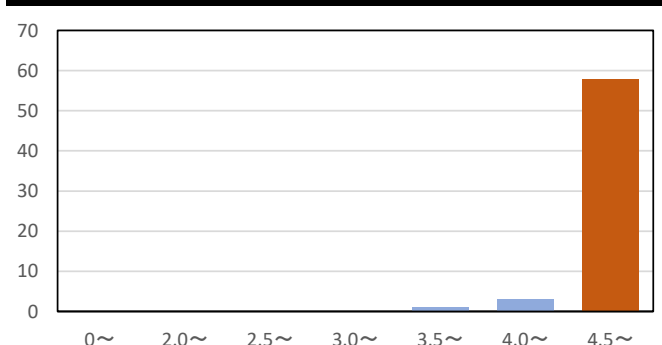


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	該当なし	
—	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

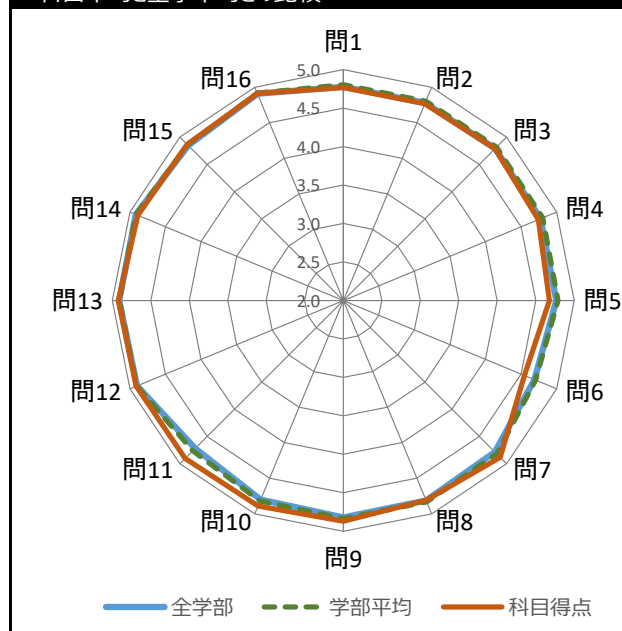


科目名	精神保健看護学実習[レベルⅢ]	[1S0300]	履修者数	143	回答率		
教員名	精神保健看護学領域		回答数	紙	90	63%	63%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	72				16		4.77	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	71				17		4.77	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	73				15		4.79	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	73				13	3	4.74	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	70				14	4	4.68	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	56			23	5		4.55	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	74				10	3	4.88	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	69				14	3	4.81	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	73				11	3	4.87	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	75				9	3	4.89	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	77				8	3	4.91	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	82				8		4.91	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	83				7		4.92	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	80				10		4.89	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	79				10		4.87	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	82				8		4.91	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.82	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

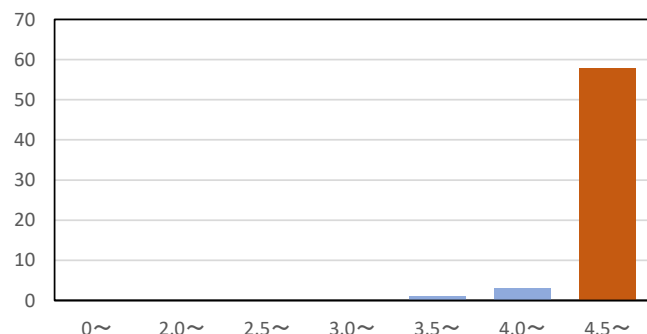


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

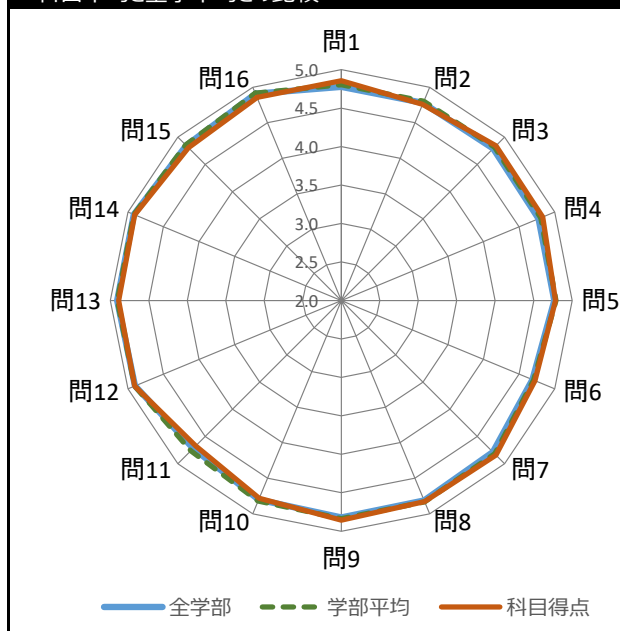
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	発達看護学Ⅰ実習[レベルⅢ]		[1S0400]	履修者数	144	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	83	58%	58%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	71				12		4.86	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	67			12	4		4.76	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	70			11			4.84	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	70			12			4.83	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	69			10	4		4.78	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	65			14	3		4.72	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	72			9			4.84	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	72			8	3		4.83	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	73			8			4.86	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	71			6	6		4.78	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	63			13	7		4.67	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	75			8			4.90	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	75			7			4.89	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	75			8			4.90	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	70			10	3		4.81	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	74			7			4.86	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.82	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

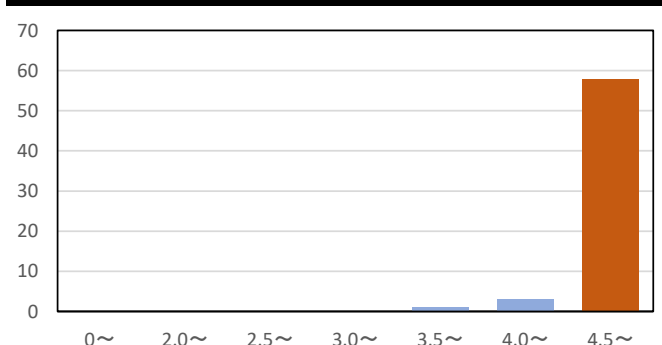


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

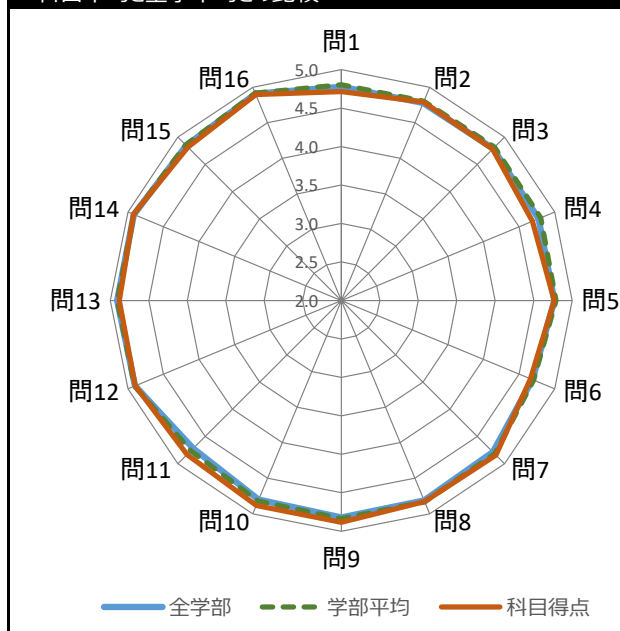


科目名	発達看護学Ⅱ実習[レベルⅢ]		[1S0500]	履修者数	142	回答率	
教員名	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太			紙	77	54%	54%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
番号	内容									
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5916						4.71	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	6412						4.79	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6312						4.78	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6013						4.69	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	677						4.77	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	59116						4.66	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	6610						4.84	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	6511						4.83	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	689						4.88	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	689						4.88	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	6511						4.83	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	698						4.90	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	697						4.88	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	716						4.92	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	6683						4.82	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	698						4.90	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.82	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

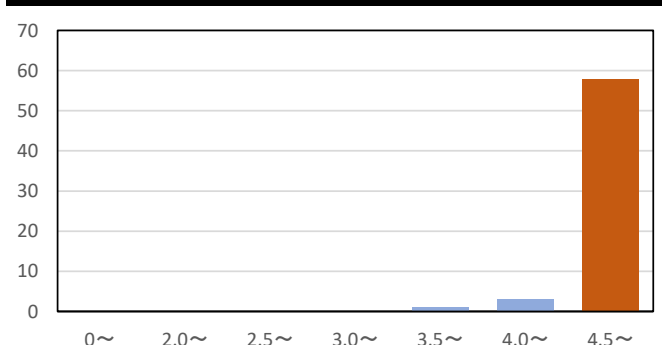


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	該当なし	
—	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

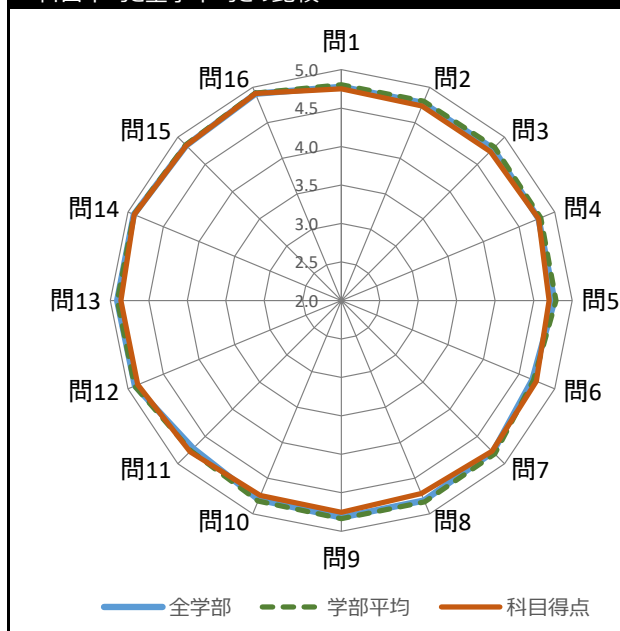


科目名	発達看護学Ⅲ実習[レベルⅢ]		[1S0600]	履修者数	143	回答率	
教員名	老年看護学			紙	80	56%	56%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	66				10		4.75	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	65				11		4.74	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	64				13		4.74	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	67				9	3	4.78	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	66				8	4	4.70	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	62				13		4.74	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	63				12	3	4.77	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	58				16	3	4.71	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	60				15	3	4.75	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	60				16		4.74	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	62				13		4.78	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	71				7		4.86	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	72				5	3	4.86	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	73				7		4.91	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	70				8		4.85	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	76				3		4.91	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.79	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

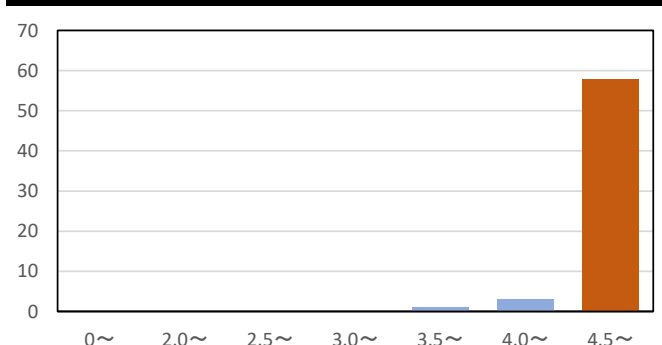


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

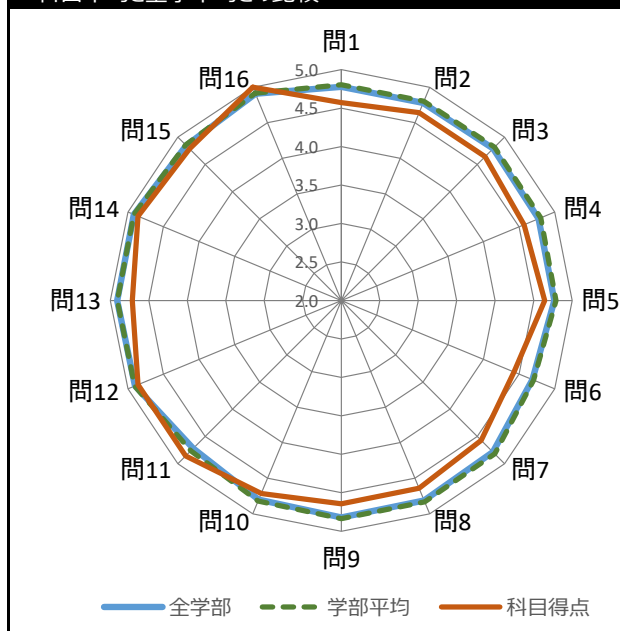
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-1(精神)	[1S0801]	履修者数	36	回答率		
教員名	精神保健看護学領域		回答数	紙	14	39%	39%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	9	4	1				4.57	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	10	3	1				4.64	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	2	1				4.64	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10	3	1				4.57	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	10	3	1				4.64	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	9	3	1	1			4.43	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10	3	1				4.57	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	11	2	1				4.64	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	2	1				4.64	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	11	2	1				4.71	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	12	2					4.86	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	12	2					4.86	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	12	2					4.71	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	12	2					4.86	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	11	3					4.79	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	14						5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.70	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

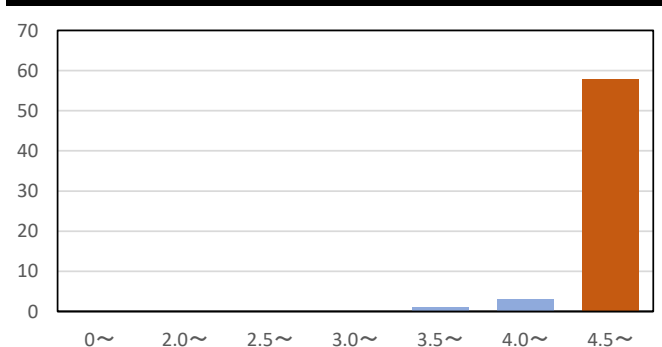


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

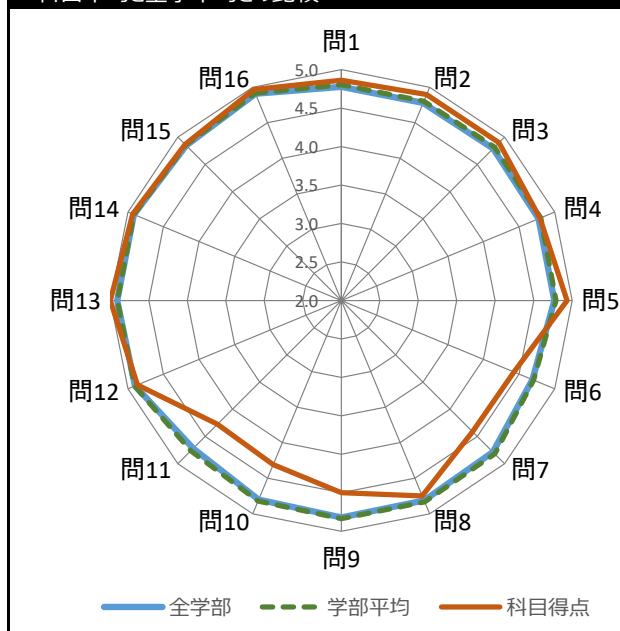
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-1(母性)	[1S0802]	履修者数	40	回答率		
教員名	新田 真弓		回答数	紙	30	75%	75%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	25				4	1	4.86	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	26				3	1	4.90	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	26				3	1	4.90	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	25				3	1	4.79	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	28					2	4.93	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	19		5	1	3	2	4.43	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	21		3	1	4	1	4.41	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	24		2	1	1	2	4.75	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	23		2	3	1	1	4.50	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	21		4		4	1	4.31	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	20		3	2	2	1	4.28	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	26				4		4.87	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	30						5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	28				2		4.93	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	26				4		4.87	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	29					1	4.97	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.73	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

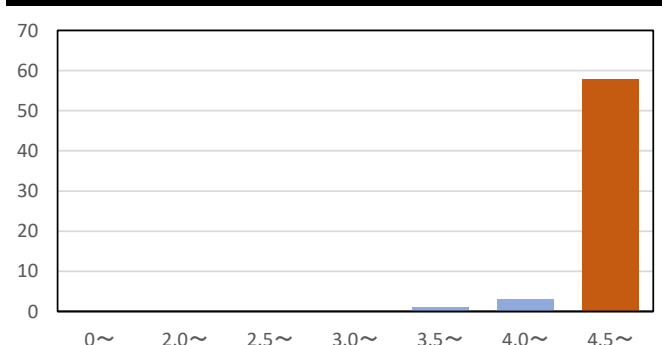


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

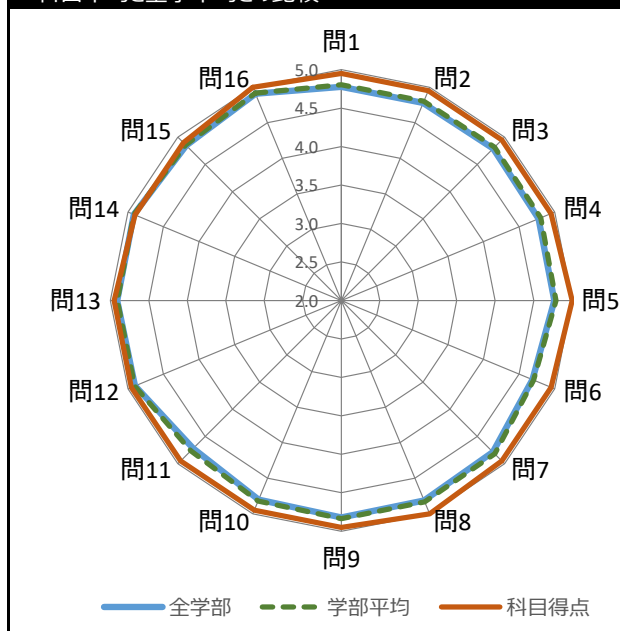
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-1(小児)	[1S0803]	履修者数	35	回答率		
教員名	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太		回答数	紙	20	57%	57%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19						1	4.95	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	19						1	4.95	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19						1	4.95	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	19						1	4.95	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	20							5.00	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	19						1	4.95	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19						1	4.95	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	20							5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19						1	4.95	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	19						1	4.95	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	19						1	4.95	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	19						1	4.95	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	19						1	4.95	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	18						2	4.90	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	18						2	4.90	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	20							5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均									4.95	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

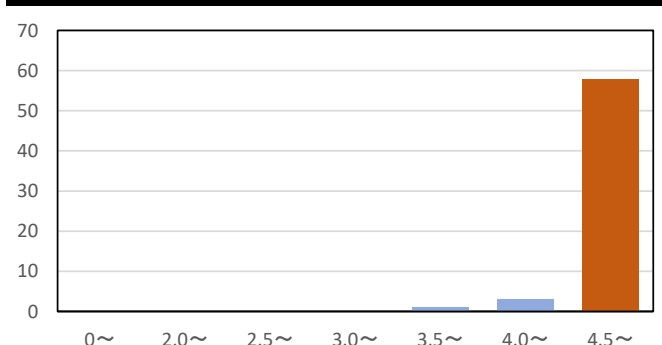


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

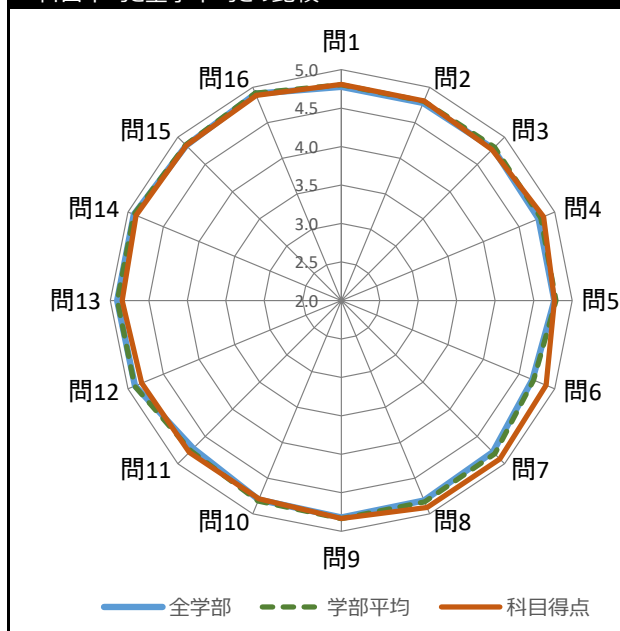
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-1(老年)	[1S0804]	履修者数	36	回答率		
教員名	老年看護学		回答数	紙	26	72%	72%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	22	3	1				4.81	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	22	3	1				4.81	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21	4	1				4.77	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	22	4					4.85	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	21	4	1				4.77	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	22	3	1				4.88	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	21	2	3				4.91	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	21	2	3				4.91	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	21	2	1	2			4.83	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20	3	1	2			4.79	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	20	3	1	2			4.79	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	22	3	1				4.81	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	23	2	1				4.85	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	23	3					4.88	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	22	4					4.85	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	23	3					4.88	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.84	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

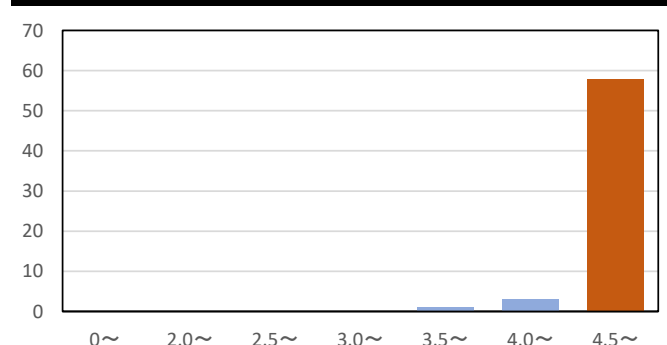


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

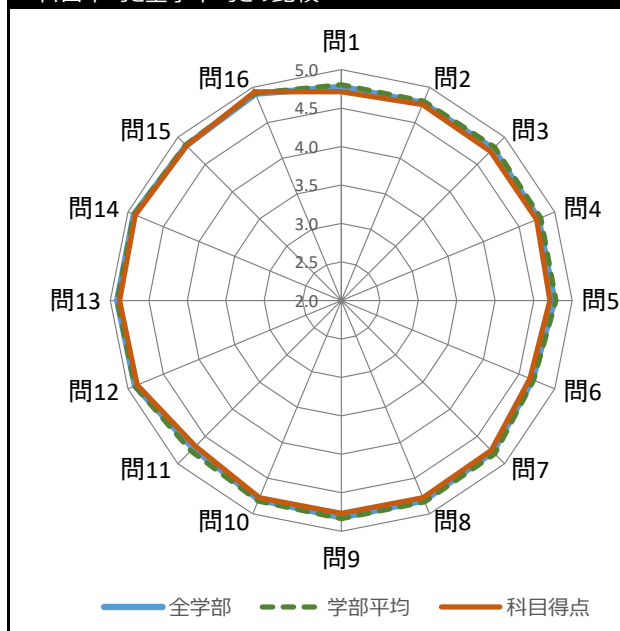


科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-2	[1S0900]	履修者数	136	回答率		
教員名	地域看護学		紙	108	79%	79%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	81	21	5				4.71	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	84	20					4.76	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	85	17	4				4.74	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	84	20					4.75	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	83	18	5				4.71	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	79	21	5				4.65	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	89	13					4.76	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	89	12	4				4.77	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	87	17					4.77	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	87	16					4.77	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	84	13	7				4.68	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	94	14					4.87	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	97	10					4.88	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	96	11					4.90	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	91	15					4.84	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	101	5					4.93	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.78	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

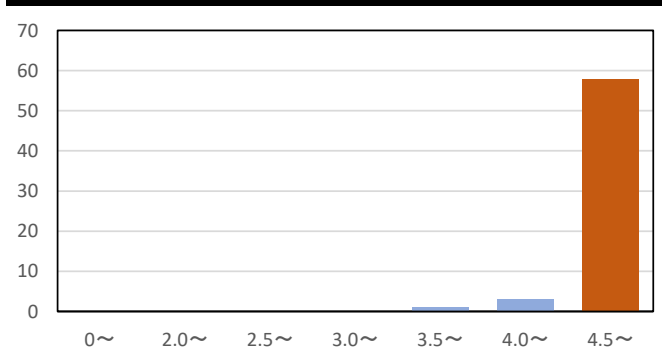


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



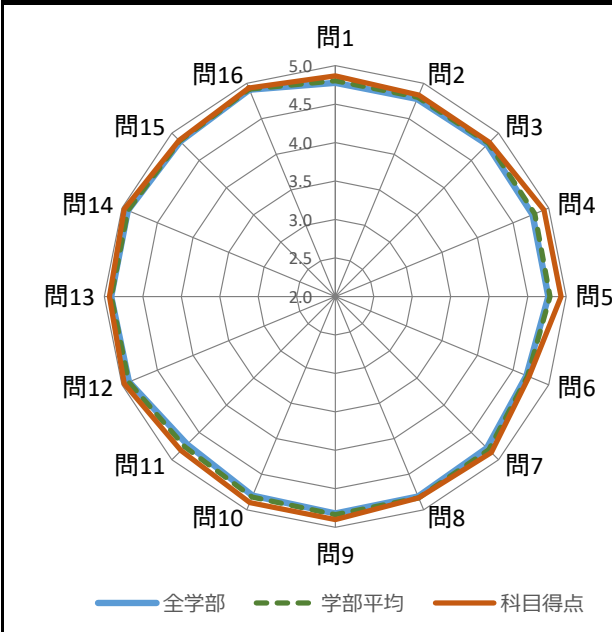
授業改善アンケート【実習】科目別集計

科目名	看護学総合実習（基礎・成人）【急性期・慢性期】日赤医療センター／大森／みなと・武蔵野 [1S1001]			履修者数	48	回答率	
教員名	河田・西田・守谷・田代（幸）・本庄・佐々木・桑原・佐藤・安部・細野・吉田（里）・川原・樋口・山中・吉良・鬼頭・三浦			紙	30	63%	63%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。									

■科目平均と全学平均との比較

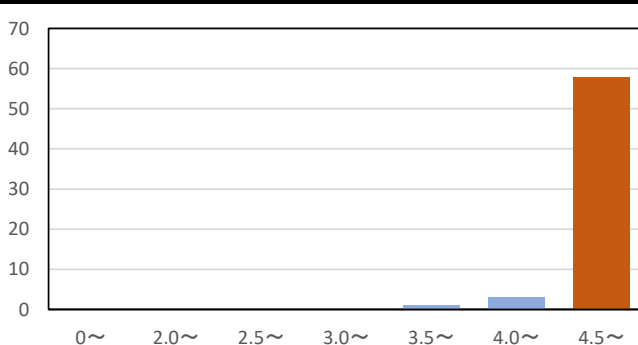


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
—	該当なし	
—	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

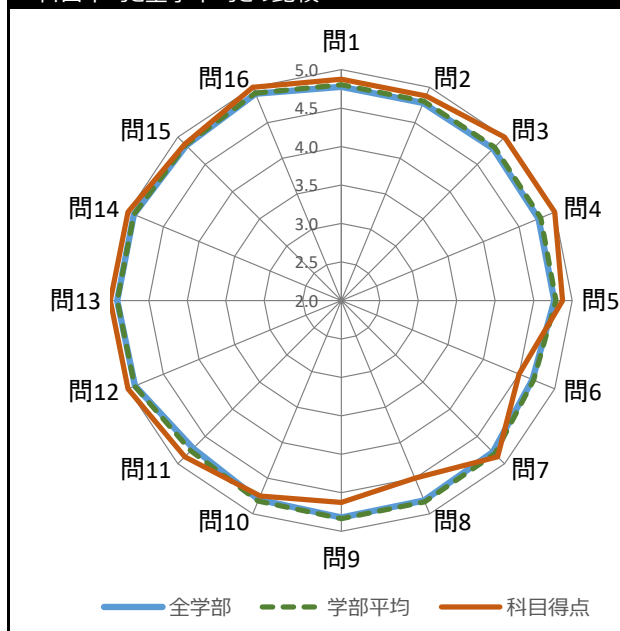
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(精神保健)		[1S1002]	履修者数	13	回答率	
教員名	精神保健看護学			回答数	紙	8	62%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
						62%	

■質問別回答内訳と得点

質問別回答内容と得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						1	4.88	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	7						1	4.88	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8							5.00	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8							5.00	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	7						1	4.88	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	5				2		1	4.50	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						1	4.88	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	6						2	4.50	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6				1		1	4.63	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7						1	4.75	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	7						1	4.88	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	8							5.00	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	8							5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	8							5.00	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7						1	4.88	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	8							5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.85	4.83	4.81	

■科目平均と全学平均との比較

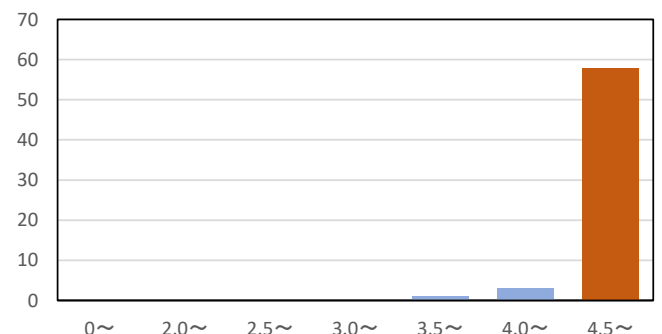


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



授業改善アンケート【実習】科目別集計

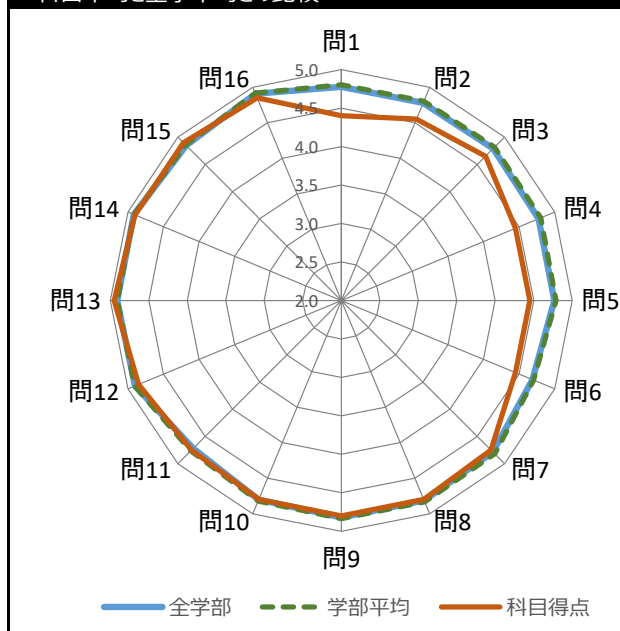
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(母性) [母子] / 看護学総合実習(母性) [ハイリスク] [1S1003]			履修者数	24	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	20	83%	83%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	12	4	4				4.40	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	11	9					4.55	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	13	7					4.65	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	13	4	2	1			4.45	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	13	5	1	1			4.45	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	12	6	1	1			4.45	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	15	5					4.75	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	16	4					4.80	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	17	2	1				4.80	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	17	2	1				4.80	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	17	2	1				4.75	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	17	3					4.85	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	19	1					4.95	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	18	2					4.90	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	18	2					4.90	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	18	1	1				4.85	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.71	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

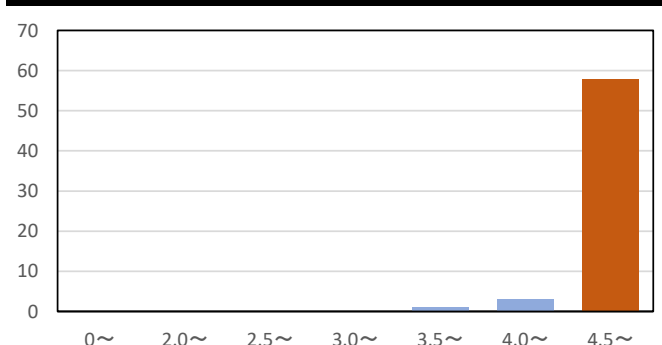


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



授業改善アンケート【実習】科目別集計

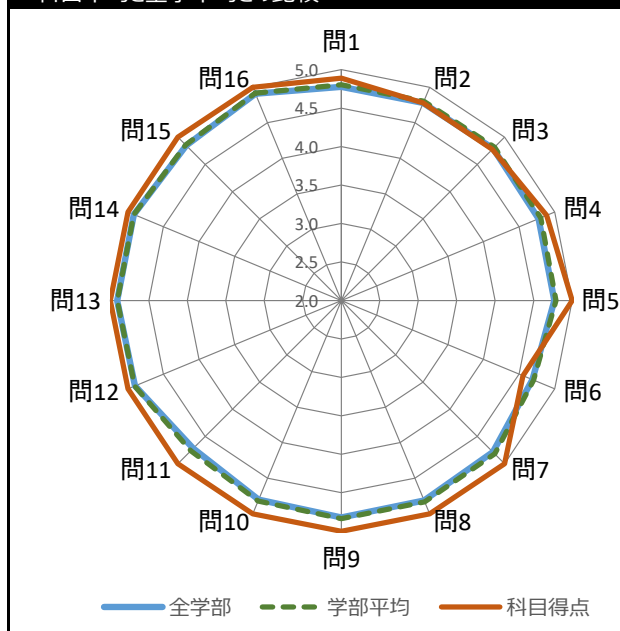
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(小児)		[1S1004]	履修者数	16	回答率	
教員名	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太			紙	9	56%	56%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
番号	内容									
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8					1	4.89	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	8					1	4.78	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8					1	4.78	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8					1	4.89	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	9						5.00	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6			2		1	4.56	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	9						5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	9						5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	9						5.00	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	9						5.00	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	9						5.00	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	9						5.00	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	9						5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	9						5.00	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	9						5.00	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	9						5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.93	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

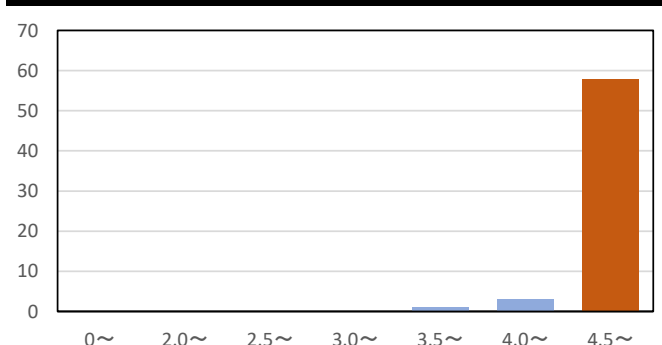


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

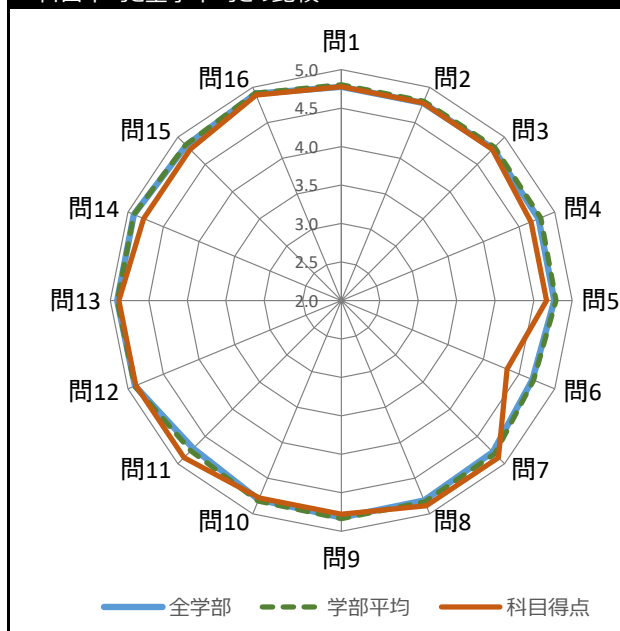


科目名	看護学総合実習(老年)		[1S1005]	履修者数	16	回答率	
教員名	老年看護学			紙	9	56%	56%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7					2	4.78	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	7					2	4.78	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	7					2	4.78	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7				1	1	4.67	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	7				1	1	4.67	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	5		3			1	4.33	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8					1	4.89	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	8					1	4.89	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	7					2	4.78	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7					2	4.78	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	8					1	4.89	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	8					1	4.89	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	8					1	4.89	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	7					2	4.78	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7					2	4.78	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	8					1	4.89	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.78	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

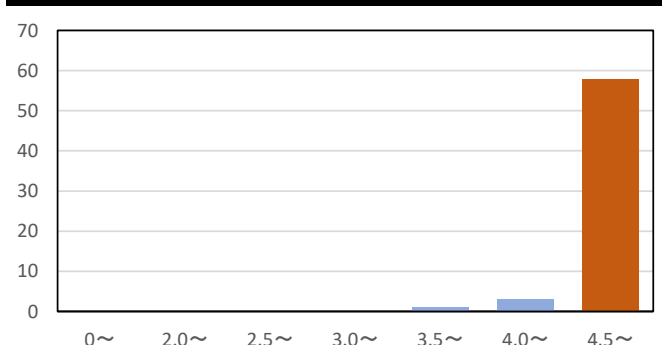


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

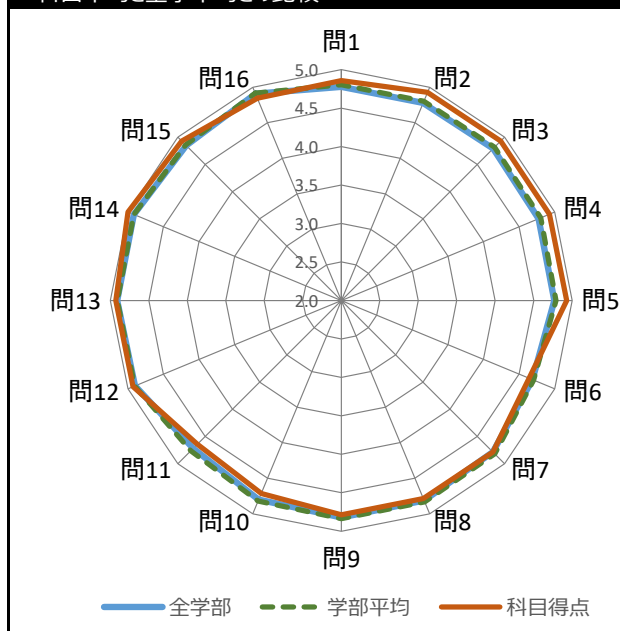


科目名	看護学総合実習(地域)		[1S1006]	履修者数	16	回答率	
教員名	地域看護学			紙	14	88%	88%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

質問項目ごとの得点		0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
番号	内容										
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	12						2	4.86	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	13						1	4.93	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	13						1	4.93	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	13						1	4.93	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	13						1	4.93	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	10				3	1	4.64	4.70	4.69	
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	12						1 1	4.79	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	12						1 1	4.79	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	12						1 1	4.79	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	12						2	4.71	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	11				1	2	4.64	4.76	4.72	
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	13						1	4.93	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	13						1	4.93	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	14							5.00	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	13						1	4.93	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	12				1	1	4.85	4.92	4.91	
問1～16全問平均								4.85	4.83	4.81	

■科目平均と全学平均との比較

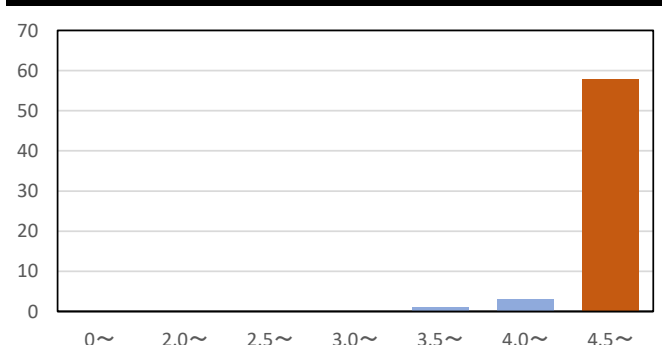


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



授業改善アンケート【実習】科目別集計

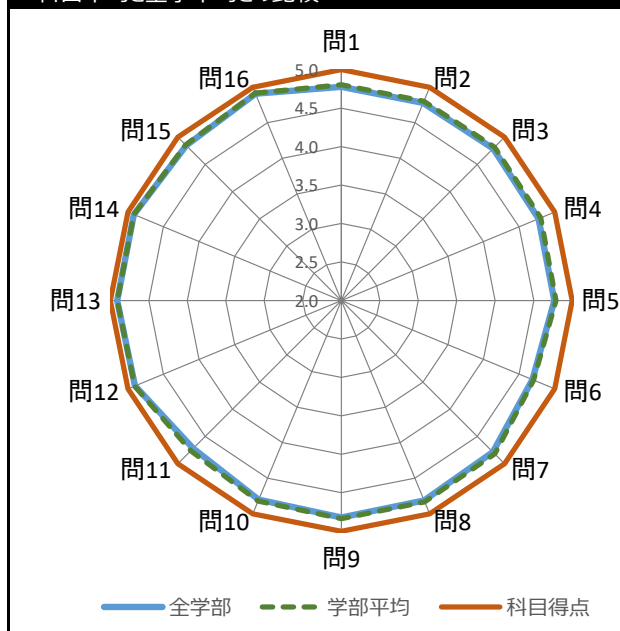
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(国際・災害) [国際]		[1S1007]	履修者数	3	回答率	
教員名	織方 愛			紙	3	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。				3			5.00	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。				3			5.00	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。				3			5.00	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。				3			5.00	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。				3			5.00	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。				3			5.00	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。				3			5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。				3			5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。				3			5.00	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。				3			5.00	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。				3			5.00	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。				3			5.00	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。				3			5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。				3			5.00	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。				3			5.00	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。				3			5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均								5.00	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

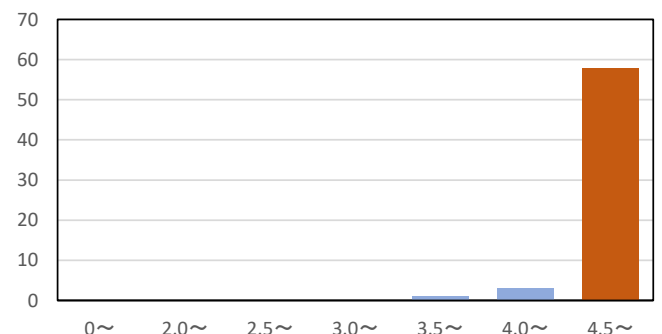


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



授業改善アンケート【実習】科目別集計

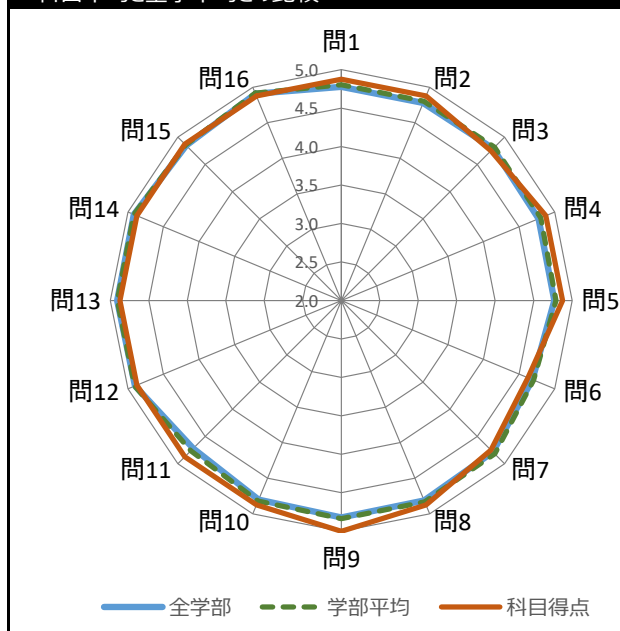
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(基礎・成人) [緩和]		[1S1010]	履修者数	8	回答率	
教員名	田中・遠山・吉田(み)			紙	8	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						7	4.88	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。						7	4.88	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						7	4.75	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						7	4.88	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。						7	4.88	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。						7	4.63	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						6	4.75	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。						7	4.88	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						8	5.00	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						7	4.88	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。						7	4.88	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。						7	4.88	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。						7	4.88	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。						7	4.88	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。						7	4.88	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。						7	4.88	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.85	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

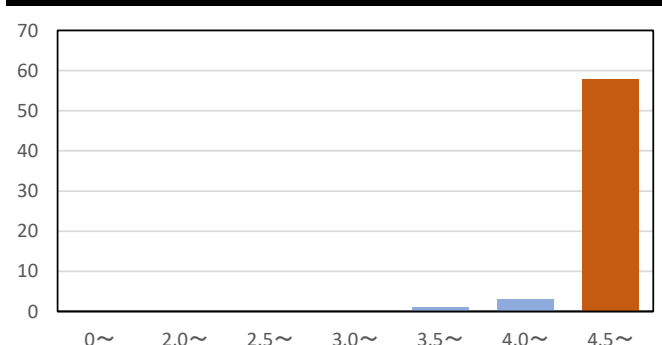


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



授業改善アンケート【実習】科目別集計

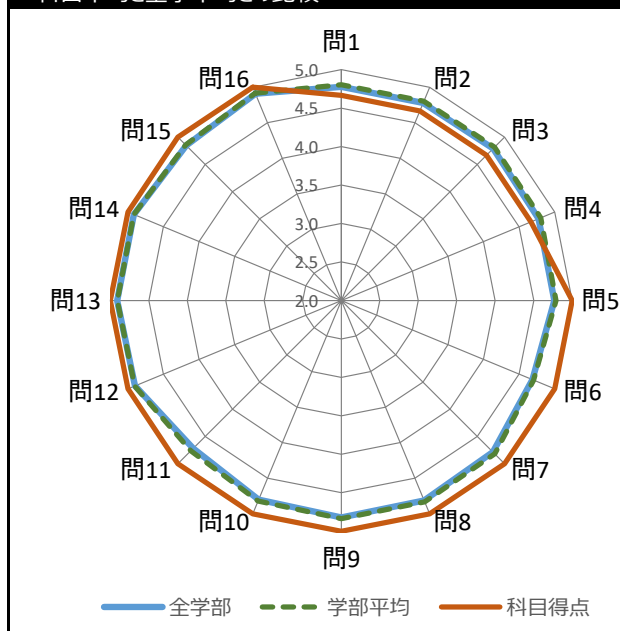
日本赤十字看護大学
2022年度後期

科目名	看護学総合実習(国際・災害) [救急(災害)]		[1S1011]	履修者数	3	回答率	
教員名	橋爪 朋子			回答数	紙 3	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB 0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	2				1		4.67	4.80	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	2				1		4.67	4.80	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	2				1		4.67	4.82	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	2				1		4.67	4.81	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	3						5.00	4.79	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	3						5.00	4.70	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3						5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	3						5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3						5.00	4.84	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	3						5.00	4.82	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	3						5.00	4.76	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	3						5.00	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	3						5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	3						5.00	4.92	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	3						5.00	4.86	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	3						5.00	4.92	4.91
問1～16全問平均								4.92	4.83	4.81

■科目平均と全学平均との比較

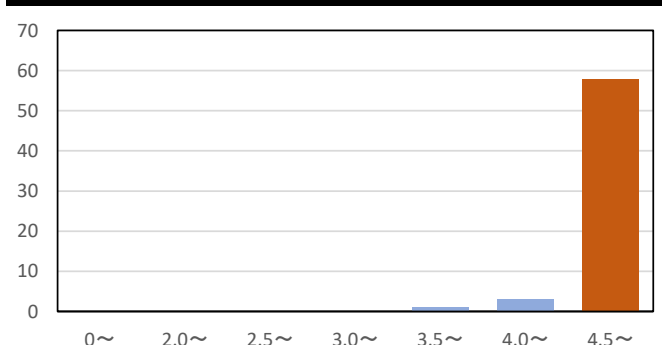


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全学平均

■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0100	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	川原 由佳里	病棟実習は不安があったようですが、臨床指導者、教員からは親身に一緒に考えてくれた、患者も優しく接してくれたとの感想でした。病棟でしかできない貴重な体験ができ、よかったと思います。
1S0200	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	三浦 英恵	実習改善アンケートへのご協力をありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、臨地実習とVR実習を組み合わせた実習となりました。臨地での実習は、短い期間でしたが、体調管理に努め、積極的に実習に臨んでくださったことや多くの学びを得たことがわかりました。特に、教員、実習指導者からの具体的なアドバイスや助言、相談しやすい雰囲気、沢山のことに気づくこと、考えること、学ぶことができる環境だったなど、とても良い評価を頂きました。これからも、学生の皆様のひとりひとりの状況に合わせた指導や支援ができるように、継続していきたいと思っています。
1S0300	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	精神保健看護学領域	アンケートへの回答をありがとうございました。コロナ禍の実習で、精神科病棟での実習が可能だった学生、やむなく学内実習であった学生と学びの体験が様々となったことについては教員、病院の指導者一同、学生の皆さん同様に無念でした。学内実習プログラムについては皆さんの意見を参考にして、ロールプレイの実施方法について見直しをしていきたいと思っています。また、臨地での実習は学生にとってストレスフルな環境であるということに配慮した声かけ、指導を教員は心がけることが必要だということをあらためて確認いたしました。ご意見、今後に反映させていただきま
1S0400	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。充実した実習体験となったようで大変うれしく思いました。一方で、もっと対象者や臨床指導者と関わりたかったというご意見もありましたので、次年度に向けては臨床実習期間を延ばせるように調整をしたいと思います。今年度はCOVID19の影響により、病棟に1度に入れる人数が制限されていることもあり、臨地実習と学内実習とを組み合わせでの実習スケジュールでした。そのため、前半と後半で学びの進め方に違いが生じています。そのための対策として、ケース発表の時期などを調整しました。また、Ⅳ－1実習を予定している学生さんについては、違う施設での実習となりますので、2週目に学内実習として感染対策を行いました。今後に向けて、臨地実習期間の延長ともにスケジュールの検討も行っていきたいと思っています。
1S0500	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太	良い評価をいただきありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実習時期に応じてやむを得ず実習プログラムを変更する事態が生じました。このような状況においてもアンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。主にコメントいただいた点について回答します。・実習記録のパソコン記入について、個人情報厳守の視点も踏まえて検討します。・特に小児地域実習中の指導体制の充実に向けて、実習施設の指導者と連携をとりながら改善を図ります。・ケース発表やカンファレンスがより充実したものとなるよう、事前準備や開催所要時間について工夫します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S0600	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕	老年看護学	皆様からの評価と貴重なご意見、ありがとうございました。少ない臨地実習日にもかかわらず、多くの学びを得て目標を達成されたことに安心致しました。今後も皆様からご意見を反映して、さらに工夫を重ねていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
1S0801	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-1（精神）	精神保健看護学領域	アンケートへの回答ありがとうございました。自由記述は特になったのですが、手ごたえのある実習となっていたことがうかがえました。今後もそのような実習となるように教員一同、心がけていきます。
1S0802	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-1（母性）	新田 真弓	ご意見ありがとうございました。充実した実習体験であった一方で、皆さんにとって初めての施設や部署での実習であったこと、教員が常に同行しない実習であることなどから、これまでとは違う実習形式となっています。大学と実習施設とは連携して実習を進めていますが、実習施設の特性上、当日までどのような業務が発生するかわからないこともあり、学生さんにとっては戸惑うこともあったかと思います。今後はより、オリエンテーションなどを充実させて、学生の皆さんにとってもわかりやすいように工夫をしていきたいと思っています。

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0803	地域・在宅看護学実習 [レベルⅣ]-1（小児）	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S0804	地域・在宅看護学実習 [レベルⅣ]-1（老年）	老年看護学	皆様からの評価や貴重なご意見、ありがとうございます。短い臨地での実習でしたが、多くの学びを得られたようで安心致しました。今後も皆様からのご意見を踏まえて実習の内容を考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。
1S1001	看護学総合実習（基礎・成人） 〔急性期・慢性期〕日赤医療センター/大森/みなと・武蔵野	河田・西田・守谷・田代（幸）・本庄・佐々木/桑原・佐藤・安部/細野・吉田（里）・川原・樋口・山中・吉良・鬼頭・三浦	アンケート結果からは、多くの学生さんにとっては、学びの多い実習であったことが伝わりました。実習時間、物品、記録用紙等に関する建設的なご意見をいただきありがとうございます。2023年度に向けて検討させていただきます。
1S1002	看護学総合実習（精神保健）	精神保健看護学	学びの集大成となる総合実習において、充実した学びがあったことを嬉しく思います。今後もそのようになるような支援を心がけていきます。
1S1003	看護学総合実習（母性） 〔母子〕／看護学総合実習（母性） 〔ハイリスク〕	新田 真弓	ご意見ありがとうございます。充実した実習体験となったようで大変うれしく思いました。今年度より、臨床実習や学内実習に加えNCPRの資格取得も加わりましたが、皆さんが意欲的に参加されていることが印象的でした。卒業前の最後の実習として、皆さんにとって意味のある実習となったと思っております。次年度以降はより臨床実習期間を確保できるように調整を検討していきます。
1S1004	看護学総合実習（小児）	江本リナ・山内朋子・柴田純子・田代祐子・鈴木健太	良い評価をいただきありがとうございます。今年度は皆さんが感染予防行動を徹底してくださったこともあり、コロナ禍前と同程度の臨地実習を展開することができました。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S1005	看護学総合実習（老年）	老年看護学	皆様からの高い評価と貴重なご意見、ありがとうございます。臨地で多くの学びを得る機会になったことと推察致します。今後も皆様からのご意見を反映していくよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。
1S1007	看護学総合実習（国際・災害） 〔国際〕	織方 愛	学生の皆さんが臨地実習で主体的に発表，議論，討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思ひます。また，日本で国際活動をする看護師，事務職の方々の経験や業務内容，看護について理解できた様子でしたので，各施設と調整をした効果があってよかったと思ひます。ぜひ，将来国際活動にチャレンジ，もしくは派遣される方を応援してください。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございます。織方 愛
1S1010	看護学総合実習（基礎・成人） 〔緩和〕	吉田みつ子・田中孝美・遠山義人	新型コロナ感染症に伴う制約の中、臨地での実習日数が少なめの施設もありましたが、学内での学びと合わせて、緩和ケアについての学修が深められたことが伝わってきました。臨床指導者の皆様の手厚いご指導、ご協力には大変感謝しております。引き続き、臨床の指導者のみなさまと連携をとって、より充実した実習にしていまいります。
1S1011	看護学総合実習（国際・災害） 〔救急（災害）〕	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、教員や指導者の熱い指導が理解につながった、実習中のディスカッションで自分の看護観を深めることができたなど、たくさん挙げていただきました。改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしていまいります。貴重な意見をありがとうございます。次年度に活かしていまいります。